Panasonic®

取扱説明書

（基本編）

フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C262/C262F
DP-C322/C322F

お使いになる前に
コピー
プリンター
ファクス
インターネットＦＡＸ
スキャナー
Ｅメール
困ったときには
日常の管理
必要なとき

WORKIO™

このたびは、パナソニック フルカラーデジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■特に「安全上のご注意」（p.8 ～ 13）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

●イラストはオプションを装着した例です。

上手に使って上手に節電

本書の使いかた

■ 説明書の体系

本機には、2 冊の取扱説明書と 2 枚の CD-ROM が添付されています。

説明書・CD-ROM	内容
取扱説明書（基本編）	基本的な操作を記載しています。 本機をお使いになるときは、まずこの説明書をお読みください。
取扱説明書（セットアップ編）	本機のセットアップを行うときに必ずお読みください。 ● セットアップ時のファンクション設定について、詳しくは「取扱説明書 CD-ROM」内の『ファンクション設定編』をお読みください。
取扱説明書 CD-ROM （電子マニュアル）	次の設定と操作の詳しい内容を知りたいときにお使いください。 コピー編：コピーの詳しい内容と操作を記載しています。 スキャナー /E メール編：スキャナー、E メールの詳しい内容と操作を記載しています。 ファクス / インターネット FAX 編：ファクス、インターネット FAX の詳しい内容と操作を記載しています。 ファンクション設定編：ファンクション設定の詳しい内容と操作を記載しています。本機を管理される方がお読みください。 メンテナンス編：消耗品の交換、紙づまりの対処方法などを記載しています。 ● この CD-ROM の使いかたについては、「取扱説明書 CD-ROM の使いかた」（p.3）を参照してください。
Document Management System CD-ROM	この CD-ROM には、プリンタードライバー、アプリケーションソフトウェア、プリンタードライバーの説明書、アプリケーションソフトウェアの説明書が入っています。 プリント機能やネットワークスキャナー機能を使うときにお使いください。 ● この CD-ROM の使いかたについては、「Document Management System CD-ROM の使いかた」（p.3）を参照してください。

■ 本書の表記について

本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネルディスプレイ上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

＜ ＞　　操作パネルの各キー（例：スタートキー→**<スタート>**）
［ ］　　タッチパネルディスプレイ上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンなど（例：基本ボタン→［基本］）

本機のタッチパネルディスプレイ上のカタカナ文字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、すべて全角に統一して表記しています。

CD-ROM の使いかた

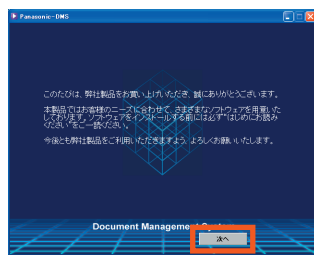
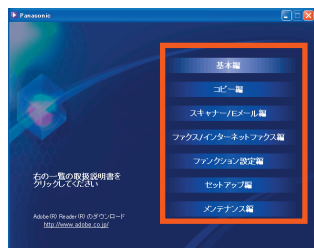
■「取扱説明書 CD-ROM」の使いかた

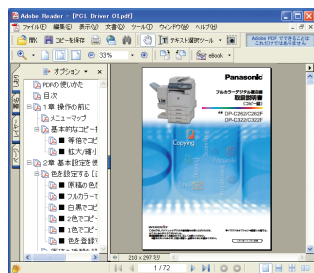
取扱説明書 CD-ROM には、本機の取扱説明書が保存されています。閲覧するときは、次の手順で操作してください。

1 「取扱説明書 CD-ROM」を、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM が自動再生され、オープニング画面が表示されます。

- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

2 ［次へ］をクリックする

3 閲覧したい説明書をクリックする

- お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされていない場合は、［Adobe® Reader® のダウンロード］の下にある http//:www.adobe.co.jp/ をクリックしてください。Adobe のホームページに接続できます。

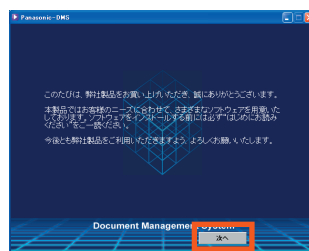
取扱説明書が表示されます。

■「Document Management System CD-ROM」の使いかた

Document Management System CD-ROM には、ソフトウェアの説明書が保存されています。
閲覧するときは、次の手順で操作してください。

1 「Document Management System CD-ROM」を、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM が自動再生され、オープニング画面が表示されます。

- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

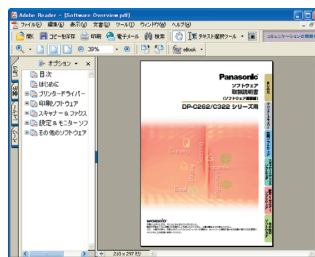
2 ［次へ］をクリックする

3 閲覧する説明書によって、次のいずれかの操作をする

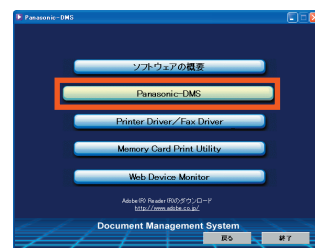
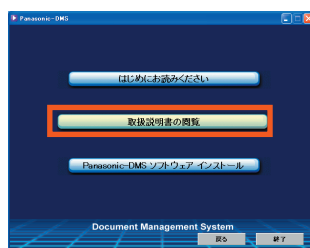
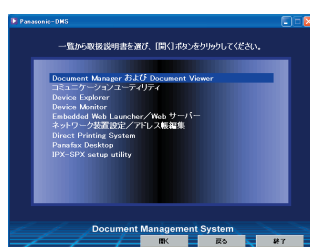
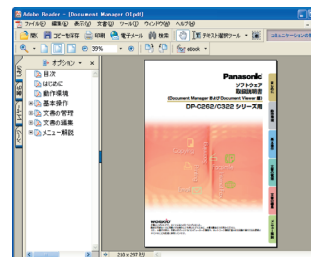
- お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされていない場合は、［Adobe® Reader® のダウンロード］の下にある http//:www.adobe.co.jp/ をクリックしてください。Adobe のホームページに接続できます。

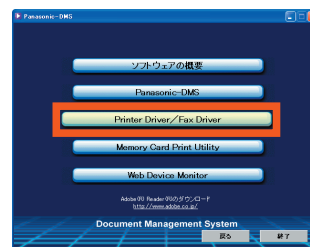
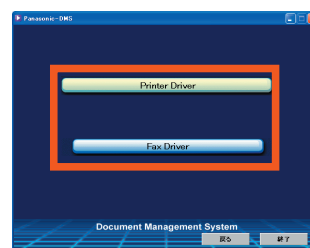
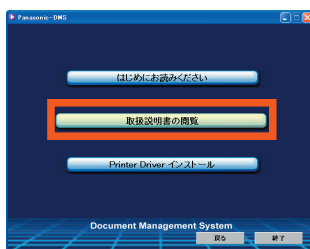
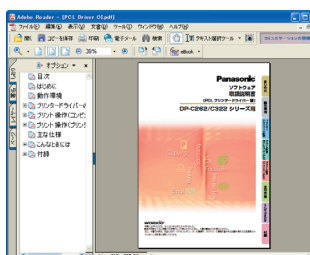
次ページへ続く ▶▶▶

■『ソフトウェア取扱説明書（ソフトウェア概要編）』を閲覧するとき

［ソフトウェアの概要］をクリックする

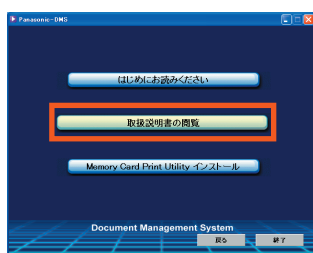
取扱説明書が表示されます。

■ Panasonic Document Management System などのソフトウェアの説明書を閲覧するとき

① ［Panasonic-DMS］をクリックする

② ［取扱説明書の閲覧］をクリックする

③ 閲覧したいソフトウェアを選択し、［開く］をクリックする

取扱説明書が表示されます。

■ プリンタードライバーやファクスドライバーの説明書を閲覧するとき

① ［Printer Driver/Fax Driver］をクリックする

② ［Printer Driver］または［Fax Driver］をクリックする

③ ［取扱説明書の閲覧］をクリックする

取扱説明書が表示されます。

■ メモリーカードプリントユーティリティの説明書を閲覧するとき

① [Memory Card Print Utility] をクリックする

② [取扱説明書の閲覧] をクリックする

取扱説明書が表示されます。

■ Web デバイスモニターの説明書を閲覧するとき

① [Web Device Monitor] をクリックする

② [取扱説明書の閲覧] をクリックする

取扱説明書が表示されます。

目次

お使いになる前に

コピー

プリンター

ファクス / インターネット FAX

スキャナー /E メール

困ったときには

日常の管理

必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ 本体・オプションの取り扱いについて

⚠ 警告

■ 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

- ぬれた手をよくふいて電源プラグ（金属でない部分）を持ってください。

■ 同梱された電源コードは、他の製品に使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■ 本機（オプションを含む）を分解・改造しない

分解禁止

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

- 修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■ 発煙・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

安全上のご注意

⚠警告

■ 必ず、アース線接続を行う

アース線接続

漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

● アース線接続ができない場合は、サービス実施会社へご相談ください。

■ アース線接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行う。また、アース線接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行う

感電の原因になります。

■ アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

禁止

接地が不十分だったり、落雷などにより、火災、感電の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

禁止

ガソリンなどが発火し火災をおこす原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■ 雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■ 医用電気機器の近くで使用しない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

* CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■ 心臓ペースメーカー装着者は使用しない

禁止

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 警告

■ 済スタンプヘッド、SD カードは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

■ 床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

禁止

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

- 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 本機のキャスター及びアジャスターは固定する

動いて、けがをする原因になることがあります。

- 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

禁止

火災、感電の原因になることがあります。

- 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 紙づまりはそのまま放置しない

禁止

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

- 紙づまりは確実に取り除いてください。

■ 高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温注意

高温部分にさわるとやけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

■ 鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

禁止

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

- 万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

安全上のご注意

⚠注意

■ 動作中に光源ランプを直視しない

禁止

ランプの光により、目を傷める原因になることがあります。

■ 本機の通風孔をふさがない

禁止

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■ 取扱説明書で指示がない部分は操作しない

禁止

高温部分や突起のある部品にさわるとやけどやけがをする原因になることがあります。

- 内部をさわるときは、十分に注意してください。

■ 本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

禁止

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

■ 原稿台（ガラス）に衝撃を与えたり、重いものを載せたりしない

禁止

ガラスが割れてけがをする原因になることがあります。

- ガラスが割れたときは、電源プラグを抜いてサービス実施会社へご連絡ください。

■ エラー (E#-##) 表示をしたときや、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災、感電の原因になることがあります。

- (E#-##)は数字を確認(メモ)して、サービス実施会社へご連絡ください。

■ 電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

■ トナーまたはトナーの入った容器を火中に投げ入れない

禁止

爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因になることがあります。

■ トナーまたはトナーの入った容器を子供の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■ 電池の取り扱いについて

⚠ 警告

■ 充電・ショート・分解・変形・加熱・火に入れるなどしない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■ 電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する

他の金属や電池と混ざると液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 電池の⊕極と⊖極は正しく接続する

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 電池に直接ハンダ付けをしない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 液が目に入ったら、すぐに洗い流す

目を傷める原因になります。

● こすらずにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

■ 直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する

液もれ・発熱・破裂の原因になることがあります。

■ 電池は間違ったタイプに交換しない

禁止

破裂の原因になることがあります。

● 使用済の電池は、説明書に従って処分してください。

取扱上のお願い

■ レーザーの安全性について

本機はレーザークラス1の製品です。取扱説明書に規定した手順に従って正しくお使いください。

注意：ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被ばくをもたらします。

LASER CLASSE 1
LASER KLASSE 1
LASER CLASSE 1
CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASER APPARAT
Ⅰ类激光设备
クラス1レーザ製品

■ 注意ラベルについて

本機には安全にお使いいただくために次のような注意ラベルが貼ってあります。内容をよく読み、安全にお使いください。

■ 設置について

- 次のような場所への設置は避けてください。
  - ・温度や湿度が極端に高い、または低い場所
    （設置に適した温度・湿度：10℃～30℃、30%～80%RH）
  - ・温度変化の激しい場所
  - ・冷・暖房器具の近く（直接風のあたる所）
  - ・加湿器の近く
  - ・テレビ、ラジオなど電子機器の近く
  - ・直射日光や、蛍光灯などの外部光の影響を受けない場所
  - ・ほこり、アンモニアガスが発生する場所
  - ・シンナー、ガソリンなどの近く
  - ・換気の悪い場所
  - ・床、土台が不安定な場所、振動の激しい場所
- 本機の背面は壁から10cm以上離してください。
- 電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くのコンセントに接続してください。
- 本機の移動や運搬はサービス実施会社におまかせください。
  - ・転居の際は、サービス引継が必要です。（事前にサービス実施会社へご相談ください。）

■ 換気について

本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。

■ 操作時のお願い

- 動作中に電源を切ったり、本体カバーなどを開けたり、給紙カセットを引き出したりしないでください。用紙づまりの原因になります。

■ 用紙・トナーについて

- ・用紙、トナーなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。
- ・用紙は64～105g/m^2（手差しでは55～220g/m^2）の上質紙・古紙パルプ配合率100%の再生紙が使用できます。できるだけ当社の推薦紙（p.86）をご使用ください。
- ・トナーは当社指定品をご使用ください。
- ・当社指定品、推薦品以外の用紙やトナーを使用されますと、コピー品質への悪影響および性能を損なう場合があります。
- ・用紙づまりの処置やトナーの入った容器を交換するときは、トナーが飛び散らないようにしてください。トナーが目や口に入った場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。トナーで手や衣服が汚れた場合はすぐに水で洗い流してください。
- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・トナー容器は分解・改造しないでください。
- ・トナーまたはトナーの入った容器は子供の手の届かないところに置いてください。

■ 使用上のお願い

●キャッチホンサービスをご契約になっている場合

・ファクスの送信や受信中に、他の方から電話やファクスがかかってくると、ファクス受信画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
・上記の場合は、キャッチホンや本機の異常ではありませんのでご了承願います。
・なお、キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定して頂くと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

●各サービスについて

・発信者番号通知・ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT にお問い合わせください。
・NCC 回線をご利用の場合は、NCC 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知・ダイヤルインサービスの詳細につきましてはご契約の NCC にお問い合わせください。

●誤通信防止について

誤通信を未然に防ぎ、確実に相手と通信するためには、次の点に注意してご使用いただくことをお勧めいたします。

・相手先のファクス番号、ワンタッチ / 短縮ダイヤルの登録番号をご確認いただくとともに、取扱説明書をよくご確認のうえご使用ください。
・大切な情報を送る場合には、「手動送信」により相手を確認したうえで通信されることをお勧めします。
  1. まず受話器を上げて（または受話器がない場合は、モニターボタンを押して）、発信音（ツー音）を確認してから、ファクス番号をダイヤルしてください。
  2. 相手先からファクス応答信号（ピーヒョロロ音）が聞こえたら**<スタート>**を押してください。

●製品リサイクルについて

・使用済や不要となった製品は、回収して、環境保護、資源有効活用のため、リサイクルしています。本機を廃却する場合は、必ず弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。
・使用済や不要となったドラムユニット・トナーカートリッジ・廃トナー容器等の消耗品は、回収して、環境保護、資源有効活用のため、適切な処理が必要です。消耗品を廃却する場合は、必ず弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

■ その他

●電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますので十分ご注意ください。

・法律でコピーを禁止されているもの
　① 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
　② 未使用の郵便切手、官製はがき
　③ 政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類
・注意を要するもの
　① 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
　② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
・著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

●電源高調波についてのお知らせ

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

●物質エミッションについて

粉塵、オゾンおよびスチレンの放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております DQ-TUN28K、DQ-TUN20C、DQ-TUN20M、DQ-TUN20Y を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録 3 ～ 5 に基づき試験を実施しました。）

ご使用の前に

■ 節電機能について

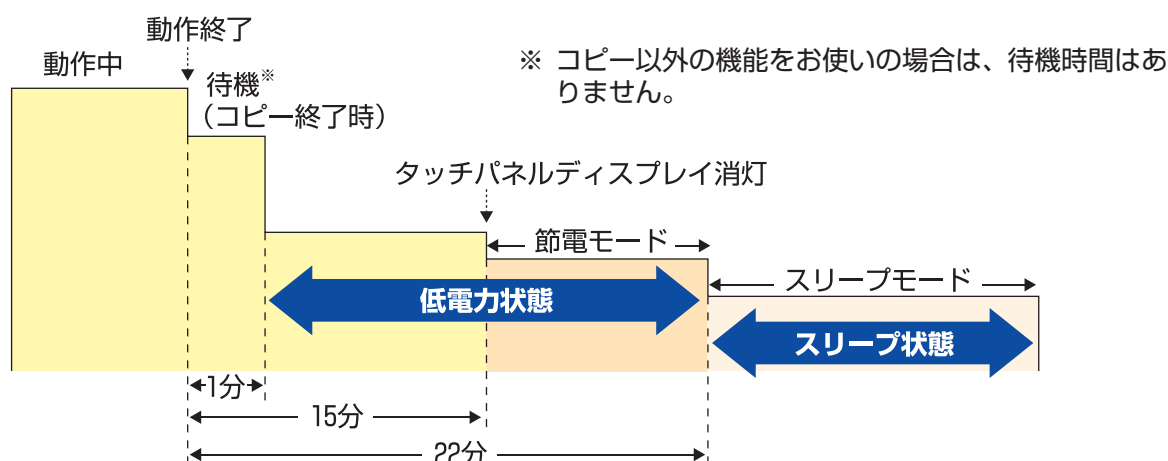
本機には、機械を使用しないときに機械内部の消費電力を抑える節電機能（節電モード、スリープモード）が備わっています。
お買い上げ時の設定では、本機を 15 分間使用しないと節電モードに移行し、22 分間使用しないとスリープモードに移行するように設定されています。
節電モード、スリープモードどちらのモードに移行している場合も、プリントデータの受信、ファクス受信、メール受信ができます。

●節電モード

操作パネルや定着部の電力を下げます。
タッチパネルディスプレイが消灯し、**<節電>**が点滅します。**<節電>**を押すと、節電モードを解除できます。
ウォームアップタイム：約 15 秒（室温 20℃）

●スリープモード

節電モードより、さらに電力を下げるモードです。
タッチパネルディスプレイが消灯し、**<節電>**が点灯します。**<節電>**を押すと、スリープモードを解除できます。
ウォームアップタイム：約 15 秒（室温 20℃）

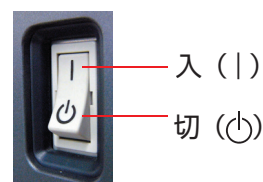
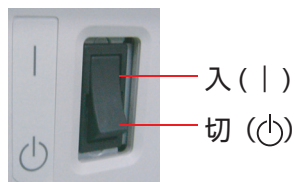
※ コピー以外の機能をお使いの場合は、待機時間はありません。

お知らせ

- 節電モード、スリープモードに移行するまでの時間は変更できます。『取扱説明書（ファンクション設定編）』を参照し、[共通機能設定] > [09 キーオペレーター専用] > [14 節電モードタイマー] または [15 スリープタイマー] を設定してください。
- 消費電力については、「主な仕様」（p.92）を参照してください。

■ スイッチに関するお願い

本機を長期間使用しない場合は、次の手順でスイッチを切っておいてください。
（スイッチを入れる場合は、切るときと逆の手順で操作します。）

（1） 本機左側にある「スタンバイスイッチ」（p.22）を切ります。
（2） 10 秒ほど待ちます。
（3） 本機背面にある「電源スイッチ」（p.22）を切ります。
（4） 給紙カセット 1 を開いたところにある「除湿ヒータースイッチ」（p.19）を切ります。

スタンバイスイッチ（本体左側）

電源スイッチ（本体背面）

■ オートクリアタイムについて

本機には、操作パネル上で一定の時間操作をしない場合は、操作がリセットされ初期画面に戻るオートクリア機能が備わっています（20 秒前になると、オートクリアを確認する画面が表示されます）。
お買い上げ時は、1 分間機械を操作しないと、初期状態に戻るように設定されています。

お知らせ

- オートクリアタイム（初期状態に移行するまでの時間）は変更できます。『取扱説明書（ファンクション設定編）』を参照し、［共通機能設定］＞［09 キーオペレーター専用］＞［13 オートクリアタイム］を設定してください。

■ 除湿ヒーターに関するお願い

(1) 使用方法
- 除湿ヒーターを使う場合は、ヒーターのスイッチを「ON（入）」にしてください。
- 除湿ヒーターを使わない場合は、ヒーターのスイッチを「OFF（切）」にしてください。

(2) 使用上の注意
- 結露の発生する季節以外は使用しないでください。

除湿ヒーターのスイッチは給紙カセット1を開いた場所にあります

お知らせ

- 詳しくはサービス実施会社へお問い合わせください。

■ 最大コピー部数について

部門カウンター機能 (p.29) でコピー部数制限が設定されている場合、部門のコピー部数制限の上限に達すると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。部門の管理者にお問い合わせください。

■濃度 / 画質の自動調整について

本機は約１００枚コピーまたはプリントをするごとに、定期的に濃度 / 画質の自動調整を行います。自動調整中は、コピーやプリント動作が約６０秒間停止します。

■障害について

コンピューターウィルスの感染や、外部からの衝撃などにより、本機にデータ消失やその他の障害が発生した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本機でできること

できること	説明
 コピーする	● フルカラーでコピーできます。 カラーモードが検知され、自動的にフルカラーでコピーできます。 ● 両面コピー、複数ページを1ページに集約、ソートなど、いろいろなコピー機能を搭載しています。
 プリントする	● 本機にはプリンターコントローラー（PCL6）が標準で装着されており、600dpi または 1200dpi の高画質で印刷できます。 ● 機械前面に、SD カードスロットと PC カードスロットが内蔵されています。SD カードや PC カードなどのメディア内のデータを、コンピューターを介さず、直接印刷できます（簡易印刷）。 ・ 簡易印刷できるデータ： デジタルカメラの画像（JPEG 形式、TIFF-FX 形式） PDF（オプションのプリンターコントローラーユニット装着時）
 ファクスを送受信する	● 高速な SuperG3/G4 モードで、白黒画像をファクス送受信できます。 ● 受信文書は、普通紙に記録できます。 ● 両面原稿の送信、スタンプ機能、タイマー送信など、豊富なファクス機能を搭載しています。 （G4 モードは、オプションの G4 通信ユニット装着時に使用できます。）
 インターネット FAX を送受信する	● 白黒で読み取った画像を E メールの添付ファイルとして、インターネット FAX やコンピューターに送信できます。 ● 送信できるファイル形式は、次のとおりです。 ・相手がインターネット FAX の場合： TIFF（TIFF-F）形式の白黒画像 ・相手がコンピューターの場合： TIFF（TIFF-F）形式または PDF 形式の白黒画像
 データを読み取る	● フルカラーで読み取りができます。 ● 読み取ったデータは、次のいずれかに保存できます。 ・SD カード ・PC カードアダプター内のメモリーカード ・本機のハードディスク内のイメージボックス ・ネットワーク上のコンピューター
 E メールを送る	● フルカラーで読み取った画像を E メールの添付ファイルとして送信できます。 ● 送信できる画像のファイル形式は、JPEG、PDF、高圧縮 PDF、TIFF です。
 アプリケーションソフトウェアを使う	● 「Document Management System CD-ROM」には、コンピューターにインストールして便利に使えるアプリケーションソフトウェアが格納されています。

お知らせ

- 本機では、[スキャナー /E メール]、[ファクス / インターネット FAX] のどちらからでも E メール送信できます。
  [ファクス / インターネット FAX] から E メールを送信する場合、添付ファイルは TIFF（TIFF-F）形式、または PDF 形式の白黒画像ファイルとして送信されます。
  また、受信側がコンピューターの場合、専用のビューワーが必要です。
- 本機に、オプションのソフトウェアを追加することもできます。
  オプションのソフトウェアには次のものがあります。
  ・PS (PostScript) プリンター
  ・課金管理ソフト
  ・パナソニックドキュメント配信システムなど

本機は、お買い上げいただいたモデルにより、使用できる機能が異なります。
それぞれの機能に必要なオプションは、「オプション品について」（p.96）を参照してください。

機能 ＼ 品番		DP-C322F	DP-C322	DP-C262F	DP-C262
		カラー：21 枚 / 分 モノクロ：32 枚 / 分		カラー：21 枚 / 分 モノクロ：26 枚 / 分	
基本機能	コピー	○	○	○	○
	プリンター	○	○	○	○
	ファクス	○	△※1	○	△※1
	インターネット FAX	△※2	△※2	△※2	△※2
	スキャナー	△※3	△※4	△※3	△※4
その他の機能	簡単モード (コピーやファクスの操作手順が音声ガイドと文字ガイドで案内されます)	○	−	−	−
	[合紙 / 合成] の [ファイル編集] (特定の原稿を他の原稿に合成してコピーしたいとき、合成用のフォームを登録、編集、削除できます)	○	△※5	○	△※5
	[コピー予約] (コピー印刷中に次のコピー原稿を読み取りできます)	○	△※5	○	△※5
	メールボックスからの印刷 (ハードディスクに保存したデータを、必要に応じて印刷できます)	○	△※5	○	△※5
	プリンター高画質印刷 標準（オプションなし）: 600dpi オプション装着時　: 1200dpi	△※6	△※7	△※6	△※7

○：標準　△：オプション　−：装着不可

※ 1　オプションの G3 通信ユニット（DA-FG321）が必要です。
※ 2　オプションのインターネット FAX ユニット（DA-NF320）が必要です。
※ 3　オプションのネットワークスキャナー /E メールユニット（DA-NS321）が必要です。
※ 4　オプションのネットワークスキャナー /E メールユニット(DA-NS321)、ハードディスクユニット(DA-HD32)、メインメモリーボード（DA-EMN56）が必要です。
※ 5　オプションのハードディスクユニット（DA-HD32）が必要です。
※ 6　オプションのページメモリーボード（DA-PMN56）が必要です。
※ 7　オプションのページメモリーボード（DA-PMN56）、メインメモリーボード（DA-EMN56）が必要です。

各部の名称

■ 外側

ADF カバー

ADF（自動原稿送り装置）

スタンバイスイッチ

入 (|)

切 (⏻)

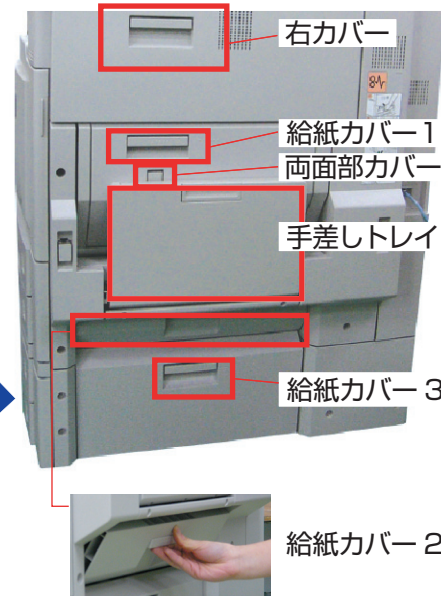
SD カード /PC カード
スロットカバー

操作パネル

用紙排出部

前カバー

給紙カセット
1、2、3、4

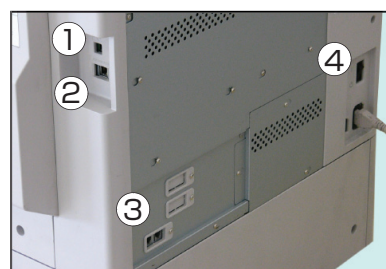
■ 外側（側面）

右カバー

給紙カバー 1

両面部カバー

手差しトレイ

給紙カバー 3

給紙カバー 2

■ 内側（前カバーを開いた状態）

トナーカートリッジ
（イエロー / マゼンタ / シアン / ブラック）

廃トナー容器

ドラムユニット
（イエロー / マゼンタ / シアン / ブラック）

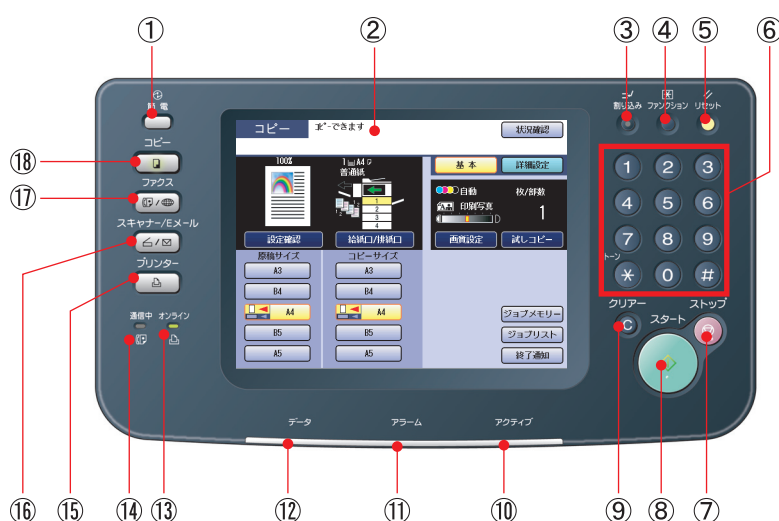
■ 外側（背面）

① USB 端子
コンピューターに直接接続して印刷するときに使います。

② LAN 端子
ネットワーク接続するときに使います。

③ 電話線接続口
ファクスで使います。

④ 電源スイッチ
入 (|)
切 (⏻)

操作パネル

No.	ボタン / ランプ	説明	No.	ボタン / ランプ	説明
①		**節電キー** 節電状態への移行 / 解除をするときに押します。節電状態のときはランプが点滅、または点灯します。	⑩	——	**アクティブランプ** （次ページを参照してください。）
②	——	**タッチパネルディスプレイ** ここに、操作のためのボタンやメッセージが表示されます。操作をするときは、画面に表示されているボタンを指で直接押します。	⑪	——	**アラームランプ** （次ページを参照してください。）
③		**割り込みキー** 動作中に他の操作を割り込ませたいときに押します。	⑫	——	**データランプ** （次ページを参照してください。）
④		**ファンクションキー** ファンクション設定の操作をするときに押します。	⑬		**オンラインランプ** プリント動作が可能なときにランプが点灯します。
⑤		**リセットキー** 画面を初期状態に戻したいときに押します。	⑭		**通信中ランプ** ファクスまたはインターネットFAX 通信中にランプが点滅します。
⑥		**テンキー** コピー部数などを入力するときに押します。	⑮		**プリンターキー**（p.52） データを印刷するときなどに押します。
⑦		**ストップキー** 動作を中止したいときに押します。	⑯		**スキャナー /E メールキー**（p.72） 原稿の読み取り、または E メール送信をするときに押します。
⑧		**スタートキー** 動作を開始するときに押します。	⑰		**ファクスキー**（p.60） ファクスまたはインターネットFAX を送信するときに押します。
⑨		**クリアーキー** 入力した数値や文字を消去するときに押します。	⑱		**コピーキー**（p.42） コピーをするときに押します。

下記の警告が表示されたときは、メッセージと本書の説明に従って、正しく処置してください。
点滅時：本機は動作可能ですが、早めに処置をしてください。
点灯時：本機は動作しません。すぐに処置をしてください。

	定期サービス保守が必要です。サービス実施会社へお問い合わせください。
	ご使用の給紙カセット／手差しトレイの用紙を補給してください(p.88)。
	『取扱説明書（メンテナンス編）』を参照し、新しいトナーカートリッジと交換してください。
	『取扱説明書（メンテナンス編）』を参照し、新しい廃トナー容器と交換してください。

データランプ
点滅時：プリントデータ受信中
点灯時：プリント中

アラームランプ
点灯時（赤色）：
本機に次のような問題が発生して停止しています。
●選択された給紙カセットに用紙がない
●トナーがない
●用紙づまり　など

点灯時（オレンジ色）：
本機に次のような問題が発生しています。
●いずれかの給紙カセットに用紙がない
●トナーが少なくなった など

アクティブランプ
点滅時：動作中
点灯時：データ蓄積中 など

お知らせ

タッチパネルディスプレイの明るさを調整できます。操作パネルの**＜クリアー＞**を押しながらテンキーの**＜1＞**または**＜2＞**を、お好みの明るさになるまで押してください。

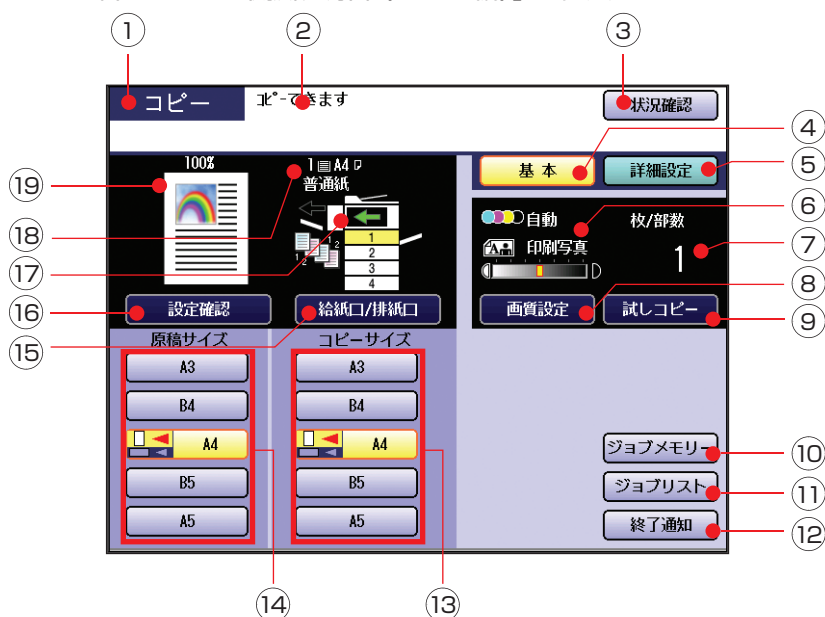
明るくする

＋
暗くする

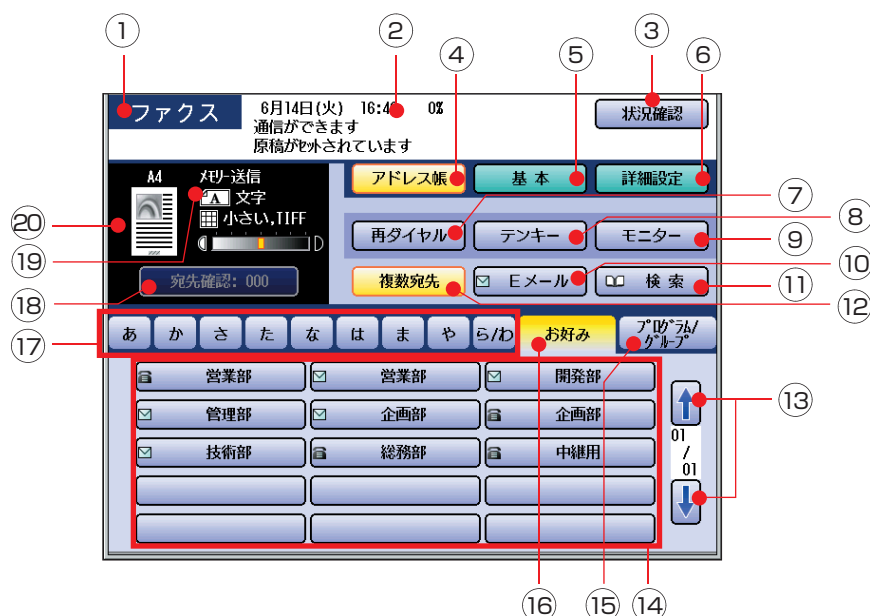
＋

タッチパネルディスプレイ

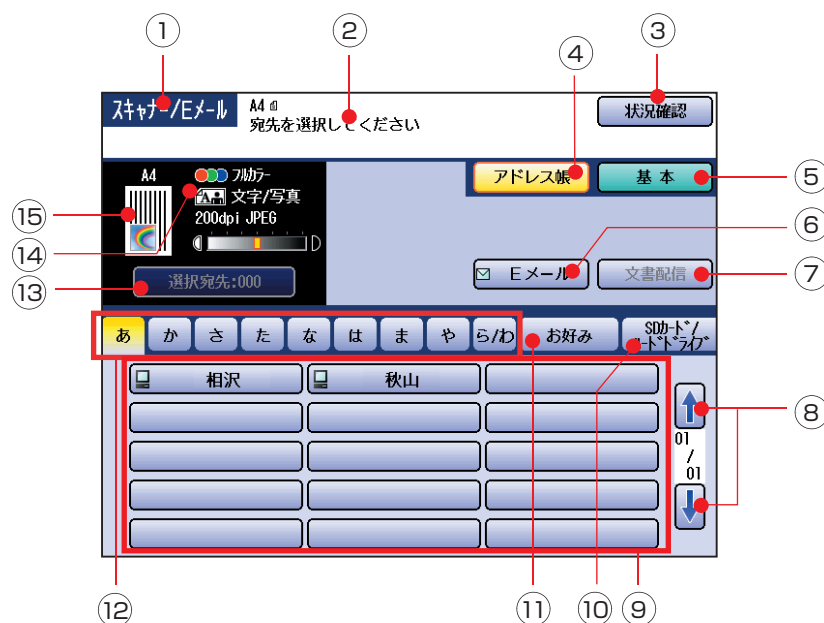
■ コピー

● コピー機能について詳しくは、『取扱説明書（コピー編）』を参照してください。

No.	説明	No.	説明
①	**機能名表示** 現在操作中の機能名が表示されます。	⑩	**ジョブメモリーボタン** よく使用するコピー操作設定を本機内部のメモリーに保存したり、保存したモードを呼び出すときに押します。
②	**メッセージエリア** メッセージが表示されます。	⑪	**ジョブリストボタン** 現在予約されているコピー操作設定の一覧が表示されます。
③	**状況確認ボタン** (p.83) 用紙切れなどの異常が発生している場合はボタンが黄色で表示されます。 異常の内容を確認したいときに押します。	⑫	**終了通知ボタン** コピーが終了したときに、あらかじめ登録してあるコンピューターに終了のメッセージを通知したいときに押します。
④	**基本ボタン** 詳細設定画面でコピーモードを設定した後、最初の画面（上記画面）に戻りたいときに押します。	⑬	**コピーサイズボタン** コピーサイズを設定したいときに押します。
⑤	**詳細設定ボタン** 片面 / 両面、仕上げ、ズーム / 編集、合紙 / 合成モードを使用してコピーしたいときに押します。	⑭	**原稿サイズボタン** 原稿サイズを設定したいときに押します。
⑥	**コピー設定表示** カラー設定、原稿種類、濃度が表示されます。	⑮	**給紙口 / 排紙口ボタン** (p.89) 給紙カセット、排出先を設定したいときに押します。給紙カセットにセットされていない用紙にコピーしたいときは、手差しトレイ (p.88) を使用してください。
⑦	**コピー部数表示** コピー部数が表示されます。	⑯	**設定確認ボタン** 設定内容を確認したいときに押します。
⑧	**画質設定ボタン** (p.48) カラー設定や、原稿の種類、濃度などを設定したいときに押します。	⑰	**給紙口 / 排紙口表示** 選択した給紙口と排紙口が表示されます。
⑨	**試しコピーボタン** 複数部コピーする前に、試しに 1 部だけコピーしたいときに押します。	⑱	**用紙サイズ / 種類表示** 用紙サイズと用紙の種類が表示されます。
		⑲	**コピーイメージ表示** コピーイメージが表示されます。

■ ファクス / インターネット FAX

● ファクスとインターネット FAX の機能について詳しくは、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』を参照してください。

No.	説明	No.	説明
①	**機能名表示** 現在操作中の機能名が表示されます。	⑪	**検索ボタン** 宛先を検索したいときに押します。
②	**メッセージエリア** メッセージが表示されます。	⑫	**複数宛先ボタン** ボタンが黄色で表示されているときは、複数の宛先へ送信ができます。 複数の宛先を指定させたくないときは、ボタンを押して点灯を解除してください。
③	**状況確認ボタン** (p.83) 用紙切れなどの異常が発生している場合はボタンが黄色で表示されます。 異常の内容を確認したいときに押します。	⑬	**スクロールボタン** 他の宛先を表示したいときに押します。
④	**アドレス帳ボタン** アドレス帳を表示したいときに押します。	⑭	**宛先ボタン** 登録された宛先が表示されます。
⑤	**基本ボタン** 画質の設定など、基本的な設定をしたいときに押します。	⑮	**プログラム / グループタブ** プログラムダイヤル / グループダイヤルに登録された宛先を表示したいときに押します。
⑥	**詳細設定ボタン** 詳細設定をしたいときに押します。	⑯	**お好みタブ** 「お好み」に設定した宛先を表示したいときに押します。
⑦	**再ダイヤルボタン** 最後に送信した宛先に再度送信したいときに押します。	⑰	**検索タブ** 登録した宛先を選択したいときに押します。
⑧	**テンキーボタン** 電話番号を入力するためのテンキーを画面上に表示させたいときに押します。	⑱	**宛先確認ボタン** 選択した宛先数が表示されます。 ボタンを押すと、選択した宛先を確認できます。
⑨	**モニターボタン** ダイヤルトーンを確認してからダイヤルしたいときに押します。	⑲	**送信設定表示** ファクス / インターネット FAX 送信の設定が表示されます。
⑩	**E メールボタン** インターネット FAX 機能を使いたいときに押します。	⑳	**原稿イメージ表示** ファクス / インターネット FAX 原稿のイメージが表示されます。

■ スキャナー /E メール

● スキャナーとＥメールの機能について詳しくは、『取扱説明書（スキャナー / Ｅメール編）』を参照してください。

No.	説明	No.	説明
①	**機能名表示** 現在操作中の機能名が表示されます。	⑨	**宛先ボタン** 登録された宛先が表示されます。
②	**メッセージエリア** メッセージが表示されます。	⑩	**SD カード / ハードドライブタブ** 読み取ったデータを直接 SD カードや PC カード、ハードディスクに記録したいときに押します。
③	**状況確認ボタン**（p.83） 用紙切れなどの異常が発生している場合はボタンが黄色で表示されます。 異常の内容を確認したいときに押します。	⑪	**お好みタブ** ［お好み］に設定した宛先を表示したいときに押します。
④	**アドレス帳ボタン** アドレス帳を表示したいときに押します。	⑫	**検索タブ** 登録した宛先を選択したいときに押します。
⑤	**基本ボタン** 画質の設定など、基本的な設定をしたいときに押します。	⑬	**選択宛先ボタン** 選択した宛先数が表示されます。 E メールの場合、ボタンを押すと、選択した宛先を確認できます。
⑥	**E メールボタン** E メールを送信するときに押します。	⑭	**スキャナー /E メール設定表示** スキャナー /E メールの設定が表示されます。
⑦	**文書配信ボタン** オプションのパナソニックドキュメント配信システムをインストールしているときに使用します。	⑮	**原稿イメージ表示** 読み取りイメージが表示されます。
⑧	**スクロールボタン** ほかの宛先を表示したいときに押します。		

便利な機能

■ 簡単モードと標準モードの選択（DP-C322F のみ）

● 本機では、画面上で［簡単モード］と［標準モード］を選択できます。
- ［簡単モード］を押すと、コピーやファクスの操作手順が音声ガイドと文字ガイドで案内されます。コピーの操作方法や相手ファクス番号の読み上げなどの機能により、操作に迷うことなく、本機を簡単に使うことができます。
- ［標準モード］を押すと、［基本］や［詳細設定］などのボタンが表示された画面を表示できます。

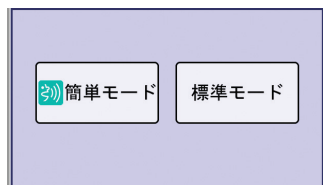
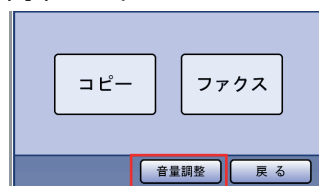
● 簡単モードで使える機能は制限されます。
● **<スキャナー /E メール>** と **<プリンター>** からの操作は標準モードをお使いください。

簡単モードのコピーでできること
- 等倍コピー（拡大・縮小コピーなどはできません）
- ADF による原稿サイズの自動検知（原稿台ガラスの場合は手動で設定します）

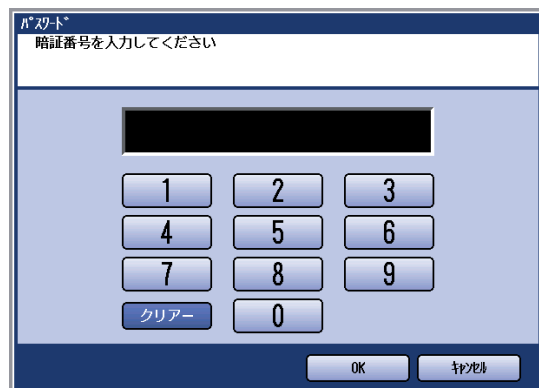
簡単モードのファクスでできること
- ADF による原稿の読み取り（原稿台ガラスからは読み取りできません）
- 直接ダイヤル（アドレス帳は利用できません）
- ダイレクト送信（メモリーを使った送信はできません）

● 簡単モードでの画質設定などを変更したいときは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「コピー機能設定」と「ファクス機能設定」を参照してください。

● 簡単モード / 標準モード選択画面に戻るときは、画面が表示されるまで **<リセット>** を数回押してください。

● 簡単モード / 標準モード選択画面を表示したくない場合は、ファンクション設定の［共通機能設定］>［09 キーオペレーター専用］>［69 簡単モード］を［なし］に設定してください。
詳しくは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「共通機能設定」を参照してください。

■ 部門カウンター機能について

本機では、部門ごとに暗証番号（部門コード）を設定し、コピー / プリンター / スキャナーそれぞれの制限を決めることができます。この機能を部門カウンター機能と呼びます。
部門カウンター機能が設定されている場合、タッチパネルディスプレイに、右の暗証番号（部門コード）の入力画面が表示されます。
部門ごとに設定された暗証番号（部門コード）をこの画面に入力すると、コピーやスキャナーなどの操作画面を表示できます。

暗証番号（部門コード）については、部門の管理者にお問い合わせください。

- 部門カウンター機能を使用するには、サービス設定が必要です。サービス実施会社へご依頼ください。
- 本機では部門カウンター機能以外にも、ユーザー認証機能により利用枚数の制限や状況の分析・管理を行うことができます。ユーザー認証機能については、部門の管理者、およびサービス実施会社へお問い合わせください。

■ タッチパネルディスプレイの角度調整

タッチパネルディスプレイの角度を 4 段階に調整できます。

リリースレバーを引きながら、角度を上下に調整します。

標準の位置（15 度）
立った状態で操作をするときに便利な角度です。

30 度
タッチパネルディスプレイを見やすくするための位置です。
（例：照明器具の反射光を避ける場合など）

45 度
タッチパネルディスプレイを見やすくするための位置です。
（例：照明器具の反射光を避ける場合など）

60 度
椅子や車椅子に座って操作をするときに便利な角度です。

SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた

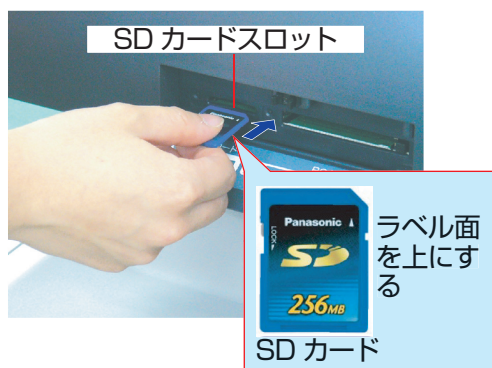
■ SD カード

SD カードは、次の手順で挿入 / 取り出しします。

● SD ロゴは商標です。SD ロゴマーク入りの純正の SD カード (最大 1GB) が使用できます。

SD カードのセット

1 スロットカバーを押し、スロットカバーを開く

2 ラベル面を上にして、SD カードスロットに SD カードを挿入する

SD カードの取り出し

1 SD カードを押す

● アクセスランプの点滅中は、SD カードを取り出さないでください。

2 SD カードを取り出す

3 スロットカバーを閉じる

● SD カードを再挿入する場合は、いったん SD カードを完全に取り出してから、再度挿入してください。

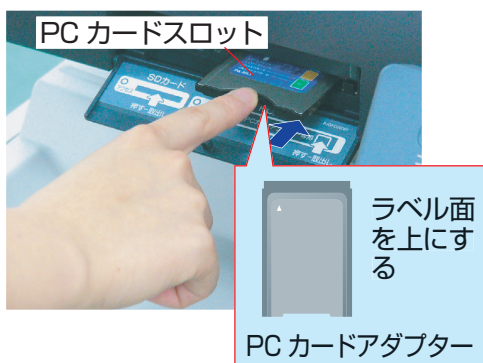
■ PC カードアダプター

PC カードアダプターは、次の手順で挿入 / 取り出しします。

- 市販の PC カードアダプター内にメモリーカードを装着してお使いください。
- 使用できる PC カードアダプターは、Type Ⅱ、動作電圧 3.3 V 対応のものです。5V タイプ、Card Bus、および HDD タイプは使用できません。
- PC カードアダプターで使用できるメモリーカードについては、PC カードアダプター付属の説明書を参照してください。

PC カードアダプターのセット

1 スロットカバーを押し、スロットカバーを開く

2 メモリーカードをセットした PC カードアダプターを、PC カードスロットに挿入する

PC カードアダプターの取り出し

1 PC カードアダプターの横にある取出しボタンを押す

- アクセスランプの点滅中は、PC カードアダプターを取り出さないでください。

2 PC カードアダプターを取り出す

3 スロットカバーを閉じる

- PC カードアダプターを再挿入する場合は、いったん PC カードアダプターを完全に取り出してから、再度挿入してください。

文字入力のしかた

本機で文字を入力する場合、操作の内容に応じて、英数専用、かな漢字変換の 2 種類の画面が表示されます。
文字入力は、E メールの宛先入力（p.77）やファクス / インターネット FAX のアドレス帳登録 (p.62、68) などをする場合に必要になります。
英数専用画面、かな漢字変換画面、それぞれの画面での文字入力の操作は次のとおりです。

■ 英数専用画面の操作

例 : E メールの宛先をキーボード入力するとき（p.77）

アルファベットを入力する

1 小文字と大文字を切り替える場合は、［大文字］を押す

2 文字を入力し、［OK］を押す

ボタン	説明
.	「.」(ドット、ピリオド)
_	「_」(アンダーバー)
@	「@」(アットマーク)
ｽﾍﾟｰｽ	スペース
◀	入力位置が左に移動します。
▶	入力位置が右に移動します。
後 退	入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。入力位置が一番左側にあるときは、すべての文字を一度に削除します。

数字を入力する

1 ［数字 / 記号］を押す

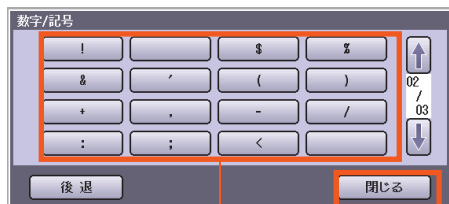
2 数字を入力し、［閉じる］を押す

ボタン	説明
後 退	入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。
↑ ↓	数字 / 記号の次候補・前候補の画面を表示できます。

記号を入力する

1 ［数字 / 記号］を押す

2 またはを押し、入力したい記号の画面を表示する

3 入力したい記号を選択し、［閉じる］を押す

後 退	入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。
↑ ↓	数字 / 記号の次候補・前候補の画面を表示できます。

● 入力できる記号については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「付録 D 熟語・記号一覧」を参照してください。

■ かな漢字変換画面の操作

漢字、ひらがな、カタカナを入力するには、次の 3 つの方法があります。
例：ファクスのアドレス帳を登録するとき (p.62)

入力のしかた	説明
かな漢字変換	ローマ字変換で漢字を入力できます。 (例) [M][A][T][S][U][S][H][I][T][A] を入力して [スペース / 変換] を押す ⇒ 松下
熟語の入力	あらかじめ本機に登録されている熟語 (都道府県名、都市名、企業の部署名など) から、文字を選択できます。 (例) [熟語] を押して選択 ⇒ 東北 関東 東海 北陸 .... ● 入力できる熟語については、『取扱説明書 (ファクス / インターネット FAX 編)』の「付録 D 熟語・記号一覧」を参照してください。
区コードを使った文字入力	区コードを入力して文字を 1 文字ずつ入力できます。 読みのわかりづらい文字や、かな漢字変換で表示できない文字の入力に便利です。 (例) 「ヶ」を入力したい [区コード] を押し、テンキーで [0][5][8][6] を入力 ⇒ ヶ ● 区コードについては、『取扱説明書(ファクス / インターネットFAX 編)』の「付録 C 区コード一覧」を参照してください。

お知らせ

- かな漢字変換では、変換用に入力できる文字は 10 文字までです。
- 数字と記号の入力については、「英数専用画面の操作」(p.32) を参照してください。

かな漢字変換

1 ［かな漢モード］が表示されていることを確認する

- ［カナモード］、［全英大モード］、［全英小モード］が表示されている場合は、ボタンを押して［かな漢モード］に切り替えてください。

2 ローマ字変換で文字を入力する

（例：MATSUSHITA）

- ローマ字については、「ローマ字入力表」（p.37）を参照してください。

3 ［スペース / 変換］を押す

- 希望する文字が表示されなかったときは、もう一度［スペース / 変換］を押し変換候補の画面から選択します。
- かな漢字変換をしない場合は［無変換］を押します。

（例：松下）

ボタン	説明
かな漢ﾓｰﾄﾞ	ボタンを押すたびに、入力できる文字が変わります。
かな漢ﾓｰﾄﾞ	●漢字やひらがなを入力できます。
ｶﾅﾓｰﾄﾞ	●カタカナを入力できます。
全英大ﾓｰﾄﾞ	●アルファベットの大文字を入力できます。
全英小ﾓｰﾄﾞ	●アルファベットの小文字を入力できます。
ｽﾍﾟｰｽ/変換	● かな漢字の変換や、変換の候補を表示できます。 ● スペースを入力できます。
無変換	漢字に変換せず、ひらがなを入力するときに押します。
確 定	変換した漢字を確定するときに押します。
後 退	入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。入力位置が一番左側にあるときは、すべての文字を一度に削除します。
◀	入力位置が左に移動します。
▶	入力位置が右に移動します。

4 変換した文字を確定するときは、［確定］を押す

（例：松下）

- ［無変換］を押した場合や、変換候補から選択した場合は、［確定］を押す必要はありません。

熟語の入力

1 ［熟語］を押す

- 入力できる熟語については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「付録 D 熟語・記号一覧」を参照してください。

2 ↑ または ↓ を押し、入力したい熟語の画面を表示する

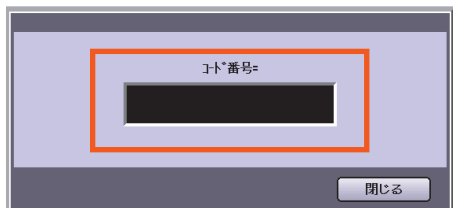
3 入力したい熟語を選択し、［閉じる］を押す

後 退	入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。
↑ ↓	熟語の次候補・前候補の画面を表示できます。

区コードでの文字入力

1 「取扱説明書 CD-ROM」内『ファクス / インターネット FAX 編』の「付録 C 区コード一覧」で、入力したい文字の区コードを調べておく

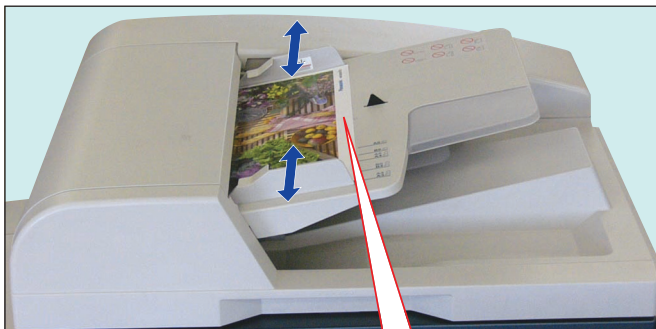
2 ［区コード］を押す

3 テンキーで区コードを入力する

入力した区コードの文字がキーボードの画面に表示されます。

ローマ字入力表

あ	A	い	I	う	U	え	E	お	O
か	KA	き	KI	く	KU	け	KE	こ	KO
さ	SA	し	SI/SHI	す	SU	せ	SE	そ	SO
た	TA	ち	TI/CHI	つ	TU/TSU	て	TE	と	TO
な	NA	に	NI	ぬ	NU	ね	NE	の	NO
は	HA	ひ	HI	ふ	HU/FU	へ	HE	ほ	HO
ま	MA	み	MI	む	MU	め	ME	も	MO
や	YA			ゆ	YU			よ	YO
ら	RA	り	RI	る	RU	れ	RE	ろ	RO
わ	WA			を	WO			ん	NN
が	GA	ぎ	GI	ぐ	GU	げ	GE	ご	GO
ざ	ZA	じ	ZI/JI	ず	ZU	ぜ	ZE	ぞ	ZO
だ	DA	ぢ	DI	づ	DU	で	DE	ど	DO
ば	BA	び	BI	ぶ	BU	べ	BE	ぼ	BO
ぱ	PA	ぴ	PI	ぷ	PU	ぺ	PE	ぽ	PO
ぁ	XA/LA	ぃ	XI/LI	ぅ	XU/LU	ぇ	XE/LE	ぉ	XO/LO
				っ	XTU/LTU				
ゃ	XYA/LYA			ゅ	XYU/LYU			ょ	XYO/LYO
きゃ	KYA	きぃ	KYI	きゅ	KYU	きぇ	KYE	きょ	KYO
ぎゃ	GYA	ぎぃ	GYI	ぎゅ	GYU	ぎぇ	GYE	ぎょ	GYO
しゃ	SYA/SHA	しぃ	SYI	しゅ	SYU/SHU	しぇ	SYE/SHE	しょ	SYO/SHO
じゃ	JYA/JA	じぃ	JYI	じゅ	JYU/JU	じぇ	JYE/JE	じょ	JYO/JO
ちゃ	TYA/CHA	ちぃ	TYI/CHI	ちゅ	TYU/CHU	ちぇ	TYE/CHE	ちょ	TYO/CHO
ぢゃ	DYA	ぢぃ	DYI	ぢゅ	DYU	ぢぇ	DYE	ぢょ	DYO
てゃ	THA	てぃ	THI	てゅ	THU	てぇ	THE	てょ	THO
でゃ	DHA	でぃ	DHI	でゅ	DHU	でぇ	DHE	でょ	DHO
にゃ	NYA	にぃ	NYI	にゅ	NYU	にぇ	NYE	にょ	NYO
ひゃ	HYA	ひぃ	HYI	ひゅ	HYU	ひぇ	HYE	ひょ	HYO
びゃ	BYA	びぃ	BYI	びゅ	BYU	びぇ	BYE	びょ	BYO
みゃ	MYA	みぃ	MYI	みゅ	MYU	みぇ	MYE	みょ	MYO
ぴゃ	PYA	ぴぃ	PYI	ぴゅ	PYU	ぴぇ	PYE	ぴょ	PYO
ふぁ	FA	ふぃ	FI			ふぇ	FE	ふぉ	FO
ふゃ	FYA	ふぃ	FYI	ふゅ	FYU	ふぇ	FYE	ふょ	FYO
りゃ	RYA	りぃ	RYI	りゅ	RYU	りぇ	RYE	りょ	RYO

原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/E メールのとき）

■ ADF（自動原稿送り装置）を使う

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

原稿ガイド
原稿のサイズに合わせてください。

原稿枚数は上限表示を目安にセットしてください。

ガイド

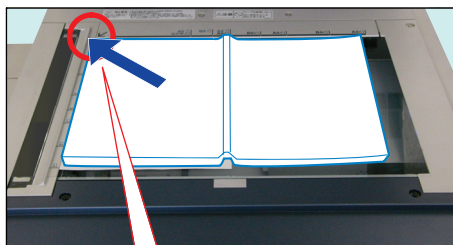
上限表示

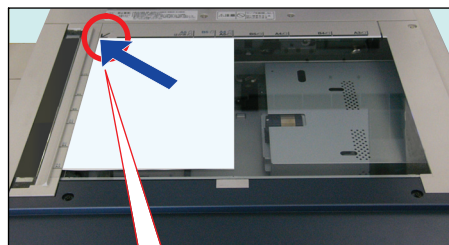
ADF を使うときのお願い

次のような原稿は使用できません。

- はがき用紙、画用紙、OHP フィルム、半紙、ラベル用紙、厚紙、薄紙、アート紙、フィルム、感熱紙、和紙など
- 破れ、大きな穴やとじ穴（コンピューター用紙）のある原稿、大きくカールしていたり、折れのある原稿など

■ 原稿台ガラスを使う

雑誌・本などの原稿

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上に合わせます。

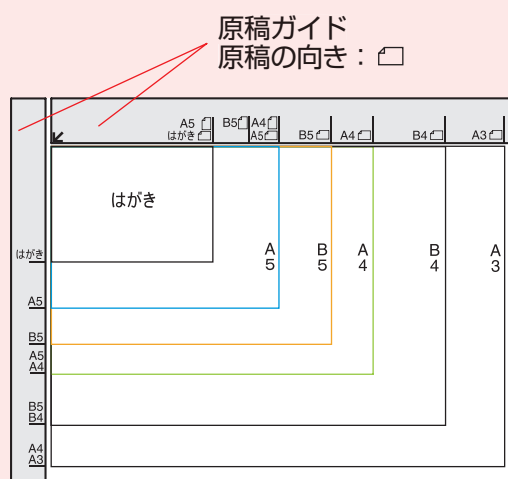
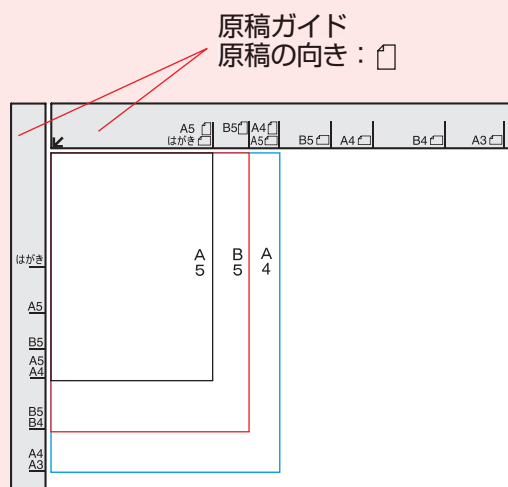
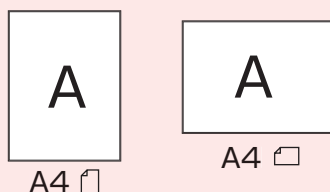
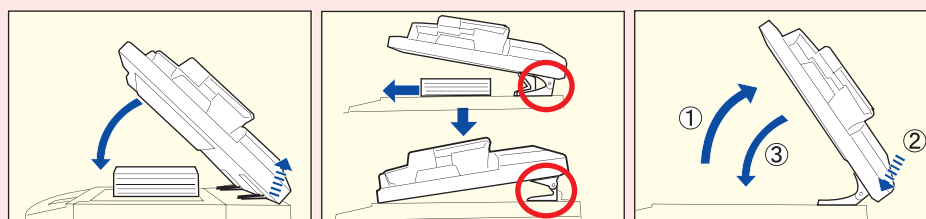
1 枚紙の原稿

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上に合わせます。

原稿台ガラスを使うときのお願い

- 原稿は、左上にあるマーク（↙）に合わせてセットしてください。正しく原稿がセットされていない場合は、原稿の一部が欠けてコピーされます。
- 原稿が A5 サイズより小さいときは、A5 の枠内にセットし、原稿サイズを A5 に設定してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。

- 原稿の向き（A4 の場合）

原稿ガイド
原稿の向き：

原稿ガイド
原稿の向き：

- 厚い冊子をコピーすると、ADF の接合部が浮き上がることがあります。このような場合は、いったん ADF を開いてから閉じ、接合部が元の位置に戻ったことを確認してください。

- 厚い原稿をコピーするときは、原稿台ガラスに強い力がかからないようにしてください。原稿台ガラスが破損するおそれがあります。
- ADF を開いたままコピーするときは、光源ランプを直視しないでください。目を傷める原因になることがあります。
- 原稿台ガラス上が周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤検知することがあります。そのときは、ADF を閉じてください。
- 原稿の周囲に余白（5mm 以上）がないと正しく原稿範囲が検知されず、コピー画像が極端にみだれる場合があります。そのときは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』を参照し、[コピー機能設定] > [08 スカイショットモードの切り替え] を [なし] に設定してください。

原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）

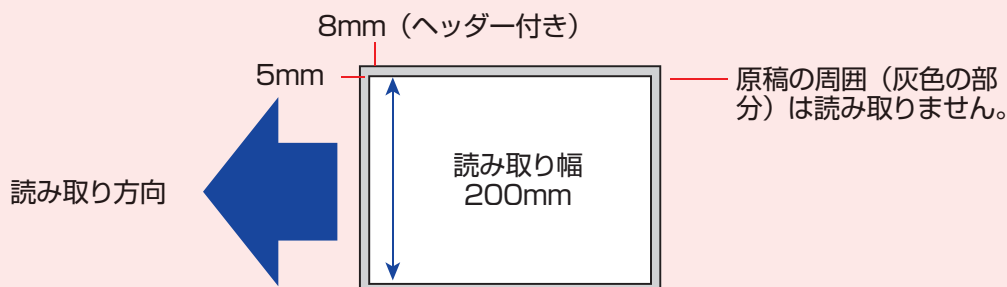
■ ADF(自動原稿送り装置) を使う

（ADF を使うときのお願いは p.38 を参照してください。）

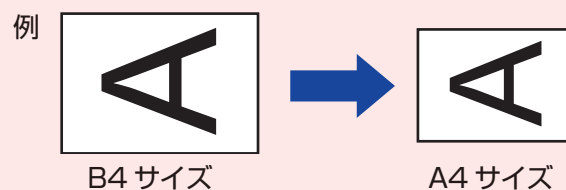
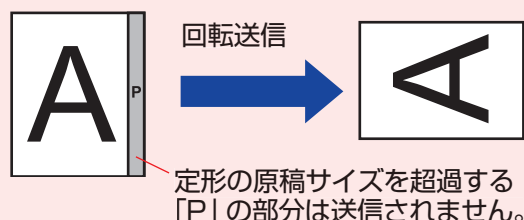
■ 原稿台ガラスを使う

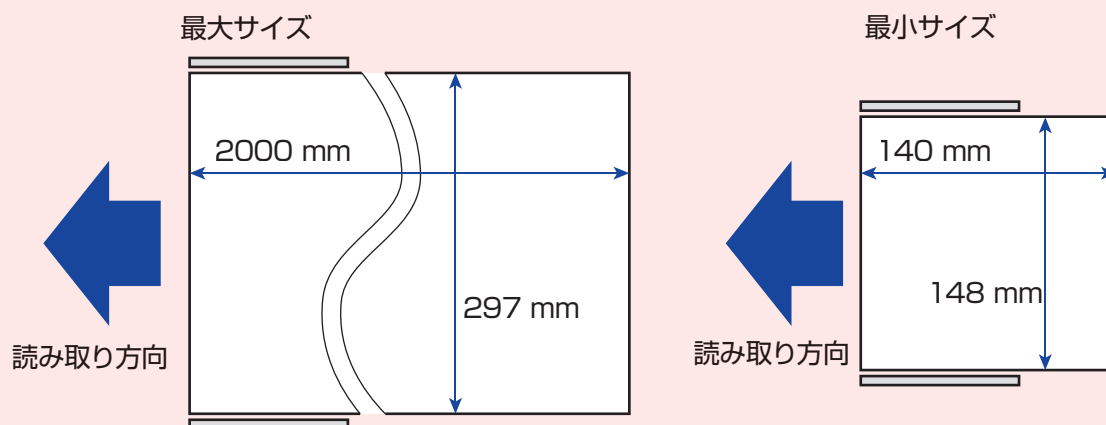
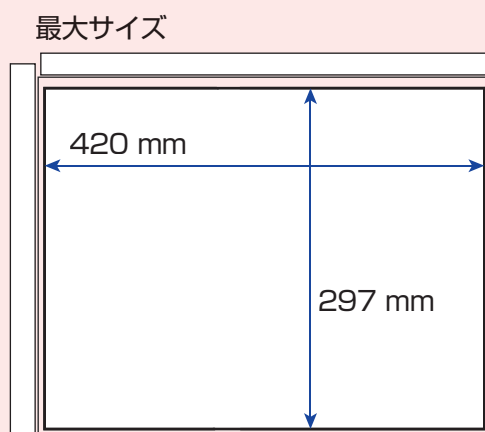
（原稿台ガラスを使うときのお願いは p.39 を参照してください。）

読み取り範囲について

A4 原稿（原稿幅が 210mm）の場合

定形外サイズの原稿を読み取るとき

定形外サイズの原稿を送信する場合、本機では原稿の方向を自動的に回転し、定形サイズに収まらない部分（図中の P の部分）は送信されません。

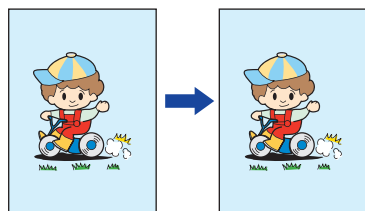
● ほかの機械に大きなサイズの原稿を送信するときには、相手機によって縮小されて受信されることがあります。

原稿サイズについて

ADF の場合

原稿台ガラスの場合

基本的なコピー

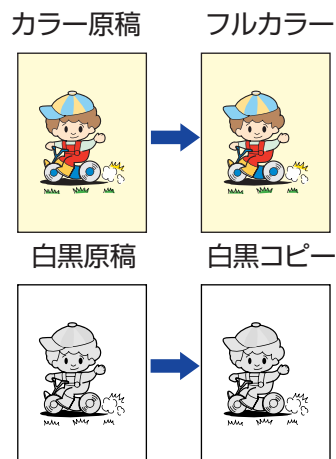
ここでは、カラー原稿を原稿と同じサイズでカラーコピーする操作を説明します。原稿をセットし、コピー部数を設定して**<スタート>**を押すだけで、簡単にコピーできます。

[原稿サイズ]と[コピーサイズ]

本機では、原稿サイズを自動検知し、最適なコピーサイズが自動的に選択されます。原稿とは異なるサイズや倍率でコピーしたい場合にだけ［原稿サイズ］や［コピーサイズ］を設定します。

原稿サイズ：A4　コピーサイズ：A4

カラーモード

本機では、原稿の色を自動検知し、原稿に適したカラーモードでコピーできます。

カラー原稿をセットした場合はフルカラーで、白黒原稿をセットした場合は白黒でコピーされます。

お願い

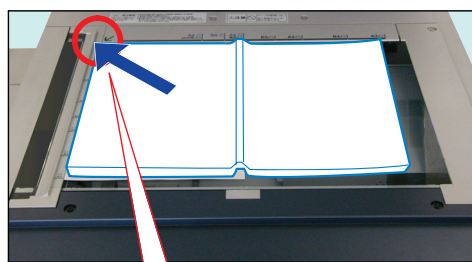
- コピー中（原稿の読み取り中や印刷中）は、機械内部でファンモーターが回転しています。動作中のモーター音は本機の異常ではありませんので、ご了承ください。

お知らせ

- 基本画面や詳細設定画面では、便利なコピー機能を利用できます。
  詳しくは、「いろいろなコピー機能」（p.50）を参照してください。
- 給紙カセットにセットされていない用紙にコピーしたいときは、手差しトレイ（p.88）を使用してください。

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「ADF を使う」（p.38）を参照してください。

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上に合わせます。

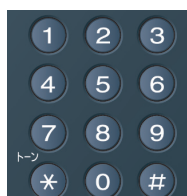
- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「原稿台ガラスを使う」（p.38）を参照してください。
- 拡大 / 縮小してコピーするときは、ADF、原稿台ガラスのどちらにセットするときも、原稿を ◻ の向きでセットしてください。

2 ほかのモードが表示されている場合は、**<コピー>**を押す

3 必要に応じて機能を設定する

- 「いろいろなコピー機能」(p.50)を参照してください。

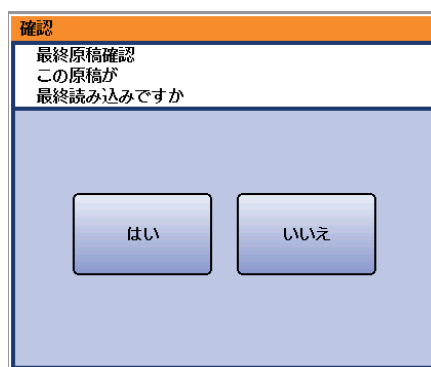
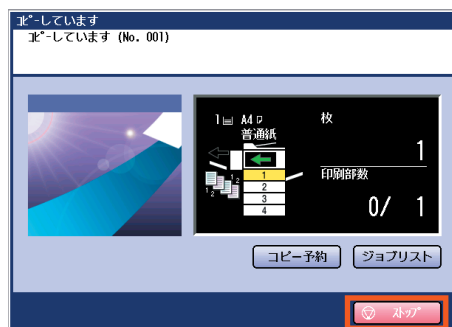
- 原稿サイズとコピーサイズは自動的に選択されます。
- 原稿の向きと用紙の向きが異なるときは、自動的に画像を回転してコピーします。
- 原稿サイズと異なる用紙サイズに拡大 / 縮小してコピーするときは、コピーサイズを選択します。

4 コピー部数を入力する(999 部まで)

- ファクス機能が搭載されているときは、4 ～ 8 桁の数字を入力すると、自動的にファクスモードに切り替わることがあります。

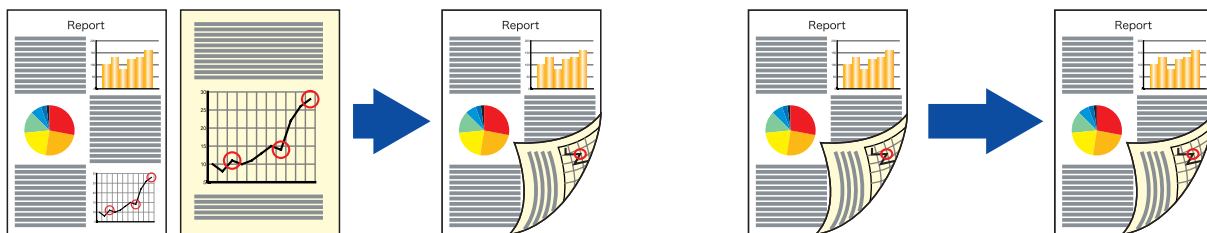
  お買い上げ時の設定では、6 桁で切り替わります。設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』を参照して、[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [118 自動 Fax 切替] で設定してください。

5 **<スタート>**を押す

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。

  (例:ソート設定の画面)

- コピーを途中でやめるときは、**<ストップ>**または[ストップ]を押して、中止を確認する画面で[はい]を押してください。

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

片面 / 両面原稿を両面にコピーする

ここでは、片面原稿や両面原稿を用紙の両面にコピーする手順を説明します。

お願い

- 両面コピーができる用紙は、普通紙、上質紙、再生紙だけです。(p.86)
- A5 サイズの用紙は、両面コピーできません。

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

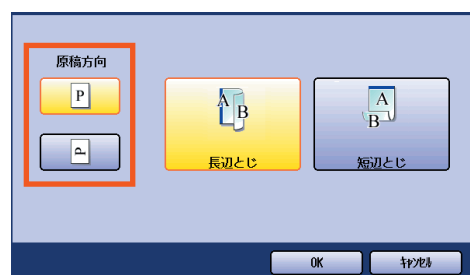
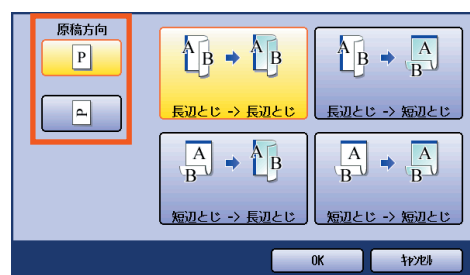
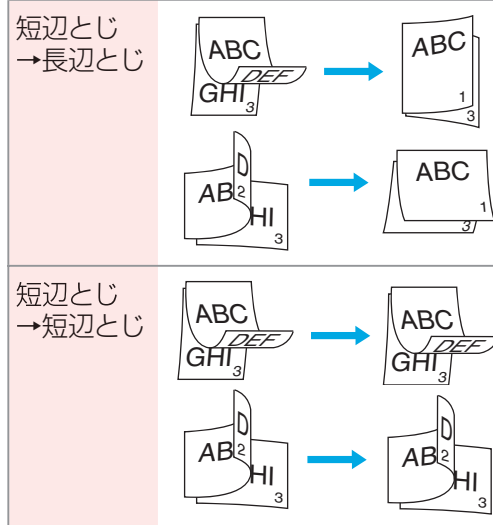
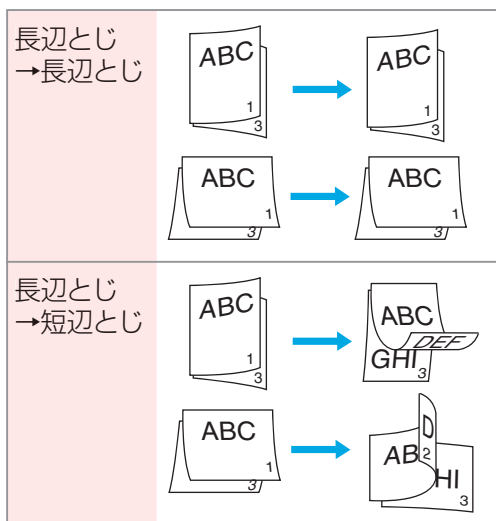
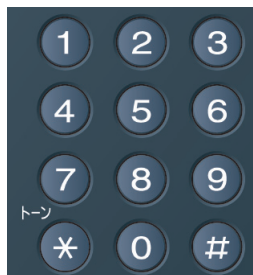
- 「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー /E メールのとき)」(p.38) を参照してください。
- [両面→両面] でコピーするときは、原稿を ADF にセットしてください。

2 [詳細設定] を押す

- ほかのモードが表示されているときは、**<コピー>**を押してください。

3 片面原稿を両面コピーするときは [片面→両面] を、両面原稿を両面コピーするときは [両面→両面] を押す

4 原稿の向きを選択する

■ [片面→両面] を選択したとき

■ [両面→両面] を選択したとき

5 とじ位置を選択し、[OK] を押す

■ [片面→両面] を選択したとき

長辺とじ	長辺をとじるときに選択します。
短辺とじ	短辺をとじるときに選択します。

■ [両面→両面] を選択したとき

長辺とじ →長辺とじ	
長辺とじ →短辺とじ	

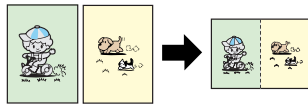
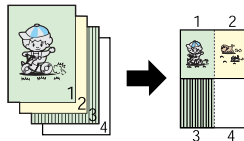
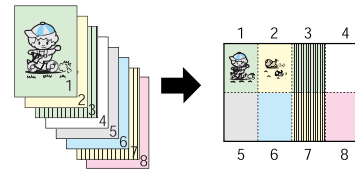
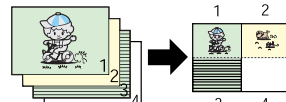
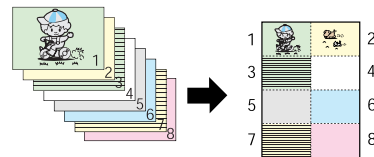
短辺とじ →長辺とじ	
短辺とじ →短辺とじ	

6 コピー部数を入力する

7 <スタート>を押す

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。
- コピーを途中でやめるときは、**<ストップ>**または［ストップ］を押して、中止を確認する画面で［はい］を押してください。
- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。
- 両面コピー時に [エッジ] や [とじ代] 機能を一緒に設定した場合、表と裏でコピー位置がずれることがあります。

複数ページを 1 枚にまとめる

ここでは、複数ページの原稿を 1 枚にまとめてコピーする手順（N イン 1）を説明します。

2 イン 1（縦長原稿）　4 イン 1（縦長原稿）　8 イン 1（縦長原稿）

2 イン 1（横長原稿）　4 イン 1（横長原稿）　8 イン 1（横長原稿）

お知らせ

- ［原稿混載］を設定しているときは、［N イン 1］を選択できません。

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」（p.38）を参照してください。

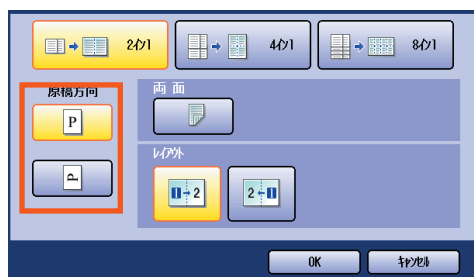
2 ［詳細設定］を押す

- ほかのモードが表示されているときは、**<コピー>**を押してください。

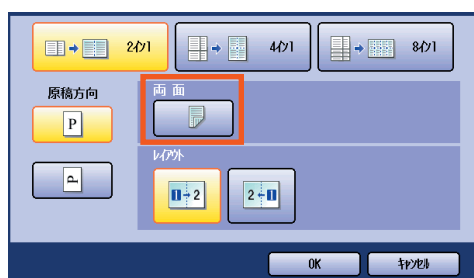
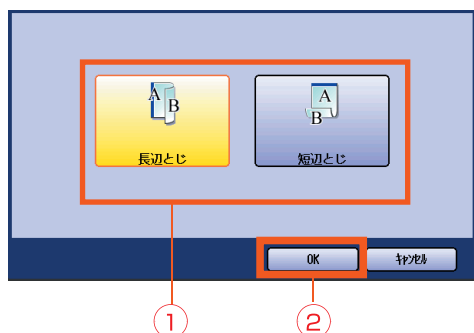
3 ［N イン 1］を押す

4 1ページにまとめてコピーする原稿枚数を選択する

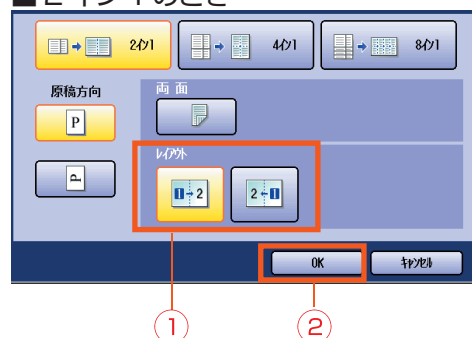
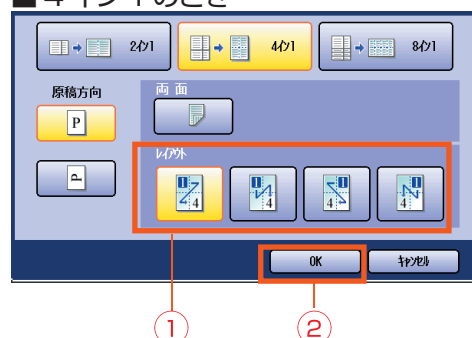
2 イン 1	2ページの原稿を 1 枚にまとめます。
4 イン 1	4ページの原稿を 1 枚にまとめます。
8 イン 1	8ページの原稿を 1 枚にまとめます。

5 原稿の向きを選択する

P	原稿上辺を上にセット　例：ABC 1
P	原稿上辺を左にセット　例：ABC 1

6 両面コピーするときは、次の操作をする

① ［両面］を押す

② とじる方向を選択して［OK］を押す

長辺とじ	長辺をとじるときに選択します。
短辺とじ	短辺をとじるときに選択します。

7 「レイアウト」で原稿の配置順を選択し、［OK］を押す

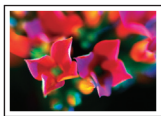
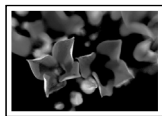
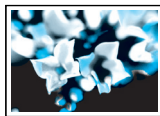
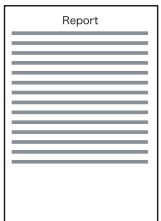
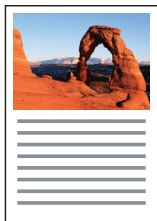
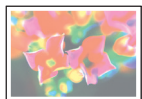
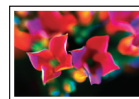
■２イン１のとき

■４イン１のとき

■８イン１のとき

8 コピー部数を入力する

9 **<スタート>**を押す

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。
- コピーを途中でやめるときは、**<ストップ>**または［ストップ］を押して、中止を確認する画面で［はい］を押してください。
- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：１分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

画質を設定する

ここでは、カラーモード、原稿の種類、コピー濃度を設定してコピーする手順を説明します。

カラーモード：　フルカラー　白黒　2 色カラー　単色カラー

原稿種類：　文字　文字 / 写真　写真　その他

濃度：　うすく　こく

お知らせ

- [2 色カラー] または [単色カラー] を設定しているときは、[原稿種類] の設定はできません。

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」（p.38）を参照してください。

2 [画質設定] を押す

- ほかのモードが表示されているときは、**<コピー>**を押してください。

3 カラーモードを選択する

自動	原稿の色を自動的に判別してコピーしたいときに選択します。 原稿がカラーのときはフルカラーで、白黒のときは白黒でコピーされます。
白黒	原稿の色に関係なく、白黒でコピーしたいときに選択します。
フルカラー	カラー原稿をフルカラーでコピーしたいときに選択します。
2 色カラー	黒色と設定したもう 1 色の 2 色でコピーしたいときに選択します。基本色（赤、緑、青、イエロー、マゼンタ、シアン）、または登録した色から選択できます。
単色カラー	設定した色でコピーしたいときに選択します。基本色（赤、緑、青、イエロー、マゼンタ、シアン）、または登録した色から選択できます。

4 原稿の種類を選択する

文字	文字だけの原稿のときに選択します。
文字 / 写真	文字と写真が混在する原稿のときに選択します。
写真	写真だけの原稿のときに選択します。
その他	地図、トレーシングペーパー、新聞をコピーするときに選択します。

5 ［うすく］、［こく］を使って濃度を設定し、［OK］を押す

6 コピー部数を入力する

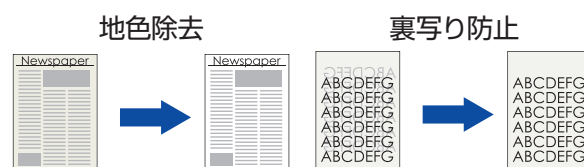
7 <スタート>を押す

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。
- コピーを途中でやめるときは、**<ストップ>**または［ストップ］を押して、中止を確認する画面で［はい］を押してください。
- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

いろいろなコピー機能

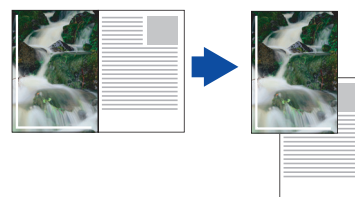
ここでは、本機で使える便利なコピー機能のいくつかを、簡単にご紹介します。
便利なコピー機能の詳しい内容と操作については、『取扱説明書（コピー編）』をお読みください。

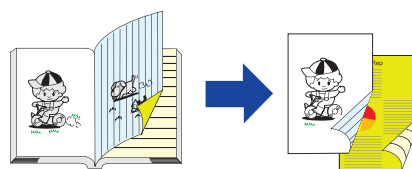
地色除去 / 裏写り防止

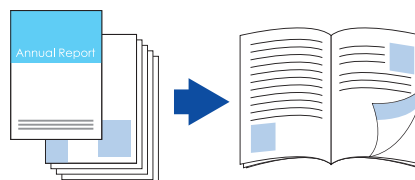
原稿の背景色を除去してコピーしたり、紙の厚さが薄い原稿をコピーするときに、裏写りを防止してコピーできます。

試しコピー

複数部数コピーするときに、はじめの1部の状態を確認してから、残りの部数をコピーできます。

ページ連写

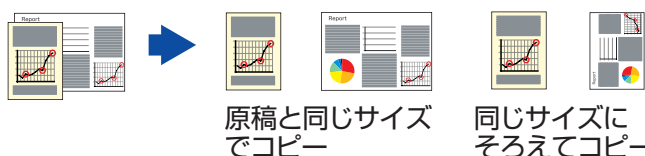
見開きの原稿を片面ずつ分割してコピーできます。

ブック→両面

見開きの原稿を片面ずつ分割して両面コピーできます。

ブックレット

複数ページの原稿を本のように両面コピーできます。

原稿混載

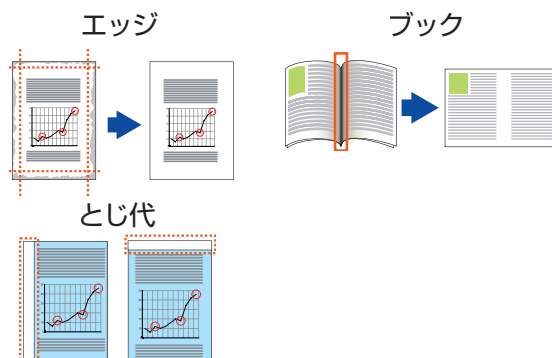
サイズが異なる複数の原稿をまとめて読み取ることができます。読み取った原稿は、それぞれの原稿サイズに応じた用紙にコピーしたり、同じコピーサイズにそろえてコピーしたりできます。

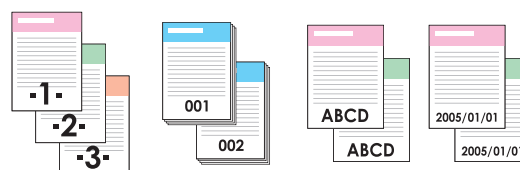
原稿と同じサイズでコピー

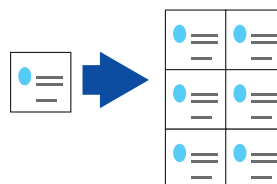
同じサイズにそろえてコピー

ステープル、パンチ※

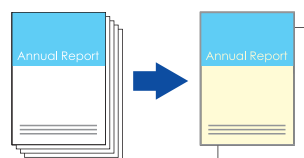
オプションのフィニッシャーを装着しているときは、ステープルやパンチ※を設定してコピーできます。
※フィニッシャー（パンチユニット付き）を装着時

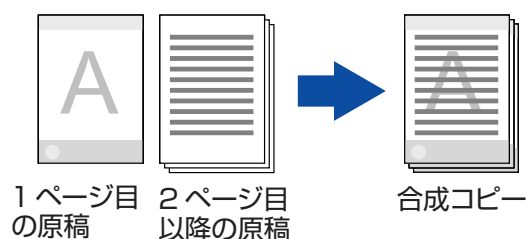
エッジ / ブック / とじ代

用紙の上下、左右の消し幅（コピーしない部分）を設定してコピーしたり、本などの折り位置の汚れを消したりしてコピーできます。また、用紙の上下左右に余白（とじ代）をつけてコピーすることもできます。

スタンプ印字

ページ、管理番号、テキスト、日付を付けてコピーできます。

イメージリピート

原稿を 1 枚の用紙に繰り返してコピーできます。繰り返される画像の数は、用紙サイズに応じて自動的に設定されます。

表紙

表紙だけ別の用紙を使ってコピーできます。

合成

1ページ目の原稿を 2 ページ目以降の原稿に合成してコピーすることができます。

コンピューターからの印刷

プリンタードライバーをインストールしたコンピューターから、画像やアプリケーションソフトウェアのデータを印刷できます。

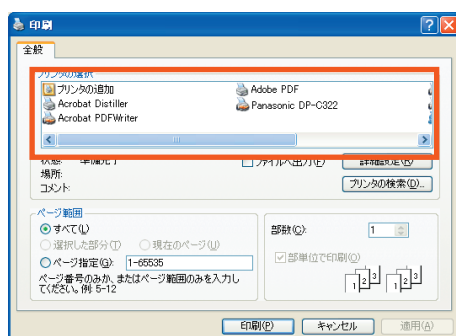
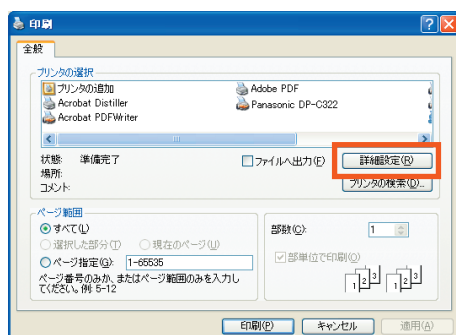
お願い

- コンピューターから印刷するには、本機とコンピューターそれぞれにセットアップが必要です。
  セットアップについては、『取扱説明書（セットアップ編）』の「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

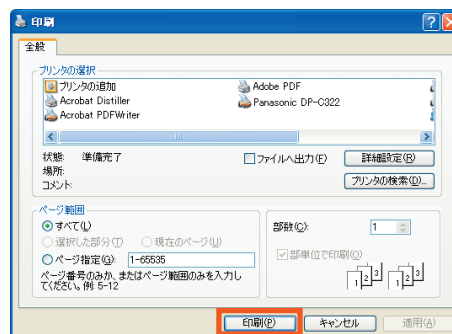
お知らせ

- ここでは、Windows® XP 環境で、ワードパッドから印刷する手順で操作を説明しています。ほかの OS やアプリケーションソフトウェアをお使いの場合は、適宜説明を読み替えてください。

1 [ファイル] から [印刷] を選択する

2 [プリンタの選択] で、[Panasonic DP-C322]、[Panasonic DP-C322F]、[Panasonic DP-C262]、[Panasonic DP-C262F] のいずれかを選択する

3 プリンタードライバーの設定を変更する場合は、[詳細設定] をクリックする

4 プリンタードライバーの設定を変更し、[OK] をクリックする

- プリンタードライバーの設定については、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

5 [印刷] をクリックする

- 本機の給紙カセットにセットされていない用紙に印刷したいときは、手差しトレイに用紙をセットしてください。

  但し、規定サイズ（A3、B4、A4、B5、A5、はがき）以外の用紙に印刷したいときは、手動で用紙を選択する必要があります。詳しくは、「用紙の補給（手差しトレイ）」(p.88) を参照してください。

SD カード /PC カードからの印刷

本機の SD カード /PC カードスロットに SD カード /PC カードをセットして、SD カード /PC カードに保存されている画像やアプリケーションデータを、コンピューターを使わずに印刷できます。ここでは、SD カードからの印刷を説明します。

●画像の印刷

SD カード /PC カードに保存されている、デジタルカメラで撮った画像など（JPEG 形式、TIFF-FX 形式 *1、PDF 形式 *2）を印刷できます。

*1 カラーの TIFF 形式の画像は印刷できません。
*2 PDF 形式の画像を印刷するには、オプションのプリンターコントローラーユニットが必要です。

［セレクトプリント］または［ファイル一覧］で印刷した場合
・選択した画像が 1 枚の用紙に 1 つずつ印刷されます。

［インデックスプリント］で印刷した場合
・選択した画像が 1 枚の用紙に複数印刷されます。

●アプリケーションの簡易印刷

SD カード / PC カードに保存したビジネス文書など（Microsoft Word 形式、Microsoft Power Point 形式、PDF 形式）を印刷できます。
アプリケーションの簡易印刷には、同一ネットワーク上のコンピューターに、ソフトウェア（Memory Card Print Utility）をインストールする必要があります。

お願い

● 本機が対応しているアプリケーションのバージョンは次のとおりです。詳しくは、サービス実施会社へお問い合わせください。

Microsoft® Word/Microsoft PowerPoint.Ver.2000/2002/2003
Adobe® Reader®..6.0/7.0

お知らせ

● SD ロゴは商標です。SD ロゴマーク入りの純正の SD カード（最大 1GB）だけを使用できます。

■ 画像を印刷する

1 **<プリンター>を押す**

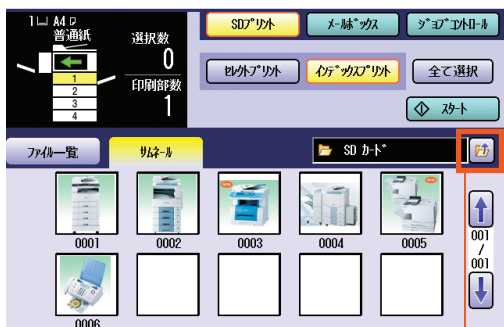
2 [SD プリント] を押す

● オプションのハードディスクユニット装着時は、上の画面の代わりに [メールボックス] 画面が表示されます。[メールボックス] と [ジョブコントロール] については、『取扱説明書（PCL Printer Driver 編）』の「プリント操作(プリンターから)」を参照してください。

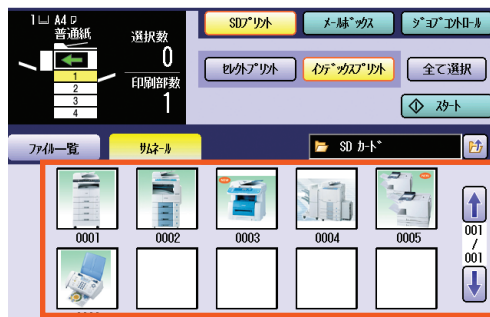
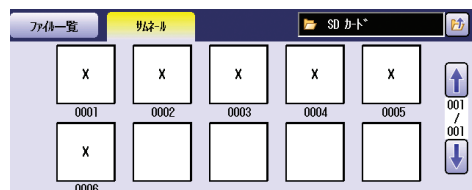
3 カードスロットに SD カード /PC カードを挿入する

● 「SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた」（p.30）を参照してください。

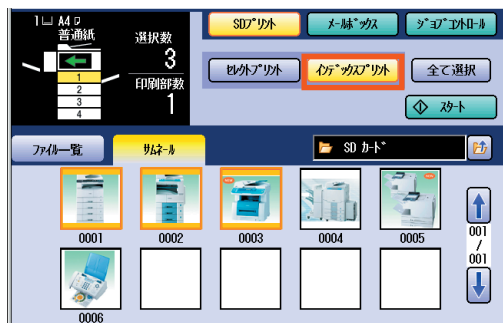
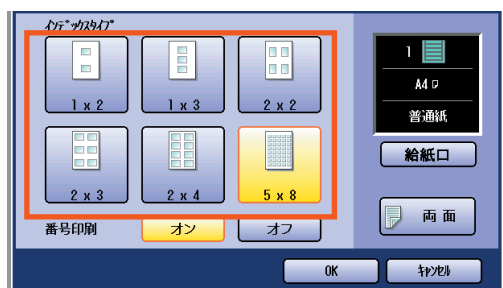
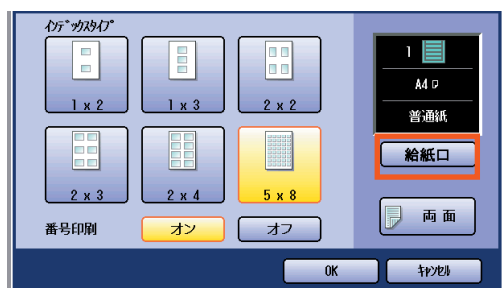
4 SD カード内のフォルダーを選択する

SD カード内の写真イメージと写真が保存されているフォルダー名が自動的に表示されます。

フォルダー選択ボタン

● SD カードにデータがない場合は、何も表示されません。
● 表示される写真のフォルダーが異なるとき：
フォルダー選択ボタン（ ）でフォルダーを選択します。このボタンを押すたびに、1 つ上の階層のフォルダーとその中のファイル名が表示されます。フォルダー名については、ご使用のデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。
● 写真イメージは、JPEG 形式（EXIF フォーマット：Ver 2.1 以降 *）の場合にだけ表示されます。
次の画像を印刷する場合は、「アプリケーションソフトウェアのデータを印刷する」（p.58）を参照してください。
・コンピューターで編集した画像
・JPEG 形式以外のファイル形式の写真
・TIFF ファイル
*EXIF フォーマット：Ver2.1 以降
デジタルカメラ用の規格です。ご使用のデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

5 印刷したい画像を選択する

● 画像は選択した順番で印刷されます。
● ［全て選択］を選択すると、フォルダー内の画像をすべて選択できます。
● 最大 80 画像まで選択できます。
● スキャナーから SD に保存したデータなどは、画像の代わりに × マークが表示されることがあります。印刷したいデータの番号が分からないときは、インデックスプリントを行って、画像の一覧と番号を確認してください（p.56）。

次ページへ続く ▶▶▶

■ インデックスプリントの場合

6 ［インデックスプリント］を押す

7 印刷するレイアウトを選択する

8 給紙カセットを選択する場合は、［給紙口］を押して給紙カセットを選択する

- ［給紙口］を押すたびに給紙カセットが切り替わります。

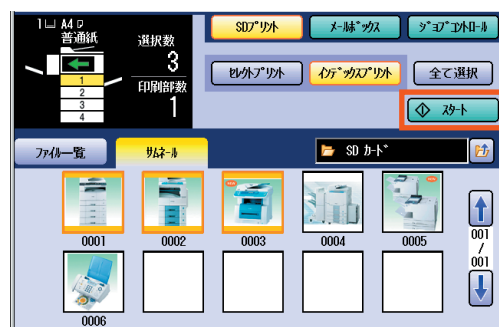
9 用紙の両面に印刷したい場合は、次の操作をする

①［両面］を押す

②表示された画面で原稿のとじ位置を選択し、［OK］を押す

③［OK］を押す

10 印刷部数を入力する

11 ［スタート］を押す

12 印刷が終了したら SD カード /PC カードを取り出す

■ セレクトプリントの場合

1 「画像を印刷する」（p.55）の手順 1 ～ 5 の操作をして、印刷したい画像を選択する

2 ［セレクトプリント］を押す

3 印刷するサイズを設定する

4 給紙カセットを選択する場合は、［給紙口］を押して給紙カセットを選択する

● ［給紙口］を押すたびに、給紙カセットが切り替わります。

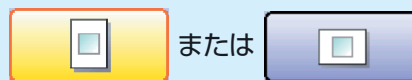
5 用紙の両面に印刷したい場合は、次の操作をする

① ［両面］を押す

次ページへ続く ▶▶▶

写真を配置するフレームサイズを設定する

● 設定したフレーム内に写真が配置されます。実際に印刷される写真のサイズはフレームサイズと異なります。XY サイズの縮小・拡大比率の近い方のフレームサイズに合わせて写真サイズが自動設定されます。

自由にサイズを設定する

① 原稿の方向を選ぶ

② ［▲］または［▼］を押し、写真を配置するフレームサイズを設定する

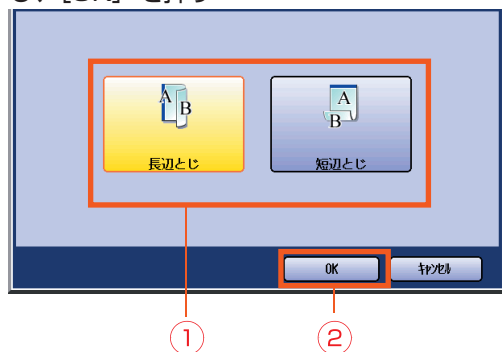
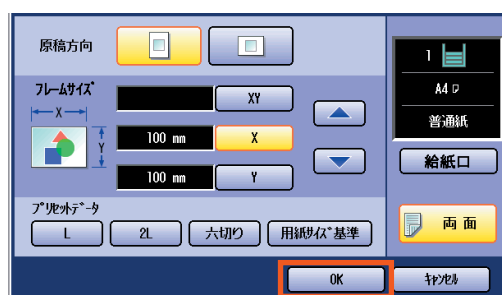
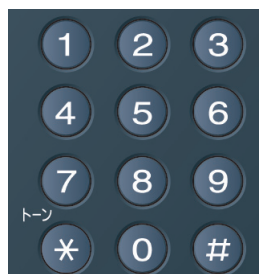
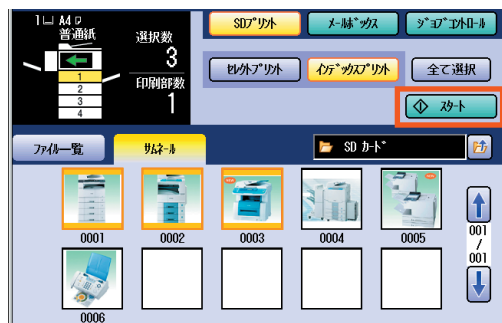
XY	縦横のフレームサイズを同時に設定します。
X	横のフレームサイズを設定します。
Y	縦のフレームサイズを設定します。

プリセットデータからサイズを選択する

①原稿の方向を選ぶ

②画像のサイズを選択する (フレームサイズより小さい用紙には印刷できません)

L	フレームサイズ：127mm x 89mm
2L	フレームサイズ：178mm x 127mm
六切り	フレームサイズ：254mm x 203mm
用紙サイズ基準	用紙に画像が収まるように印刷されます。

②表示された画面で原稿のとじ位置を選択し、[OK] を押す

③ [OK] を押す

6 印刷部数を入力する

7 [スタート] を押す

8 印刷が終了したら SD カード /PC カードを取り出す

● 「SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた」(p.30) を参照してください。

■ アプリケーションソフトウェアのデータを印刷する

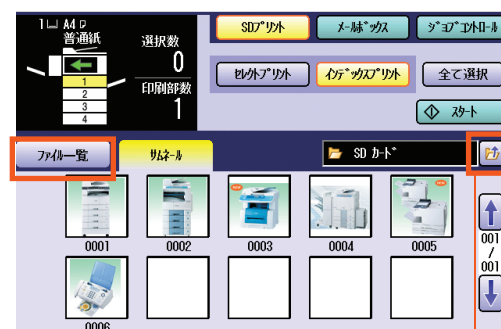
1 <プリンター>を押す

2 [SD プリント] を押す

3 カードスロットに SD カード /PC カードを挿入する

● 「SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた」(p.30) を参照してください。

4 [ファイル一覧] タブを押す

SD カード内のデータが保存されているフォルダー名が自動的に表示されます。

● SD カードにデータがない場合は、何も表示されません。

● 表示されるデータのフォルダーが異なるとき：
フォルダー選択ボタン（ ）でフォルダーを選択します。このボタンを押すたびに、1つ上の階層のフォルダーとその中のファイル名が表示されます。

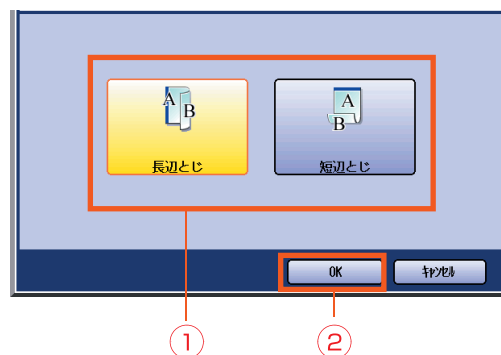
5 ファイルリストから、印刷したいデータを選択する

● 複数のデータを選択することはできません。
● 印刷したいデータの番号が分からないときは、インデックスプリントを行って、画像の一覧と番号を確認してください（p.56）。

6 給紙カセットを選択する場合は、［給紙口］を押す

給紙カセットを選択して［OK］を押す

7 用紙の両面に印刷したい場合は、［両面］を押す

表示された画面で原稿のとじ位置を選択し、［OK］を押す

● 1つのファイルに複数ページのデータが入っている場合、両面に印刷されます。

8 印刷部数を入力する

9 ［スタート］を押す

10 印刷が終了したらSDカード/PCカードを取り出す

● 「SDカード/PCカードアダプターのセットのしかた」（p.30）を参照してください。

基本的なファクス送信

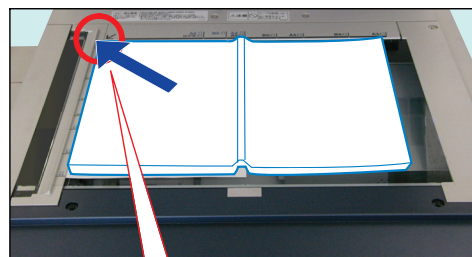
ここでは、G3 モードでファクス送信する手順を説明します。

お願い

- ファクス送信をするには、本機のセットアップが必要です。セットアップについては、『取扱説明書（セットアップ編）』の「ファクスの設定」を参照してください。
- ファクス送受信できる画像は白黒画像だけです。カラー原稿を読み取っても、相手側には白黒画像で届きます。
- 写真原稿や、文字と写真が混在した原稿の場合は、鮮明な画像を送信するため、［基本］の［画質設定］で次の設定をしてください。
  - ・写真原稿..［原稿種類］で［写真］を選択
  - ・文字と写真が混在した原稿..........［原稿種類］で［文字 / 写真］を選択

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

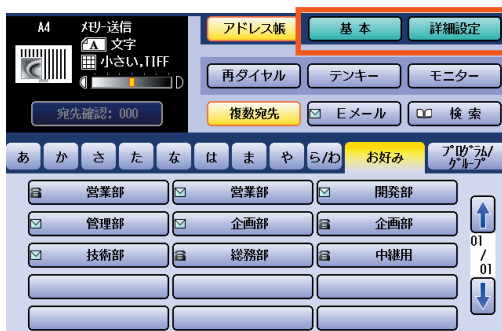
原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

- 「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」の「ADF を使う」（p.40）を参照してください。

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上に合わせます。

- 「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」の「原稿台ガラスを使う」（p.40）を参照してください。

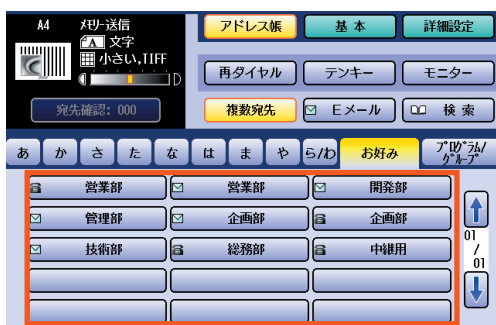
2 <ファクス>を押す

3 必要に応じて［基本］や［詳細設定］の画面で機能を設定する

● 「いろいろなファクス機能」（p.64）を参照してください。

4 次のいずれかの手順で宛先を設定する

■ テンキーで、宛先のファクス番号を入力する

● 詳しいファクス番号の入力方法については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「2 章 ファクスの基本操作」を参照してください。

■ アドレス帳から選択する

● アドレス帳を利用するためには、あらかじめ登録が必要です。「アドレス帳の登録（ファクス）」（p.62）を参照してください。

5 <スタート>を押す

● 送信を途中でやめるときは、**<ストップ>**を押してください。

● 通信結果レポートを印刷したいときは、『取扱説明書（ファクス / インターネットＦＡＸ編）』の「８章　レポート / リストについて」を参照してください。

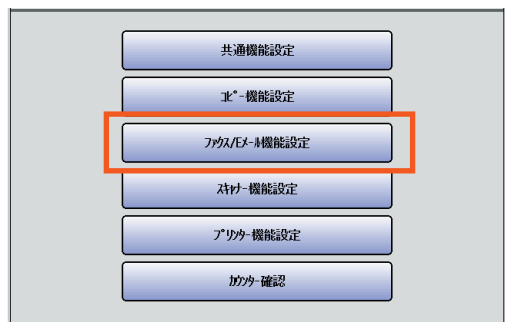
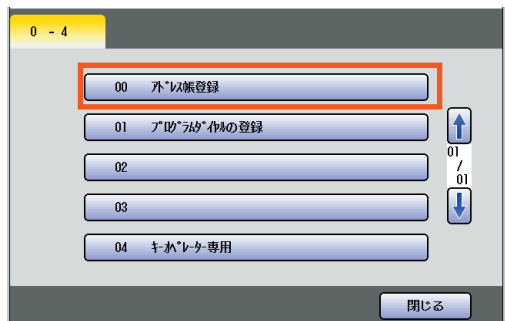
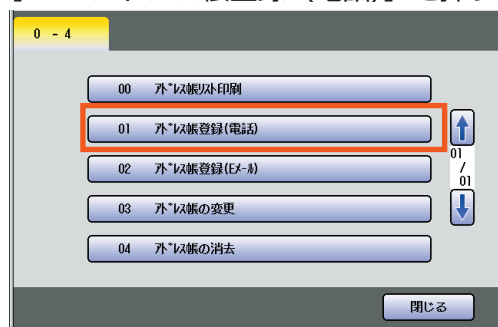
アドレス帳の登録（ファクス）

アドレス帳とは、ワンタッチで宛先を指定する機能です。アドレス帳を利用するには、あらかじめ登録が必要です。次の手順で登録してください。

お知らせ

- アドレス帳の詳しい操作については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「7 章 データを登録する」を参照してください。

1 <ファンクション>を押す

2 ［ファクス /E メール機能設定］を押す

3 ［00　アドレス帳登録］を押す

4 ［01　アドレス帳登録（電話）］を押す

- 登録したアドレスを消去する場合は［04 アドレス帳の消去］を押してください。

5 ファクス番号を入力し、［OK］を押す

- ［クリアー］を押すと、ファクス番号を 1 文字ずつ消去できます。

6 宛先名（20 文字まで）を入力し、［OK］を押す

（例：松下）

● 文字の入力については、「文字入力のしかた」（p.32）を参照してください。

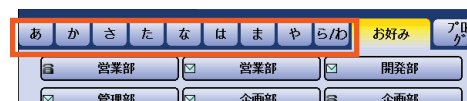
7 ボタン名（10 文字まで）を入力し、[OK] を押す

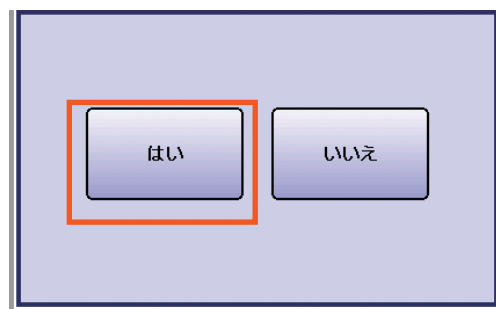
（例：松下）

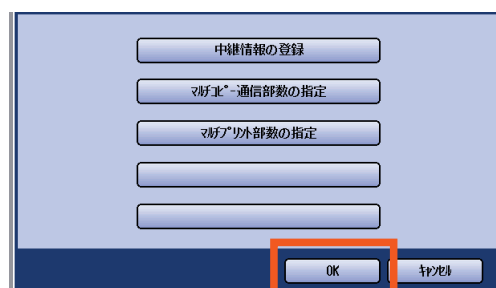
● [ボタン名] は、アドレス帳のボタンに表示される名前です。電話番号が登録されている宛先名の前には☎マークが付きます。

8 検索文字（10 文字まで）を入力し、[OK] を押す

（例：マツシタ）

● 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（[あ] ～ [ら / わ] の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。

● 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

9 「お好み」に登録する場合は、[はい] を押す

● 「お好み」は、アドレス帳の初期状態で表示される画面です。
よく使う宛先はここに登録しておくと便利です。

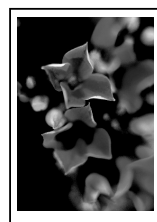
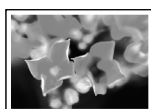
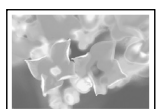
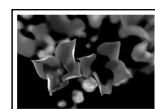
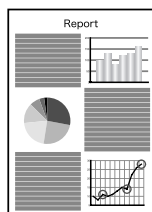
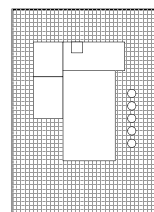
10 特殊通信機能の登録をしない場合は、[OK] を押す

11 [キャンセル] を押す

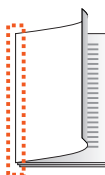
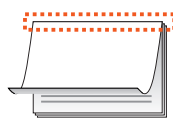
12 登録が終了したら、**<リセット>**を押す

いろいろなファクス機能

ここでは、本機で使える便利なファクス機能のいくつかを、簡単にご紹介します。
便利なファクス機能の詳しい内容と操作については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』をお読みください。

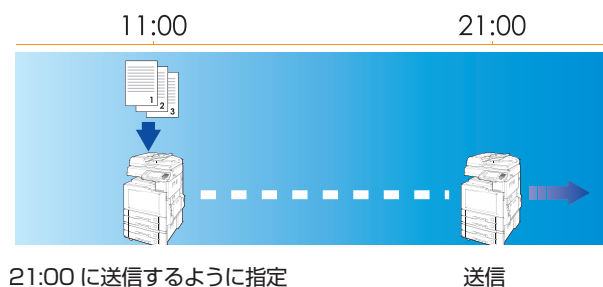
画質設定

原稿の種類、読み取る濃度、読み取る細かさ（解像度）を設定できます。送信する原稿に合わせて設定します。

両面原稿

両面原稿を送信できます。
原稿の上下を正しく読み取るために、原稿に応じてとじ位置を指定できます。

済スタンプ

原稿が読み取られたことを確認するために、原稿にスタンプを押すことができます。

タイマー送信

送信時刻を設定できます。通信料金の安い夜間を利用したり、海外への通信をする場合に便利です。

セレクト送信・セレクト受信

アドレス帳に登録されている相手の電話番号を照合し、一致したときだけ通信する機能です。

・セレクト送信
　誤って別の相手に送信するなどの、誤送信を防止できます。

・セレクト受信
　ダイレクトファクスや迷惑ファクス防止に便利です。

パスワード送信・パスワード受信

機密性の高い文書の送受信に便利な機能です。送信側と受信側のパスワードが一致したときだけ、ファクス送受信が開始されます。

ワンタイム海外通信

伝送速度（ファクス通信をする速度）を一時的に落とし、より確実な通信をする機能です。回線環境の影響などで通信エラーが発生する場合に、この機能を設定しておくと便利です。

定期便タイマー通信

タイマーにセットされた時刻になると、自動的に通信が開始されます。最大 5 件までタイマーを設定できます。

中継同報指示

中継局（LAN 中継機能をもつファクス）を介し、通信コストに配慮した経済的なファクスネットワークを構築する機能です。

基本的なインターネット FAX 送信

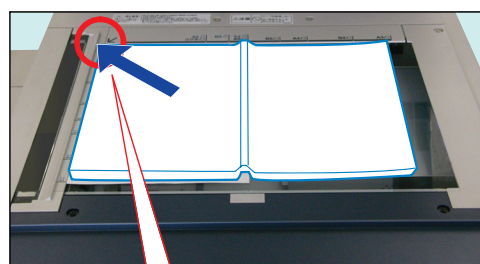
インターネット FAX は、読み取った原稿を、インターネット FAX またはコンピューターに対して、E メールの添付ファイルとして送信する機能です。一般の電話回線を経由せず、イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由して送受信されます。ここでは、G3 モードでファクス送信する手順を説明します。

お願い

- インターネット FAX 機能は、インターネット FAX ユニット（DA-NF320）を装着している場合に使用できます。
- インターネット FAX 送信をするには、本機のセットアップが必要です。セットアップについては、『取扱説明書（セットアップ編）』の「E メール / インターネット FAX の設定」、および『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「5 章 インターネット FAX を使う」を参照してください。
- 本機からコンピューターに E メールを送信した場合、コンピューター側で添付ファイルを開くには専用のビューワーが必要です。コンピューターで E メールを受信する場合の詳細は、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「5 章 インターネット FAX を使う」を参照してください。
- 本機からインターネット FAX 送信できる画像は白黒画像だけです。カラー原稿を読み取っても、相手側には白黒の画像が届きます。カラーで送信したい場合は、スキャナー /E メール機能から E メールを送信してください。

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

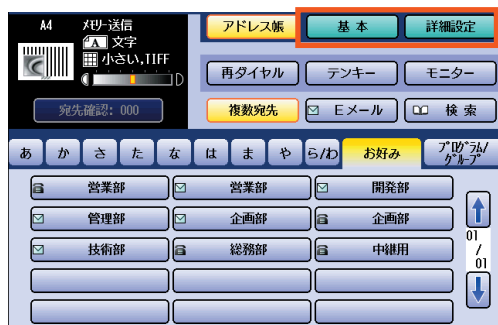
原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

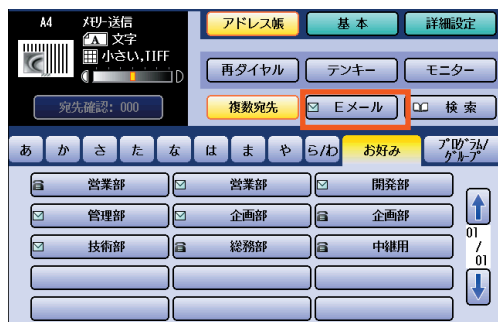
- 「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」の「ADF を使う」（p.40）を参照してください。

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上に合わせます。

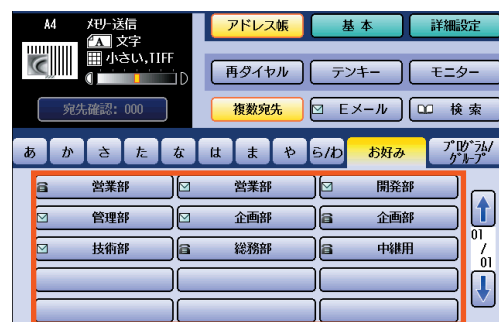
- 「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」の「原稿台ガラスを使う」（p.40）を参照してください。

2 <ファクス>を押す

3 必要に応じて [基本] や [詳細設定] の画面で機能を設定する

- 「いろいろなインターネット FAX 機能」（p.70）を参照してください。

4 次のいずれかの手順で宛先を設定する

■[E メール] を押し、[キーボード] 画面でメールアドレスを入力し、[OK] を押す

- 詳しいメールアドレスの入力方法については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「5 章 インターネット FAX を使う」を参照してください。

■アドレス帳から選択する

- アドレス帳を利用するには、あらかじめ登録が必要です。「アドレス帳の登録（インターネット FAX）」（p.68）を参照してください。

5 <スタート>を押す

- 送信を途中でやめるときは、**<ストップ>**を押してください。
- 通信結果のレポートを印刷したいときは、『取扱説明書（ファクス / インターネットＦＡＸ編）』の「８章　レポート / リストについて」を参照してください。

アドレス帳の登録（インターネットFAX）

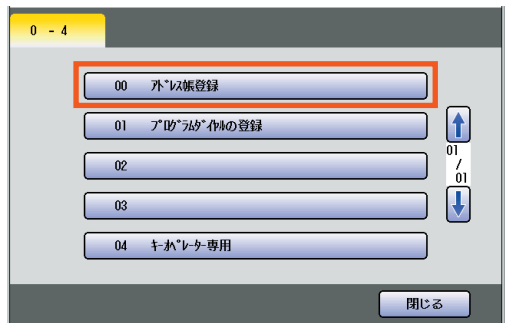
アドレス帳とは、ワンタッチで宛先を指定する機能です。アドレス帳を利用するには、あらかじめ登録が必要です。ここでは、インターネットＦＡＸのアドレスを登録する手順を説明します。

お知らせ

- アドレス帳の詳しい操作については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「7 章 データを登録する」を参照してください。

1 **<ファンクション>**を押す

2 [ファクス /E メール機能設定] を押す

3 [00　アドレス帳登録] を押す

4 [02 アドレス帳登録（E メール）] を押す

- 登録したアドレスを消去する場合は［04 アドレス帳の消去］を押してください。

5 メールアドレス（60 文字まで）を入力し、[OK] を押す

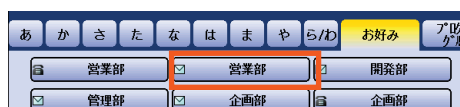
6 宛先名（20 文字まで）を入力し、[OK] を押す

（例：松下）

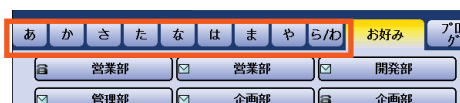
● 文字入力については、「文字入力のしかた」(p.32) を参照してください。

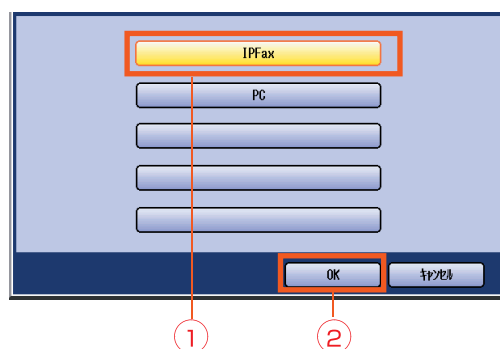
7 ボタン名（10 文字まで）を入力し、[OK] を押す

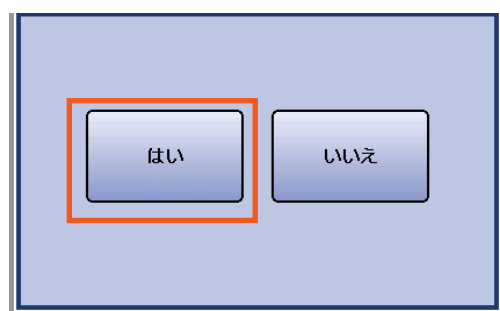
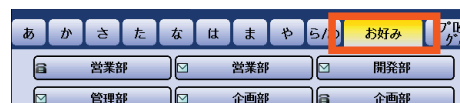
（例：松下）

● [ボタン名] は、アドレス帳のボタンに表示される名前です。メールアドレスが登録されている宛先名の前には ✉ マークが付きます。

8 検索文字（10 文字まで）を入力し、[OK] を押す

（例：マツシタ）

● 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（[あ] ～ [ら / わ] の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。

● 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

9 送信先がインターネット FAX の場合は [IPFax] を選択し、[OK] を押す

● 送信先がコンピューターの場合、または登録するメールアドレスをスキャン /E メール機能でも使う場合は、[PC] を選択します。

10 「お好み」に登録する場合は、[はい] を押す

● 「お好み」は、アドレス帳の初期状態で表示される画面です。
よく使う宛先はここに登録しておくと便利です。

11 送信時に A3→B4 縮小する場合は、[はい] を押す

12 相手機の受信能力（400dpi、600dpi、能力なし）を選択し、[OK] を押す

13 登録が終了したら、**<リセット>**を押す

ファクス インターネットFAX

いろいろなインターネットFAX機能

ここでは、本機で使うことのできる、便利なインターネットFAX機能のいくつかを簡単にご紹介します。
便利なインターネットFAX機能の詳しい内容と操作については、『取扱説明書（ファクス/インターネットFAX編）』をお読みください。

ファイルタイプ / ファイル名

添付ファイルのファイルタイプ（TIFF/PDF）とファイル名を設定できます。
- インターネットFAXに対して送信できるファイルタイプはTIFFだけです。

Eメール受信

自動的にメールサーバーから受信メールを取得する機能です。

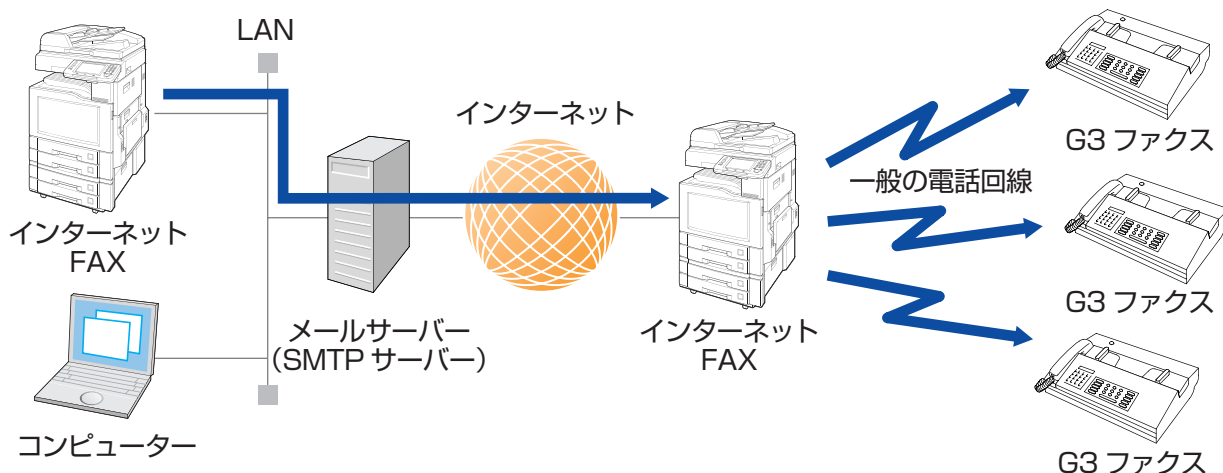
Eメール A3 送信

Eメールの添付ファイルにA3サイズを送信したいときに使う機能です。

送達確認要求

相手にEメールが届いたかどうかを確認する機能です。

LAN中継同報指示

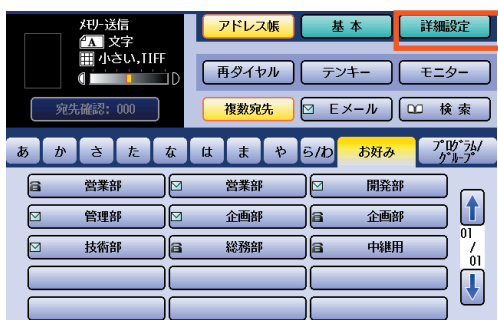
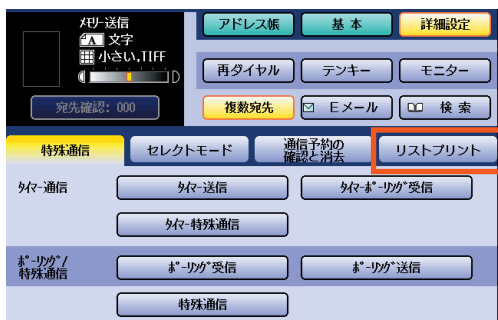
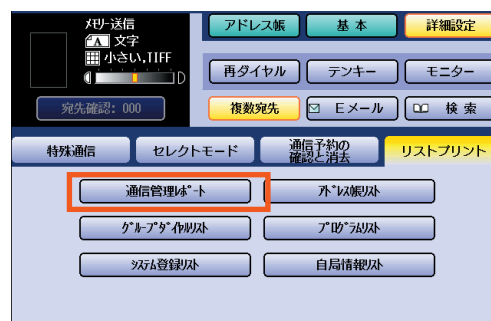
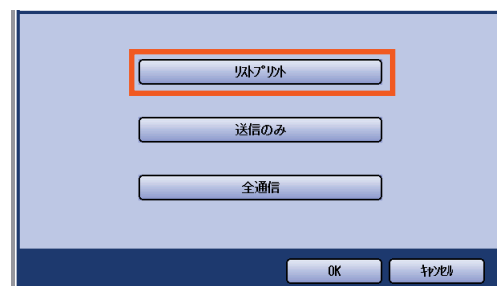
中継局（LAN中継機能をもつファクス）を介し、通信コストに配慮した経済的なファクスネットワークを構築する機能です。

通信管理レポートを印刷する

通信管理レポートは、最新の 200 通信分の通信結果（送信・受信）が記録されたレポートです。

・200 通信ごとに、自動的に印刷されます。
・［詳細設定］の［通信管理レポート］から、手動で通信管理レポートを印刷することもできます。

ここでは、通信管理レポートを手動で印刷する操作を説明します。

1 **<ファクス>**を押す

2 ［詳細設定］を押す

3 ［リストプリント］を押す

4 ［通信管理レポート］を押す

5 ［リストプリント］を押す

通信管理レポートが印刷されます。

● 操作が終了したら、**<リセット>**を押して、設定を解除してください。

スキャナー /E メールでできること

スキャナー /E メール機能（オプション）では、画質やファイル形式などを設定して原稿を読み取ることができます。
読み取ったデータは、ネットワークで接続されたコンピューターに送信したり、本体にセットした SD カード /PC カードまたは内蔵のハードディスクに保存できます。

お知らせ

- 本機能をご使用になるときは、次のオプション装置が必要です。
  - ・ネットワークスキャナー /E メールユニット（DA-NS320、または DA-NS321）
  - ・ハードディスクユニット（DA-HD32）
  - ・メインメモリー（DA-EMN56）
  - ・ページメモリー（DA-PMN56）
- DP-C262F、または DP-C322F タイプをお使いの場合は、ハードディスクユニットとメインメモリーは標準装備されています。

■ 送信 / 保存先の設定について

スキャンデータの送信 / 保存のしかたには、次の 4 つの方法があります。

● アドレス帳に表示されたコンピューターに送信する

アドレス帳に表示されているコンピューターにスキャンデータを送信できます。

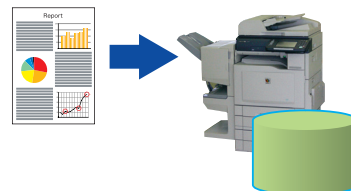
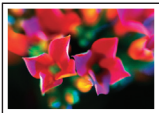
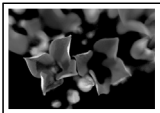
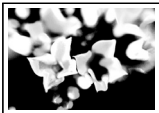
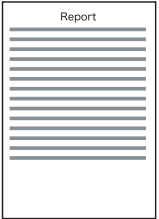
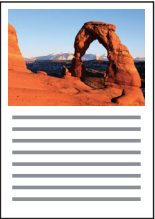
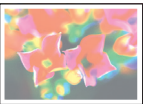
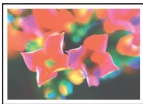
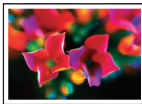
● SD カード /PC カードに保存する

本体のカードスロットにセットした SD カード /PC カードにスキャンデータを保存できます。

● E メールの添付ファイルとして送信する

添付ファイルとしてスキャンデータを送信できます。

● ハードディスクに保存する

本機のハードディスク内に保存されたスキャンデータは、後でコンピューターからダウンロードできます。

■ 読み取りの設定について

画質やファイルタイプなどを設定して、原稿を読み取ることができます。読み取りの設定の詳しい内容と操作については、『取扱説明書（スキャナー /E メール編）』の「3 章 読み取りの設定をする」を参照してください。

主な読み取りの設定

画質設定

カラーモード、原稿の種類、濃度などを設定できます。

カラーモード： フルカラー　グレースケール　白黒

お買い上げ時の設定：
フルカラー

原稿種類： 文字　文字 / 写真　写真

お買い上げ時の設定：
文字 / 写真

濃度： うすく（-3）　± 0　こく（+3）

お買い上げ時の設定：
± 0

解像度： 200dpi/300dpi/400dpi/600dpi

お買い上げ時の設定：
200dpi

ファイルタイプ / ファイル名

スキャンデータのファイルタイプ（JPEG/PDF/ 高圧縮 PDF/TIFF）とファイル名を設定できます。

お買い上げ時の設定：
JPEG

原稿サイズ

読み取る範囲を指定できます。

両面原稿

両面原稿を読み取ることができます。
原稿の上下を正しく読み取るために、原稿に応じてとじ位置を指定できます。

スキャンデータをコンピューターに送信する

ここでは、原稿を読み取って、アドレス帳に表示されているコンピューターにスキャンデータを送信する手順を説明します。

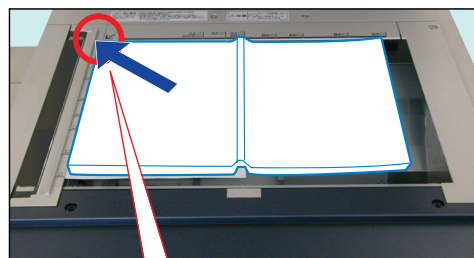
お知らせ

- 本機とネットワークで接続されたコンピューターで次の設定をすると、アドレス帳にコンピューター名が表示され、スキャンデータを送信できます。
  - ・Panasonic コミュニケーション ユーティリティでスキャナーの設定をする
  - ・Panasonic コミュニケーション ユーティリティを起動する

  （Panasonic コミュニケーション ユーティリティは、Windows を起動すると自動的に起動されます。）
- Panasonic コミュニケーション ユーティリティは、Panasonic Document Management System のインストール時に、同時にインストールされます。Panasonic Document Management System のインストールと Panasonic コミュニケーション ユーティリティの設定については、『取扱説明書（セットアップ編）』の「スキャナーの設定」を参照してください。

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「ADF を使う」（p.38）を参照してください。

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上に合わせます。

- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「原稿台ガラスを使う」（p.38）を参照してください。

2 <スキャナー /E メール>を押す

3 アドレス帳から送信先のコンピューターを選択する

- 複数の送信先を選択することはできません。
- アドレス帳は Panasonic コミュニケーション ユーティリティを設定すると自動的に表示されます。アドレス帳にない宛先へは送信できません。

4 必要に応じて、読み取りの設定をする

- 「読み取りの設定について」(p.73) を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、［原稿サイズ］を押してサイズを設定してください。

5 **<スタート>**を押す

スキャンデータがコンピューターへ送信されます。

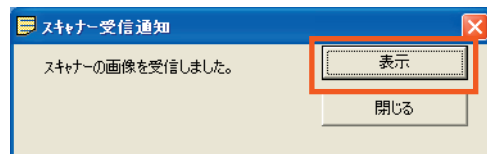
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。
- 送信を途中でやめるときは、**<ストップ>**または［ストップ］を押して、中止を確認する画面で［はい］を押してください。

■ コンピューターの操作

スキャンデータの送信が終了すると、コンピューターにスキャンデータを受信したことが通知されます。
Panasonic コミュニケーション ユーティリティのスキャナー受信通知の設定によって、受信したときの表示が異なります。

■ポップアップ表示のとき

スキャンデータを受信すると、受信を通知するメッセージ画面が表示されます。

1 ［表示］をクリックする

設定しているアプリケーションが起動し、スキャンデータが表示されます。

■アイコン表示のとき

スキャンデータを受信すると、受信を通知するアイコンが表示されます。

1 アイコンをクリックする

「ポップアップ表示のとき」の手順１の画面が表示されます。

2 ［表示］をクリックする

設定しているアプリケーションが起動し、スキャンデータが表示されます。

■受信通知なしのとき

スキャンデータを受信すると、設定しているアプリケーションが起動し、スキャンデータが表示されます。

スキャンデータを E メールで送信する

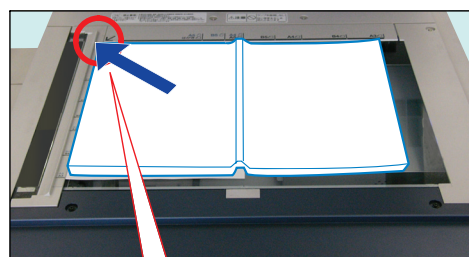
ここでは、スキャンデータを E メールの添付ファイルとしてコンピューターに送信する手順を説明します。

お願い

- スキャンデータのサイズがご利用のネットワーク環境の制限を超える場合は、メール送信できないことがあります。データサイズの制限については、事前にシステム管理者へご相談ください。
- 送信できるファイル形式については、『取扱説明書（スキャナー /E メール編）』の「2 章　送信先 / 保存先を設定する」「E メールで送信する」を参照してください。
- アドレス帳に E メールアドレスを登録する方法には、ここで説明している方法のほかに、ファンクション設定モードから登録する方法があります。ファンクション設定モードから登録すると、お好みに登録したり、登録したアドレスを削除したりすることができます。詳しくは、『取扱説明書（スキャナー /E メール編）』の「4 章 アドレス帳を編集する」を参照してください。

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「ADF を使う」（p.38）を参照してください。

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上に合わせます。

- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「原稿台ガラスを使う」（p.38）を参照してください。

2 <スキャナー /E メール>を押す

3 ［E メール］を押す

4 次のどちらかの手順で送信先を設定する

■ E メールアドレスを直接入力するとき

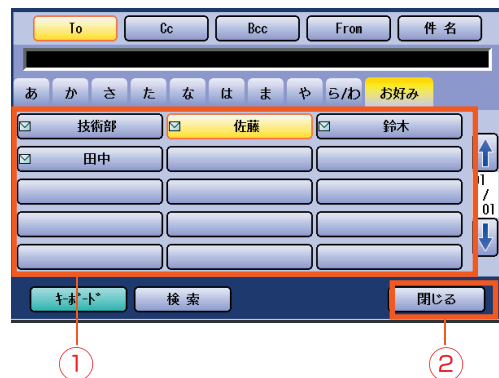
①［キーボード］を押す

②E メールアドレスを入力し、［OK］を押す

- ［アドレス帳へ追加］を押すと、入力したE メールアドレスをアドレス帳に登録できます。

③ ①の画面で［閉じる］を押す

■アドレス帳を使うとき

①アドレス帳から送信先を選択し、［閉じる］を押す

5 必要に応じて、読み取りの設定をする

- 「読み取りの設定について」(p.73) を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、［原稿サイズ］を押してサイズを設定してください。

6 <スタート>を押す

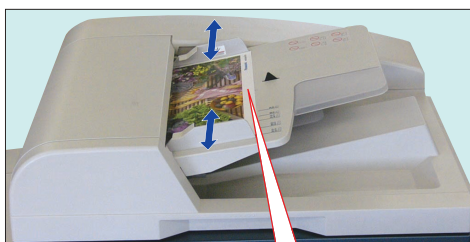
スキャンデータがE メールの添付ファイルとして、設定したE メールアドレスに送信されます。

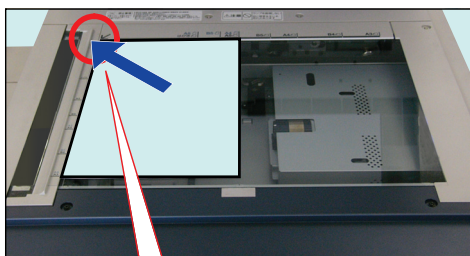
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。
- 送信を途中でやめるときは、**<ストップ>**または［ストップ］を押して、中止を確認する画面で［はい］を押してください。

スキャンデータを SD カード /PC カードに保存する

ここでは、原稿を読み取って、本機のカードスロットにセットした SD カードや PC カードアダプター内のメモリーカードに、スキャンデータを保存する手順を説明します。

- SD ロゴは商標です。SD ロゴマーク入りの純正の SD カード (最大 1GB) だけを使用できます。
- 使用できる PC カードアダプターは、Type Ⅱ、動作電圧 3.3V 対応のものです。5V タイプ、Card Bus 及び HDD タイプは使用できません。
- PC カードアダプターで使用できるメモリーカードについては、PC カードアダプターの説明書を参照してください。

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「ADF を使う」（p.38）を参照してください。

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上に合わせます。

- 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「原稿台ガラスを使う」（p.38）を参照してください。

2 SD カード /PC カードアダプターをセットする

- 「SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた」（p.30）を参照してください。

3 **<スキャナー /E メール>**を押す

4 ［SD カード / ハードドライブ］を押して、［SD カード］または［PC カード］を押す

5 必要に応じて、[基本] 画面で読み取りの設定をする

- 「読み取りの設定について」(p.73) を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、［原稿サイズ］を押してサイズを設定してください。

6 **<スタート>**を押す

SD カード /PC カードアダプター内のメモリーカードに次のフォルダーが作成され、スキャンデータが JPEG 形式で保存されます。読み取ったデータをコンピューターなどで使用するときは、正しいフォルダーを指定してください。

保存先：¥PRIVATE¥MEIGROUP¥PCC¥DI¥IMAGE

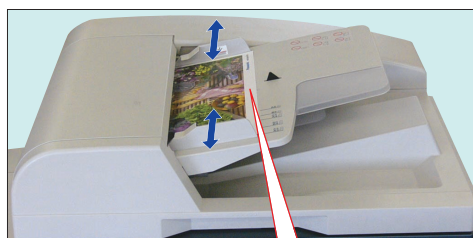
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。
- 送信を途中でやめるときは、**<ストップ>**または［ストップ］を押して、中止を確認する画面で［はい］を押してください。

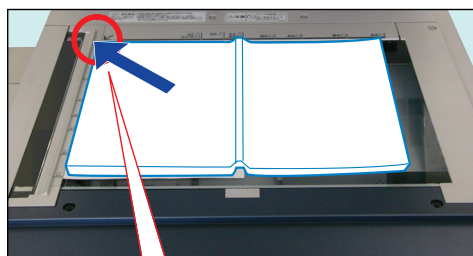
7 スキャンデータの保存が終了したら、SD カード /PC カードアダプターを取り出す

- 「SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた」(p.30) を参照してください。

スキャンデータをハードディスクに保存する

ここでは、本機のハードディスクにスキャンデータを保存する手順を説明します。

1 原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

● 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「ADF を使う」（p.38）を参照してください。

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上に合わせます。

● 「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」の「原稿台ガラスを使う」（p.38）を参照してください。

2 <スキャナー /E メール>を押す

3 [SD カード / ハードドライブ] を押して、保存先のイメージボックスを選択する

● ハードディスクには、あらかじめ 12 のイメージボックスが設定されています。イメージボックス名を変更する操作については、『取扱説明書（スキャナー /E メール編）』の「4 章 アドレス帳を編集する」を参照してください。

4 必要に応じて、[基本] 画面で読み取りの設定をする

● 「読み取りの設定について」（p.73）を参照してください。

● 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、[原稿サイズ] を押してサイズを設定してください。

5 <スタート>を押す

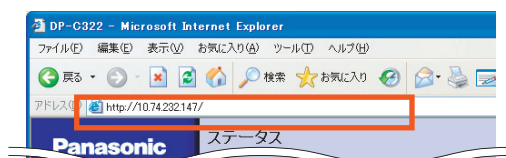
ハードディスクにスキャンデータが保存されます。

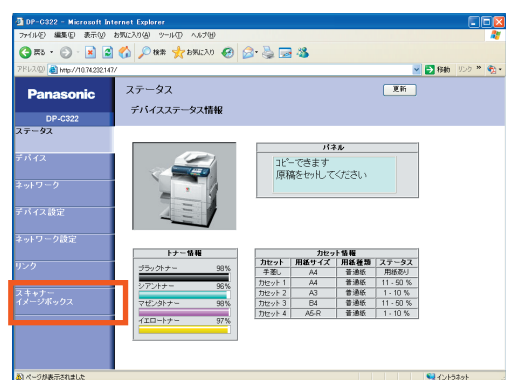
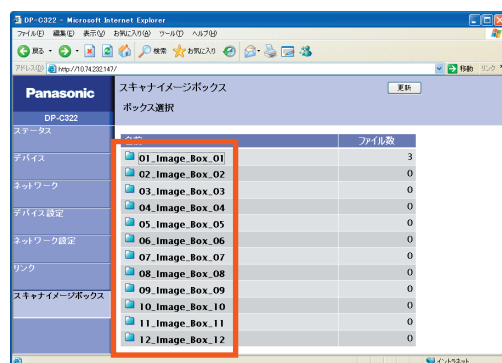
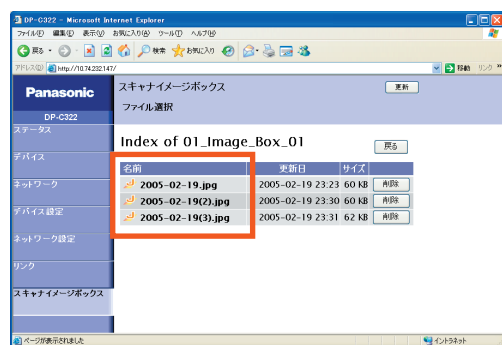
● 保存を途中でやめるときは、**<ストップ>**または［ストップ］を押して、中止を確認する画面で［はい］を押してください。

■コンピューターからスキャンデータをダウンロードする

ここでは、Web ブラウザーに Microsoft Internet Explorer を使う場合を例に説明します。

1 Web ブラウザーを起動し、本機の IP アドレスを入力する

例：http://10.74.232.147

本機の状態が表示されます。

2 ［スキャナーイメージボックス］をクリックする

3 スキャンデータが保存されているイメージボックス名をクリックする

4 ダウンロードするスキャンデータ名を右クリックし、[対象をファイルに保存] を選択する

ファイルを保存するための保存先選択画面が表示されます。

5 保存先を選択して、[保存］をクリックする

選択したスキャンデータがコンピューターにダウンロードされます。

● [削除] をクリックすると、スキャンデータを削除できます。

トラブルの処置

本機にトラブルが発生した場合は、次の説明に従って処置をしてください。処置をしても状態が変わらない場合は、サービス実施会社にご連絡ください。

●本機にトラブルが発生すると、タッチパネルディスプレイにエラーコードやメッセージが表示されます。

機械が動作しない

チェック項目	処置
タッチパネルディスプレイは点灯していますか？	●電源スイッチ（背面の電源スイッチ、および左側にあるスタンバイスイッチ）が入っていることを確認してください。 ●電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
節電状態やスリープ状態になっていませんか？	操作パネルの**<節電>**を押してください。
エラーコード（U##）やメッセージが表示されていませんか？ (U1、U4、U6、U7、U11・・・・など)	「U コード /J コード /E コードが表示されたとき」(p.84) を参照して処置をしてください。
ステープル関連のマークやメッセージが表示されていませんか？	『取扱説明書（メンテナンス編）』の「ステープルの交換 (FQ-SS32)」または「ステープルの交換 (DQ-SS35)」を参照してステープルを補給してください。
用紙補給のマークやメッセージが表示されていませんか？（）	「用紙の補給」(p.88)を参照して用紙を補給してください。
用紙づまりのマークやエラーコード（J##）が表示されていませんか ？	『取扱説明書（メンテナンス編）』の「用紙づまりの処置」を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
エラーコード（E##）が表示されていませんか？	左側にあるスタンバイスイッチを、オフ / オンします。 オフ / オンしてもエラーコード(E##)が表示される場合は、エラーコードの番号をメモし、電源スイッチ（背面の電源スイッチ、および左側にあるスタンバイスイッチ）を切った後、電源プラグを抜き、サービス実施会社にご連絡ください。
排紙トレイに関するエラーメッセージが表示されていませんか？	排紙トレイの用紙を取り除いてください。 ●少ない枚数で表示される場合、給紙カセットの用紙を裏返してセットすると、カールが低減し排紙枚数が増える場合があります。
次の操作を受け付けない状態ですか？	左側にあるスタンバイスイッチを、オフ / オンします。 オフ / オンしても同じ状態が続く場合は、エラーコードなどをメモし、電源スイッチ（背面の電源スイッチ、および左側にあるスタンバイスイッチ）を切った後、電源プラグを抜き、サービス実施会社にご連絡ください。

コピー / プリントが薄い

チェック項目	処置
コピーの [画質設定] で [濃度] が [うすく] に設定されていませんか？	[こく] を押して、読み取り濃度を濃くしてください。
濃い原稿を大量にコピーしましたか？	**<ファンクション>**を押し、[共通機能設定] ＞ [02 トナー手動補給] で [ON] を押してトナーを補給してください。
トナー補給のマークやメッセージが表示されていませんか？（）	『取扱説明書（メンテナンス編）』の「トナーカートリッジの交換」を参照してトナーを補給してください。

コピーが汚れている

チェック項目	処置
コピーにスジが入っていませんか？	(1)『取扱説明書（メンテナンス編）』の「廃トナー容器の交換 /LSU レンズガラスの清掃」を参照して、LSU レンズガラスを清掃してください。 (2)「本機の清掃」(p.83) を参照して、白基準シートと読み取りガラスを清掃してください。
白基準シート、原稿台カバー、読み取りガラス、または原稿台ガラスが汚れていませんか？	「本機の清掃」(p.83) を参照して、白基準シート、原稿台カバー、読み取りガラス、または原稿台ガラスを清掃してください。
OHP シートや第 2 原図用紙などのように、透明度の高い原稿をコピーしていませんか？	原稿に白い紙を載せてコピーするか、または［画質設定］を［うすく］に設定してください。

■ 本機の状態表示

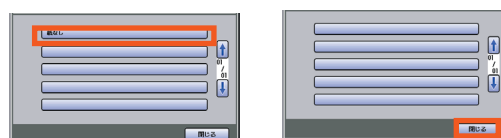
本機に何らかの異常が発生している場合は、タッチパネルディスプレイ右上の［状況確認］の色が黄色に変わります。［状況確認］を押すと、詳細を表示できます。

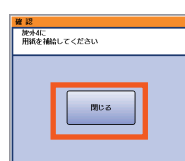
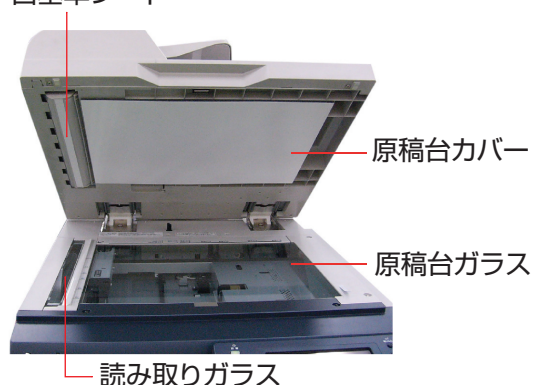
1 黄色く表示されている［状況確認］を押す

（例：コピー機能の画面）

2 詳細を確認したら、［閉じる］を押す

（例：紙なし）

①［紙なし］を押す

②給紙カセットを確認して用紙を補給し、［閉じる］を押す

③［閉じる］を押す

■ 本機の清掃

1 週間に 1 度程度、次の手順で白基準シート、原稿台カバー、読み取りガラス、原稿台ガラスを清掃してください。

①うすめた台所用中性洗剤を含ませ、固くしぼった布で、汚れを落とす

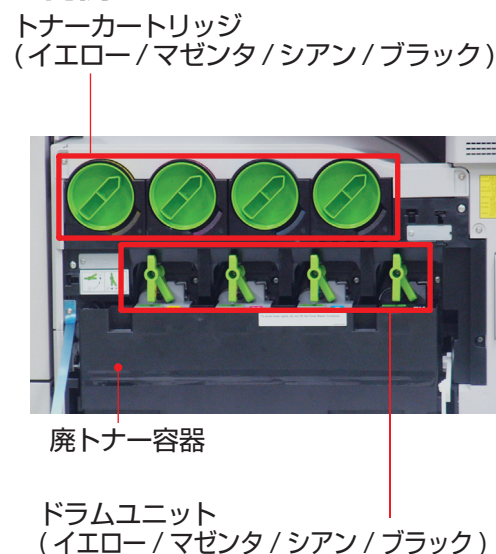
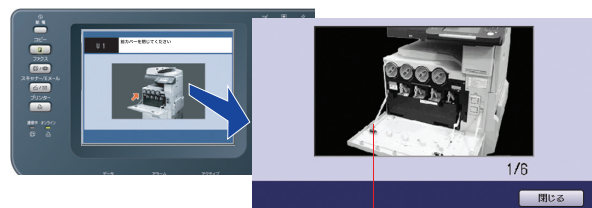
②乾いた布で拭きとる

困ったときには

Uコード/Jコード/Eコードが表示されたとき

■Uコード

●外側

●内側

Uコード、エラー位置（目安）

エラー位置表示

● Uコードエラーが発生すると、タッチパネルディスプレイ上にエラーの処置手順が写真で表示されます。ディスプレイ表示と取扱説明書上の手順に従って正しく処置してください。

例：廃トナー容器が間もなく一杯になります。

● 本機は一時停止します。[閉じる]を押して動作を再開し、新しい廃トナー容器を準備してください。

例：廃トナー容器が一杯です。

● 本機は停止します。廃トナー容器を交換してください。

エラーコード	説明
U1	前カバーが開いています。
U4	フィニッシャーが引き出されています。
U6	両面部カバー、給紙カバー１、または右カバーのいずれかが開いています。
U7	給紙カバー２、または給紙カバー３が開いています。
U8	搬送ユニットのカバーが開いています。 ＊フィニッシャー（オプション）が装着されている場合
U11	フィニッシャーのビンに用紙が残っています。 ＊フィニッシャー（オプション）が装着されている場合
U12	フィニッシャー上カバー、またはステープルカバーが開いています。 ＊フィニッシャー（オプション）が装着されている場合
U13	トナーが少ないか、なくなっています。 サービス実施会社にご連絡ください。

エラーコード	説明
U14	点滅：廃トナー容器の交換時期が近づいています。本機は一時停止しますが、いずれかのキーを押すと、動作を再開します。早めに処置をしてください。（マーク点滅後、約３００枚のコピーが可能です） 点灯：廃トナー容器が一杯です。本機は停止しますので、交換してください。
U15	廃トナー容器が装着されていません。
U20	ADF カバーが開いています。
U21	ADF で読み取り中に ADF が開けられました。
U25	トナーが固まっています。トナーカートリッジを取り出し、よく振ってください。
U28	サービス実施会社にご連絡ください。

● エラーが解除されないときは、サービス実施会社にご連絡ください。

■Jコード/Eコード

● Eコードが表示された場合は、サービス実施会社にご連絡ください。

お願い

● 用紙づまりしている場所がタッチパネルディスプレイに表示されます。つまっている用紙を取り除いたあと、この表示が消えていることを確認してください。用紙を取り除いても、また別の場所が表示される場合は、その用紙を取り除き、表示が消えていることを確認してください。

● 次のような場合は、無理に用紙を取り除かず、本機の電源を切ってサービス実施会社にご連絡ください。
- ・用紙を取り除けない
- ・見えない場所で用紙づまりが起きている

用紙づまり位置（目安）

用紙づまり位置表示

● Jコードエラー（用紙づまり）が発生すると、タッチパネルディスプレイ上にエラーの処置手順がコマ送りの写真で表示されます。ディスプレイ表示と取扱説明書上の手順に従って正しく処置してください。

エラーコード	用紙づまりの位置（目安）
J00	手差しトレイ（用紙を引き抜き、給紙カバー1を一度開き、閉じる）
J01, J11, J21	給紙カセット1、給紙部（給紙カセット1〜4、手差しトレイ）
J02, J12, J22	給紙カセット2、給紙部（給紙カセット2）
J03, J13, J23	給紙カセット3、給紙部（給紙カセット3、4）
J04, J14, J24	給紙カセット4、給紙部（給紙カセット3、4）
J06, J26	給紙部（給紙カセット2）
J07, J08, J09, J27, J28	給紙部（給紙カセット2〜4）
J18, J33, J35	給紙部（給紙カセット1〜4、手差しトレイ）

エラーコード	用紙づまりの位置（目安）
J19	自動両面部、給紙部
J82, J83, J88	自動両面部、定着部/排出部
J30, J31, J38-J40, J42-J45	定着部/排出部、給紙部
J41, J50, J51, J52, J86	定着部/排出部、搬送部（オプション）
J80, J81 J87	定着部/排出部
J54-J56	搬送部（オプション）
J60-J66	フィニッシャー部（オプション）
J70-J79, J92-J94	ADF（自動原稿送り装置）部

●詳しくは、『取扱説明書（メンテナンス編）』の「用紙づまりの処置」を参照してください。

用紙について

■ 用紙についてのお願い

良好なコピー / プリントをおとりいただくため、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。一般に市販されている用紙を使用されるときは、下記の仕様に合った用紙をご使用ください。（詳細は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。）

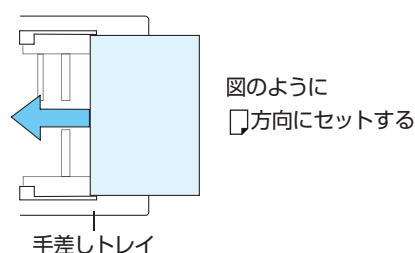
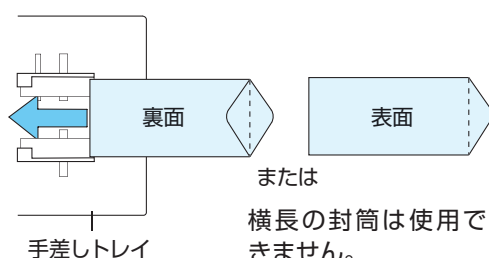
種類	用紙厚	給紙カセット 1 ～ 4	手差しトレイ	両面コピー / プリント
薄紙	55 ～ 63 g/m^2	不可	可	不可
普通紙	64 ～ 105 g/m^2	可	可	可
上質紙	64 ～ 105 g/m^2	可	可	可
再生紙	64 ～ 105 g/m^2	可	可	可
厚紙 1	106 ～ 169 g/m^2	不可	可	不可
コート紙 1	106 ～ 169 g/m^2	不可	可	不可
厚紙 2	170 ～ 220 g/m^2	不可	可	不可
コート紙 2	170 ～ 220 g/m^2	不可	可	不可
特殊紙 *	――	不可	可	不可

* 特殊紙　ラベル紙：FQ-PLA4、封筒：長形 3 号（Ncolor 封筒など）、OHP：CG3700 3M (4mil) (125 μ m)
美濃判：267 mm x 388 mm・半紙判：225 mm x 303 mm（壽紙製品工業株式会社製）
はがき：官製はがき 100 mm x 148 mm（インクジェット用は除く）

● 特殊紙の給紙方向

印刷したい面を下にする（官製はがきは、切手マークを先にしてセットしてください）

・封筒
（推薦紙以外を使うと、しわになることがあります）

・OHP フィルム / ラベル紙

● 使用できない用紙

下記の用紙は、画質不良や故障、紙づまりの原因になりますので、使用しないでください。

- 感圧紙（PanaFax チェックシート）A4
- ステープル針がついている用紙
- 本機以外でコピー / プリントされた用紙
- 表紙のざらついている用紙
- 白い枠付きの OHP フィルム
- コート紙（106g/m^2 未満の用紙）
- インクジェット専用紙
- FX ST 紙（52.3g/m^2）
- 厚紙（220g/m^2 を超える用紙）
- 薄紙（55g/m^2 未満の用紙）
- のり付け部がべたついている封筒
- 湿っている封筒 / 用紙
- のり付きの用紙
- カールした用紙
- 布地転写用紙
- 水転写用紙
- 熱転写用紙
- タックフィルム
- 折り目やしわのある用紙
- 写真用紙
- 第二原図
- 耐水紙
- 感熱紙

● 用紙の排紙制限

下記のように、用紙によって排紙できるトレイに制限があります。

種類	インナートレイ	アウタートレイ	1 ビンフィニッシャー	1 ビンサドルフィニッシャー
厚紙 2	可	可	不可	可（ノンソート時）
コート紙 2	可	可	不可	可（ノンソート時）
ラベル紙	可	可	不可	可（ノンソート時）
封筒	可	不可	不可	不可
OHP	可	可	可（ノンソート時）	可（ノンソート時）
のし紙	可	可	可（ノンソート時）	可（ノンソート時）
はがき	可	不可	不可	不可

アフターサービスについて

■ 本機ではいつも良好な状態でお使いいただくために、ＰＣＳ契約もしくはスポット保守契約のいずれかを結んでいただきます。

●パナソニックカウンターシステム（ＰＣＳ）

良好なコピーがとれるよう定期的に点検および部品交換をいたします。万一の故障にも迅速に対応いたします。又通常使用状態の故障は無償で修理いたします。（感光体・現像剤・部品の交換・調整に必要な費用はＰＣＳ料金に含まれています。）

●スポット保守サービスについて

保守サービスと感光体・現像剤および消耗品等の供給はお客様の要請に基づき、つど有料でお引き受けするものです。
（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

- 本機の保守契約期間は、ご使用開始日より５年間、または、コピー枚数が６０万枚のいずれか早く到来する日までです。
- 本機の補修用性能部品の保有期間は、本機製造終了後７年間です。

■ 用紙

良好なコピー／プリントをおとりいただくため、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

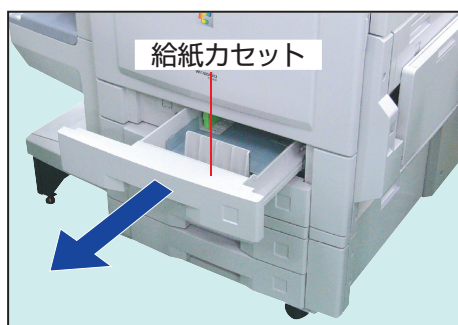
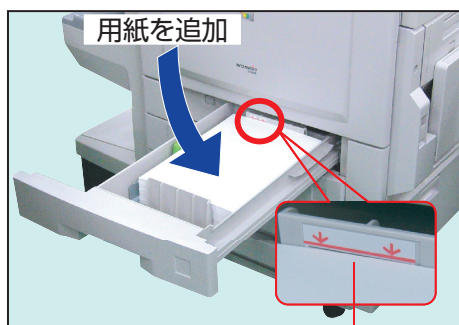
用紙の補給

■給紙カセット（1 ～ 4）

給紙カセット（1 ～ 4）に用紙をセットする手順を説明します。

お願い

● 給紙カセットの用紙サイズを変更したい場合は、サービス実施会社へお問い合わせください。

1 給紙カセットを引き出す

2 印刷面を上にして、用紙をセットする

● 上限位置表示を超えないようにセットしてください。

セットできる用紙枚数	550 枚まで（$64g/m^2$）
用紙質量	64 ～ $105g/m^2$

3 給紙カセットを閉じる

■手差しトレイ

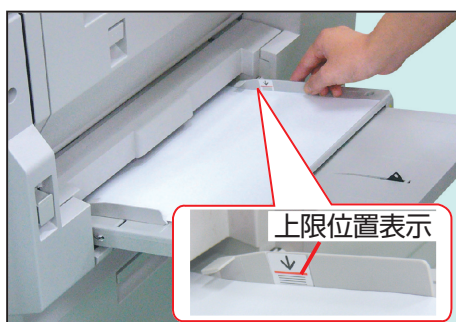
手差しトレイは、給紙カセットに用紙がセットされていないときや、ラベル紙、OHP フィルム、光沢紙などをセットするときに使います。

お願い

● 手差しトレイにセットできる用紙は次のとおりです。

セットできる用紙枚数	50 枚まで（$64g/m^2$） 20 枚まで（A3 サイズ）
用紙質量	55 ～ 220 g/m^2
用紙サイズ	A5 ～ A3
用紙の種類（p.86）	普通紙、上質紙、再生紙、薄紙、厚紙、ラベル紙、コート紙、OHP、はがき、のし紙、裏紙など

1 手差しトレイを手前に開き（図①）、先端を止まるところまで引き出す（図②）

2 印刷面を下にして用紙を置き、止まるところまで差し込む

- 上限位置表示を超えないようにセットしてください。
- はがき（官製はがき）は、切手マークを先にしてセットしてください。

3 用紙に用紙ガイドを合わせる

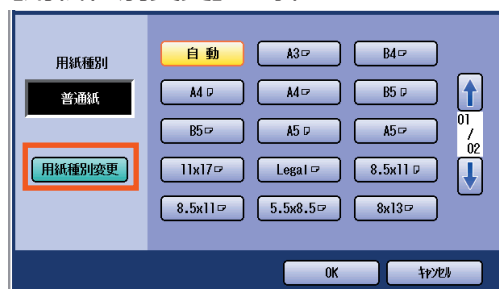
- 用紙が正しくセットされていないと、カールや用紙づまりの原因となります。
- 用紙サイズが正しく検知されない場合は、いったん用紙を取り出して**<リセット>**を押して再度、用紙をセットします。

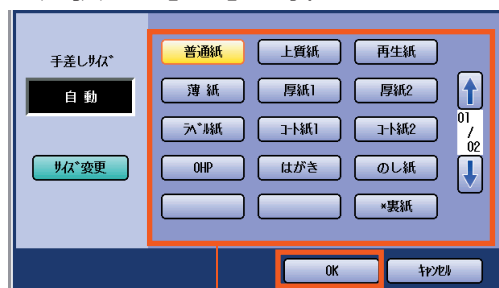
普通紙以外の用紙をセットした場合は、続けて手順4～8の操作をしてください。

4 コピー画面が表示されていない場合は、**<コピー>**を押す

5 ［給紙口 / 排紙口］を押す

6 ［変更］を押す

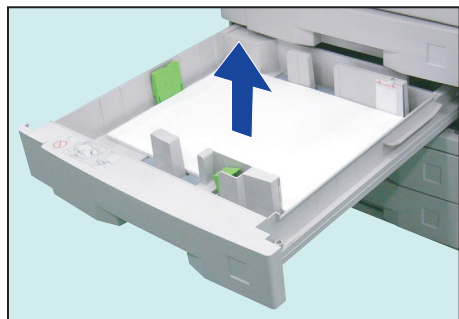
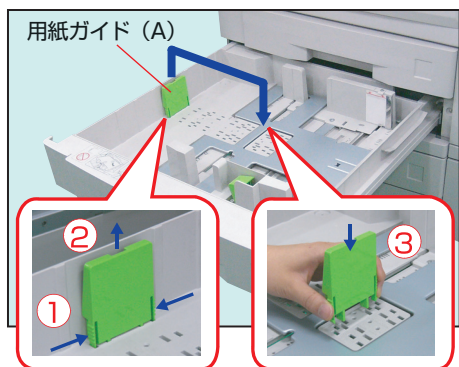
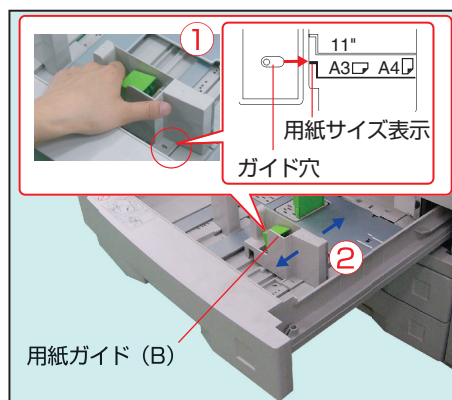
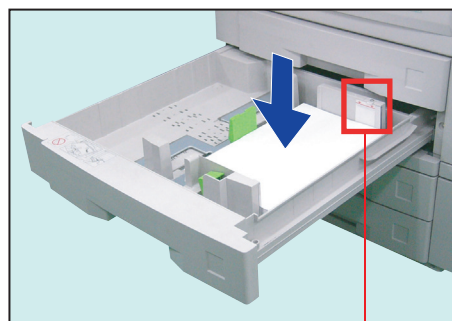
7 ［用紙種別変更］を押す

- ［自動］を選択すると、規定の用紙サイズ（A3、B4、A4、B5、A5）が 自動検知されます。自動検知を利用する場合は、プリント指示を出す前に、規定サイズの用紙をセットしてください。
- A5 を自動検知させたいときは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』を参照し、［共通機能設定］＞［09 キーオペレーター専用］＞［02 手差し A4R/A5 デフォルト選択］を［A5］に設定してください。ただし、その場合は A4 が検知できなくなります。

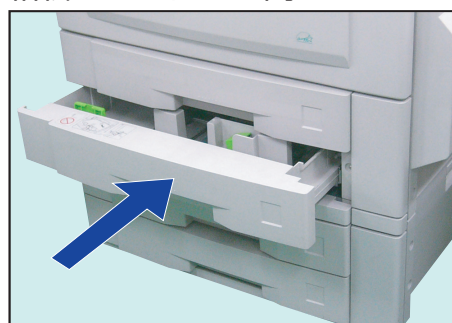
8 手順 2、3 でセットした用紙の種類を選択し、［OK］を押す

- 設定した用紙でコピー / プリントなどを行った後は、**<リセット>**を押して設定を解除してください。

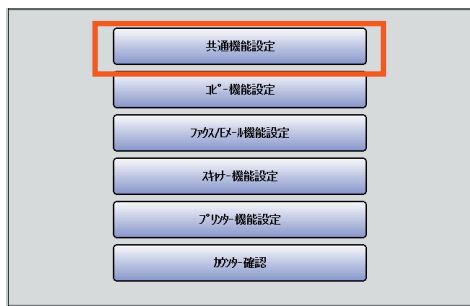
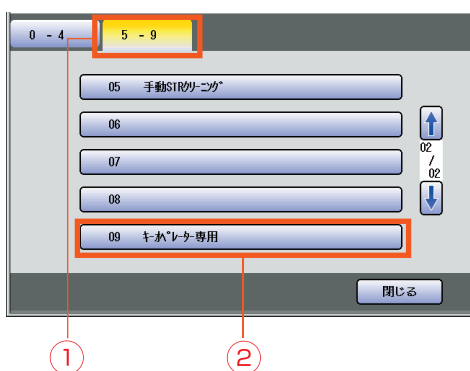
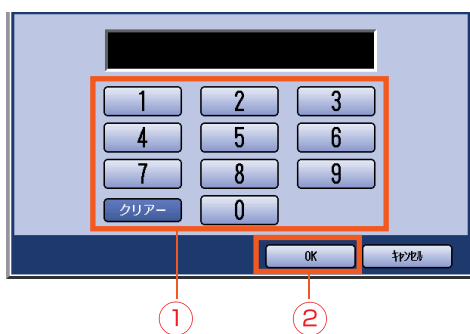
給紙カセット２の用紙サイズの初期値(お買い上げ時の設定）は、A3 です。用紙サイズを変更したいときは、次の手順で操作してください。

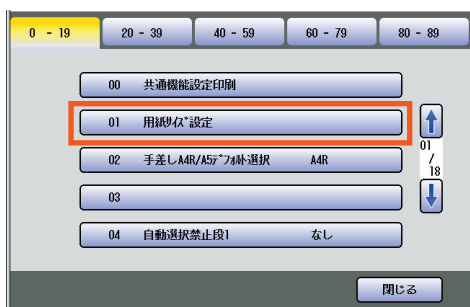
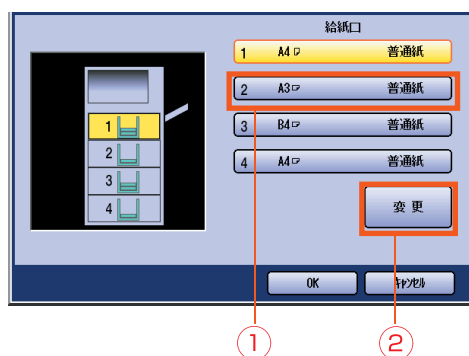
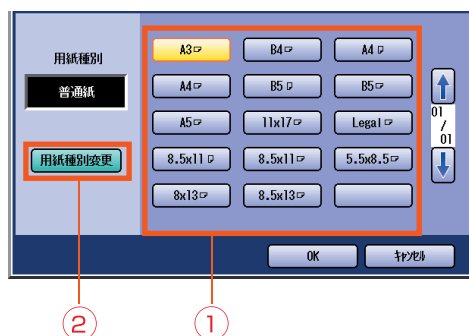
- A4 または B5 サイズに設定するときは、縦方向（▯）にされることをお勧めします。
  横方向（▭）より、印刷時間を短縮できます。また､横向きにコピーするときも自動で90度回転し、コピーされます。

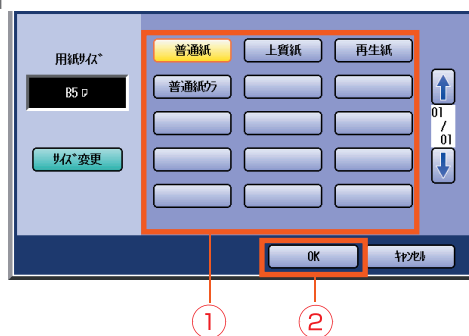
1 給紙カセット２を引き出す

2 用紙を取り出す

3 用紙ガイド（A）を変更し、用紙の長さにあわせる

4 解除つまみ（緑色）をつまみ、用紙ガイド（B）を用紙の幅に合わせる

5 変更したサイズの用紙をセットする

上限位置表示（ー）まで、
550 枚（64g/m²）

6 給紙カセット２を閉じる

7 <ファンクション>を押す

8 ［共通機能設定］を押す

9 ［5-9］を押し、［09 キーオペレーター専用］を押す

10 キーオペレーターのパスワード（4桁）を入力し、［OK］を押す

● キーオペレーターのパスワードについては、部門の管理者にお問い合わせください。

11 ［01 用紙サイズ設定］を押す

12 ［給紙カセット 2］、［変更］の順に押す

13 用紙サイズを選択し、［用紙種別変更］を押す

● A4、B5 サイズは、縦方向（▯）にセットされることをお勧めします。

14 用紙種別を選択し、［OK］を押す

15 ［OK］を押した後に、**<リセット>** を押す

● ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

主な仕様

■ 本体

項目	仕様
形式	コンソール型
原稿台方式	固定
複写原稿	シート・ブック（最大 A3）
複写方式	レーザー電子写真方式
定着方式	IH 定着方式　（IH：Induction Heating）
現像方式	乾式 2 成分現像方式
解像度	600dpi
操作表示方式	液晶ディスプレイ
複写サイズ / 用紙サイズ	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭、A5▯、A5▭、はがき （はがきは手差しトレイ） 画像欠け幅：先端 3 ～ 5mm、後端 2 ～ 6mm、手前 / 奥 4mm 以内
ウォームアップタイム （室温 20℃の場合）	約 15 秒 (オプションのフィニッシャー、ファクス、インターネット FAX、ハードディスク、またはメインメモリー装着時はウォームアップタイムが長くなります）
ファーストコピータイム （A4 サイズで、給紙カセット 1 の用紙にコピーした場合）	カラー　：約 12.0 秒以内 モノクロ：約 7.3 秒以内 (DP-C262/DP-C262F) 約 6.2 秒以内 (DP-C322/DP-C322F)
連続複写速度 （A4 サイズで、給紙カセット 1 の用紙にコピーした場合）	カラー　：21 枚 / 分 モノクロ：26 枚 / 分 (DP-C262/DP-C262F) 32 枚 / 分 (DP-C322/DP-C322F)
複写倍率	等倍　：100% プリセット拡大：115%、122%、141%、163%、173%、200% プリセット縮小：50%、58%、61%、71%、82%、87% ズーム　：25 ～ 400%（1% きざみ）
給紙方式	給紙カセット　：550 枚 (64g/m^2) × 4 段 手差しトレイ　：50 枚 (64g/m^2)
用紙厚	給紙カセット　：64 ～ 105g/m^2 手差しトレイ　：55 ～ 220g/m^2 両面印刷時　：64 ～ 105g/m^2
連続複写枚数	最大 999 枚
排紙トレイ　排紙枚数	オプション未装着時：250 枚 /A4 フィニッシャーまたは搬送ユニット装着時：150 枚 /A4 許容枚数は用紙種別によって異なります。排紙トレイの用紙が許容枚数を超えると、機械が停止し、エラーメッセージが表示されます。
SD カードスロット	SD メモリーカード（最大 1GB）対応※
PC カードスロット	PC カードアダプター（PCMCIA Type II 16bit バス PC カードアダプター　動作電圧 3.3V）対応※
電源	AC 100V、50Hz/60Hz
消費電力	最大 1.5 kW 節電モード時　：約 65 W(DP-C262/C322)、約 75 W（DP-C262F/C322F) スリープモード時　：約 25 W(DP-C262/C322)、約 35 W（DP-C262F/C322F)
寸法（幅×奥行き×高さ）	656 mm x 826 mm x 1187 mm
質量	スキャナー部：39 kg ／エンジン部：125 kg / 給紙カセット部：28kg

● 製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

※ パソコンでフォーマットすると、使用できないことがあります。
　カードの対応フォーマット：FAT12、FAT16

■ 自動原稿送り装置（ADF）

原稿セット枚数	70 枚（80g/m²）
原稿サイズ	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭、A5▯、A5▭
原稿紙厚	片面時：50 〜 105g/m² 両面時：64 〜 105g/m²
電源	本体より供給

■ プリンター

印刷速度 （A4 普通紙を給紙カセット 1 から印刷した場合）	カラー　：21 枚 / 分 モノクロ：26 枚 / 分（DP-C262/DP-C262F） 32 枚 / 分（DP-C322/DP-C322F）
解像度（dpi）	600 × 600 dpi、1200 × 1200 dpi※ ※オプションのメインメモリーおよびページメモリーが必要です。
インターフェース	USB 2.0、Ethernet（10Base-T、100Base-TX）
対応 OS	Windows 98*1、Me*2、NT 4.0*3（サービスパック 3 以降）、2000*4、XP*5、Server 2003*6

■ ネットワークスキャナー（オプション）

読み取り方式	CCD イメージセンサーによる平面走査
解像度（dpi）	最大 600 × 600dpi
最大読み取り領域	A3 (297 mm x 210 mm)
両面読み取り	あり
読み取りモード	文字、文字 / 写真、写真
読み取り階調	256 階調
圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG、JPEG
ファイル形式	TIFF、JPEG、PDF、高圧縮 PDF
コンピューターへの送信	あり
FTP 転送	あり
SD カード /PC カード保存	あり
E メール送信	あり
ポップアップダイアログ表示	あり
プロトコル	LPR、TCP/IP、FTP、HTTP
対応 OS	Windows 98*1、Me*2、NT 4.0*3（サービスパック 3 以降）、2000*4、XP*5、Server2003*6

● 製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

*1 Microsoft® Windows® 98 operating system
*2 Microsoft® Windows® Millenium Edition operating system
*3 Microsoft® Windows NT® operating system version 4.0
*4 Microsoft® Windows® 2000 operating system
*5 Microsoft® Windows® XP operating system
*6 Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system

■ ファクシミリ

適合回線	G3 通信時：電話回線 (ITU-T Group3)、ファクシミリ通信網（F網第2種接続サービス）、国際ファクシミリサービス（Fポート） G4 通信時：ISDN 回線 (ITU-T Group4)
帯域圧縮方式	G３通信時：JBIG、MMR、MR、MH G４通信時：MMR、JBIG
モデム形式	ITU-T V.34、V.17、V.29、V.27 ter and V.21
通信速度	G3 通信時：2400 ～ 33600 bps G4 通信時：64000 bps、56000 bps
原稿サイズ	A5 ～ A3 最大　：原稿台ガラス：A3 　　　　ADF　　　　：A3 最小　：原稿台ガラス：制限なし 　　　　ADF　　　　：A5
読み取り方式	CCD イメージセンサーによる平面走査
有効読み取り幅	292mm
走査線密度	主走査 16 dot/mm、8 dot/mm　600 dpi 副走査 15.4、7.7、3.85 本 /mm　600 dpi
アドレス帳メモリー容量	200 宛先 ● オプションのハードディスク（DA-HD32) を装着している場合は800 宛先を追加できます。
イメージメモリー容量	3MB（お買い上げ時）：約 180 ページ 64MB ～ 1GB 増設時：約 2300 ～約 6900 ページ (SD メモリーカード) ● イメージメモリー用のＳＤメモリーカードを増設する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。 ● 保存できる枚数は、A4 標準原稿 (A4 サイズ 700 文字程度の原稿) を、解像度［ふつう］で読み取ったときの枚数です。原稿によって、枚数は異なります。 ● タイマー送信などの通信予約でメモリーを使用している場合は、メモリーに保存できる枚数が少なくなります。

■ E メール / インターネット FAX（オプション）

インターフェイス	10Base-T Ethernet (IEEE 802.3)、100Base-TX Fast Ethernet (IEEE802.3u)
適合回線	10Base-T/100Base-TX port: RJ-45
適合規格	IETF RFC3965、ITU-T T.37
通信プロトコル	TCP/IP、SMTP、POP3、MIME
データ形式	TIFF [IETF RFC 3949 Profile S、F、J] PDF (E メール送信時のみ) JPEG (E メール送信時のみ)
有効受信幅	最大：A3 サイズ

● 製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

■ 1 ビンフィニッシャー（オプション）

項目	仕様
用紙サイズ	A5 ～ A3
用紙厚	64 ～ 90g/m^2（ソート、ステープル時）、 64 ～ 128g/m^2（ノンソート時）
スタック枚数	A4/A5: 500 枚、B4/A3: 250 枚
ステープルソート	A4/A5: 30 枚、B4/A3: 20 枚
電源	本体より供給
寸法（幅×奥行き×高さ）	182 mm x 498 mm x 257 mm
質量	10 kg

■ 1 ビンサドルフィニッシャー（オプション）

項目		仕様
モード	ビン	ノンソート / ソート / ステープル
	トレイ	サドルステッチ
用紙サイズ	ビン	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭、A5▯、A5▭
	トレイ	A3、B4、A4▭
用紙厚		64 ～ 220g/m^2（ノンソート時）
スタック枚数	ビン	最大（片面印刷時）： 1000 枚（A5、B5、A4） 500 枚（B4、A3） 30 セット（ステープル時） ● 両面コピー時は、上記の半数程度でビンから用紙を取り除いてください。用紙がビンから滑り落ちる場合があります。
	トレイ	最大：100 枚 / 20 セット
ステープル	用紙サイズ	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭
	用紙厚	64 ～ 90g/m^2
	スタック枚数	2 ～ 50 枚：A4（75 g/m^2） 2 ～ 25 枚：A3（75 g/m^2）
	ステープル位置	手前コーナー（1ヵ所）、奥コーナー（1ヵ所）、中央（2ヵ所）
ステッチ（製本中とじ）	用紙サイズ	A3、B4、A4▭
	用紙厚	64 ～ 90g/m^2
	スタック枚数	6 ～ 10 枚 /10 セット、2 ～ 5 枚 /20 セット
電源		本体より供給
寸法（幅×奥行き×高さ）		661 mm x 603 mm x 464 mm
質量		27.5 kg

■ パンチユニット（オプション）

項目	仕様
用紙サイズ	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭：2 穴
用紙厚	64 ～ 200g/m^2
対応フィニッシャー	1 ビンサドルフィニッシャー（DA-FS325）

● 製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

オプション品について

■ オプション

品名	品番	説明
1ビンサドルフィニッシャー	DA-FS325	
1ビンフィニッシャー	DA-FS320	
アウタートレイ	DA-XT320	
パンチユニット	DA-SP41	1ビンサドルフィニッシャー用
搬送ユニット	DA-FK320	1ビンサドルフィニッシャー、1ビンフィニッシャー、アウタートレイ用
G3 通信ユニット	DA-FG321	ファクス通信
G3 増設ユニット	DA-FG322	※
G4 通信ユニット	DA-FG323	※
インターネット FAX ユニット	DA-NF320	インターネット FAX 通信
プリンターコントローラーユニット（Adobe® PostScript® 3™ 用）	DA-MC320	※
ネットワークスキャナー /E メールユニット（文書配信ソフト対応）	DA-NS321	文書配信システム（DDS）用ネットワークスキャナー /E メール機能
ハードディスクユニット	DA-HD32	
ページメモリーボード　256MB	DA-PMN56	1200dpi 印刷、長尺原稿印刷（900 mm）
メインメモリーボード　256MB	DA-EMN56	PostScript3、高圧縮 PDF、1200dpi 印刷
課金管理ソフト	DA-WA11	課金機能
パナソニック ドキュメント 配信システム	DA-WR11	ルーティング機能

■ 消耗品

品名	品番	説明
トナーカートリッジ（ブラック）	DQ-TUN28K	28,000 枚相当（*1）
	DQ-TUN05K	5,000 枚相当（*1）
トナーカートリッジ（シアン）	DQ-TUN20C	20,000 枚相当（*1）
	DQ-TUN05C	5,000 枚相当（*1）
トナーカートリッジ（マゼンタ）	DQ-TUN20M	20,000 枚相当（*1）
	DQ-TUN05M	5,000 枚相当（*1）
トナーカートリッジ（イエロー）	DQ-TUN20Y	20,000 枚相当（*1）
	DQ-TUN05Y	5,000 枚相当（*1）
1ビンフィニッシャー用ステープル針	FQ-SS32	1ビンフィニッシャー用ステープル
1ビンサドルフィニッシャー用ステープル針	DQ-SS35	1ビンサドルフィニッシャー用ステープル
済スタンプ	UG-4105-2	済スタンプ（ファクス用）

(*1) A4 サイズ、各色 5% 濃度原稿を印刷したとき。印刷条件により枚数が異なる場合があります。

※詳細は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

用語集

	用語	意味
数字	10Base-T/100Base-TX	イーサーネット規格の一種です。 「10/100」はバンド幅が 10/100Mbps の意味で、このバンド幅は単一チャンネル・ベースバンドのベースとなっています。 「T」はより（Twisted）対の意味で、この規格のケーブルは2対の非シールドより線からなります。
A	ADF (自動原稿送り装置)	Automatic Document Feeder の略。 複数枚の原稿をセットして、1 枚ずつ読み取る装置のことです。
B	BPS (Bit Per Second)	電話回線を経由して送信されるデータ量の単位のことです。 本機では、常に最大の伝送速度で動作が開始されます。その後、電話回線の状況や受信側ファクスの能力に応じて、自動的に速度が落とされます。
C	CD-ROM	読み取り専用メディアで、データ容量は約 650MB です。ソフトウェア配布に最も容易なメディアとして広く使用されています。音楽用 CD と CD-ROM は形式が異なりますが、コンピューターの CD-ROM ドライブでは音楽用 CD も再生できます。
D	DDS	Document Delivery System の略。 文書配布システムです。スキャナー、ファクス、インターネット FAX などから受け取ったデータを、指定された方法で指定された宛先に自動的に配布できます。このシステムを使用して、管理者は配布方法と受取人を指定できます。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 TCP/IP ネットワーク上のデバイスに IP アドレスを自動的に割り当てる標準的な方法です。ネットワーク上に新しい機器が接続されると、DHCP が使用可能な IP アドレスのリストから IP アドレスを割り当てます。機器がネットワークに継続している間は、デバイスの IP アドレスは変わりません。ネットワークから切断されると IP アドレスはリストに戻り、ほかの機器がこのアドレスを使用できるようになります。
	dpi	dots per inch の略。 1 インチあたりのドット数で、イメージの解像度を示します。dpi の値が大きいほど解像度が高くなります。レーザープリンターの一般的な解像度は 600 dpi です。600 dpi の場合、横 1 インチの中に 600 ドット、縦 1 インチの中に 600 ドット、つまり 1 平方インチの中に 36 万ドットがあることになります。
	DTMF	Dual Tone Multi Frequency の略。 電話機のボタンの数字に対し、2 つの周波数を組み合わせた信号です。一般に、プッシュホン式ダイヤル呼び出しのことをいいます。
E	ECM	Error Correction Mode の略。 G3 モードでファクス通信をするときに、通信エラーを自動的に訂正する機能のことです。
F	FROM 選択	インターネットＦＡＸ機能を使ってＥメールを送信するとき、通常は From 欄（発信元）に本機のメールアドレスが設定されますが、E メール画面の [From] を使うと、アドレス帳に登録しているメールアドレスや、キーボードから入力したメールアドレスを From 欄に設定できます。

	用語	意味
	FTP	File Transfer Protocol の略。 インターネット上でファイル転送をするときに使用される、通信上の決まり(通信プロトコル)のひとつです。TCP/IP プロトコルを使用してデータ転送を行います。FTP はインターネット上のサーバーからのファイルのダウンロードやサーバーへのファイルのアップロード(Web ページファイルのサーバーへのアップロードなど)に広く使用されています。
G	G3 モード (Group 3)	現在、最も普及している、G3 規格に準拠したアナログ電話回線用のファクシミリ手順のことです。
	G4 モード (Group 4)	G4 規格に準拠したデジタル電話回線(ISDN) 用のファクシミリ手順のことです。
I	IP アドレス	インターネット上に存在するコンピューターなどの住所にあたる数列のことです。
	ISP	Internet Service Provider の略。 インターネットへの接続サービスを提供する組織のことです。
	ITU-T	国際電気通信連合の電気通信標準化部門 (旧 C.C.I.T.T) の略。 この機構では、現在、ファクシミリ互換性を保証する4グループの業界標準を推進しています。
	ITU-T Image No.1	送信速度と機器能力との比較などに使用する標準原稿です。
J	JPEG	Joint Photographic Experts Group の略。 JPEG はカラー画像の圧縮技術で、「ジェイペグ」と読みます。ファイル容量を元データの約 1/10 〜 1/100 程度に圧縮できます。一般的に、JPEG は非可逆性圧縮(元に戻せない圧縮方式)のため、圧縮の過程で画質が低下することがあります。
L	LAN	Local Area Network の略。 オフィス、工場、大学などの隣接エリアに限定して、データの統合や交換を行うコンピューターネットワークシステムのことです。コンピューター、プリンターなどの周辺機器を接続し、データのやりとりを行います。
	LAN 中継パスワード	LAN 中継通信を行うときに、パスワードとして使うメールアドレスのことです。LAN 中継送信の宛先を表すメールアドレスの、ユーザー名(@の左側)の部分と比較して、一致した場合に LAN 中継通信が行われます。
	LAN 中継ファクス	中継同報をするときに、指定された宛先へ受信文書を順次同報をする役割をするファクスのことです。
	LCD	Liquid Crystal Display の略。 操作パネルにある液晶ディスプレイのことです。
M	MAC アドレス	装置に割り当てられるハードウェアアドレスのことで、Media Access Control Address の略。MAC アドレスはコロン (:) やハイフン (-) で区切られた6つの 16 進数からなります。例 : 00:00:c0:34:f1:50
	MAPI	Messaging Application Program Interface の略。 メッセージ送信のための Windows 標準インターフェースのことです。ワープロ・ソフトや表計算ソフトなどのメニューから、編集中の文書を直接 E メールで送信するなどの操作ができます。

	用語	意味
	MDN	Message Disposition Notifications の略。 メールが読まれたかどうかを確認するために、送信側から送信する要求のことです。MDN 要求を付加してメールを送信すると、受信側がそのメールを読んだときに、受信確認を戻します。
	MIME	Multipurpose Internet Mail Extension の略。 インターネット上で、テキストデータ（文字情報）以外のマルチメディア情報も扱えるように拡張した、E メールの通信手順のことです。
P	PC	パーソナルコンピューター (Personal Computer) の略。 個人が使用するように設計されたシンプルなコンピューターです。
	PCL	Printer Control Language の略。 ページ記述言語の 1 つです。ページ記述言語は、ページイメージを作成するためのプリンター制御コード（言語）です。単純な文字印字のほか、図形描画などの機能をもちます。PCL レベル 6 は図形描画とフォントのコマンドを簡略化し、プリンターに送信する情報量が小さくなっています。
	PC カード	主にノート型コンピューターなどの PC カード用スロットに装着するカードのことです。モデム、ネットワークアダプター、サウンドカード、無線トランシーバ、ハードディスク、カード型メモリーなどをコンピューターに接続できます。本機では、市販の PC カードアダプター内にメモリーカードを装着し、データを保存したり、印刷したりします。
	PC カードアダプター	PC カード用スロットにカード型メモリーを装着するときに使用する、アダプターのことです。
	PDF	Abobe® Portable Document Format の略。 あらゆるソースドキュメントのすべてのフォント、フォーマット、グラフィックス、カラーを保存できる普遍的なファイル形式です。ドキュメントがどのアプリケーションソフトウェアやプラットフォームで作成されたかを問いません。
	POP	Post Office Protocol の略。 メールサーバーにアクセスして自分宛のメールを取り出すための通信手順のことです。
	PSTN	Public Switched Telephone Network の略。 公衆電話通信網のことです。相互に接続された交換機と送信施設からなるネットワークのことです。
S	SD メモリーカード	Secure Digital Memory Card の略。 マシンのデータを安全に保存するフラッシュメモリーカードのことです。デジタルカメラ、携帯電話、PDA にもよく使用されています。本機では、ネットワークスキャナー機能、プリンター機能で、データの読み込みや保存に使用します。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。 インターネット上でメールを送受信するための、主な通信プロトコルのことです。

	用語	意味
T	TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。 インターネットのほか、LAN に接続しているコンピューターで使用されているプロトコルのことです。インターネットの基本作業を管理するプロトコルで、1982 年に制定されました。 複数のコンピューター間でデータが正しく送信されるための手順で、エラーが検出されるとデータが再送されます。送信データはデータパケットと呼ばれる小さなまとまりに分割して送られます。
	TIFF	Tagged Image File Format の略。 異機種間でのグラフィックデータの交換ができるようデータの前のタグと呼ばれる部分を設け、データの記述形式を記載したデータファイルのことです。本製品の TIFF ファイルは、MH 方式によりデータを圧縮しています。
	TIFF イメージビューワー	TIFF ファイルの中身を閲覧するための機能を持ったプログラムのことです。市販の TIFF ビューワーでは、本製品から送られた TIFF ファイルを表示できない場合があります。
あ	宛先名	アドレス帳の登録時につける名前のことです。登録した検索文字に従って、タッチパネルディスプレイに表示されます。
	アドレス帳	電話番号や E メールアドレスを、宛先名をつけて登録しておく機能です。アドレス帳の画面で、宛先名のボタンを押すと、簡単に宛先を指定できます。ファクス機能、インターネット FAX 機能、ネットワークスキャナー機能で使用します。
	イーサーネット	LAN 上のコンピューターおよび装置をネットワーク化する最も一般的な通信規格のことです。ほとんどすべてのタイプのコンピューターが対応しています。
	イメージメモリー容量	読み取った原稿を記憶するためのメモリー容量のことです。 本機では、ITU-T 勧告の Image No.1 原稿を基に、読み取り可能枚数を規定しています。
	印刷縮小モード	本機にセットされた用紙に収まるように縮小して印刷する機能のことです。
	インストール	複合機やコンピューターに、ハードウェアを設置したり、アプリケーションソフトウェアを設置することです。
	インターネット	相互に接続された、TCP/IP プロトコルを使用するさまざまなネットワークの巨大な集合体のことです。個々のネットワークが接続され、全世界をつなぐ巨大なインターネットを形成しています。
	インターネット FAX	インターネット経由でファクスを送受信する機能です。一般の電話回線ではなく、イントラネット（企業内ネットワーク）などのネットワークを経由し、E メールの添付ファイルとして文書を送受信します。
	イントラネット	会社内部または組織内部にある非公開のネットワークのことです。イントラネットでは、公開されているインターネット上の同じ種類のソフトウェアを使用しますが、その用途は内部的なものに限定されます。
	エラーコード	通信エラー、トラブルなど発生時に表示するコードのことです。
か	解像度	コンピューターの画面表示、ファクス / スキャナー / プリンターの画像の細かさを表します。解像度は 1 インチあたりのドット数 (dpi) で表し、dpi の値が大きいほど解像度が高くなり、情報量が増えます。

	用語	意味
	クライアント	クライアント (端末) コンピューターのことです。LAN 上でデータベース共用、グループ作業や通信を行うときに使用します。
	グループダイヤル	複数宛先を登録したプログラムダイヤルのことです。1回の操作で複数宛先の指定ができます。
	検索文字	アドレス帳の登録時につける検索用の文字のことです。タッチパネルディスプレイのアドレス帳の上部には検索文字のタブが表示されており、アドレス帳で宛先を選択するときに使います。
さ	サーバー	クライアントに対して、データ資源、通信接続、データ保存空間、その他のサービスを提供するコンピューター（または装置）のことです。 例えば、メールサーバーソフトウェアはネットワーククライアントがメールアカウントを保有してメールの送受信を行うことを可能にしています。
	最終宛先	LAN 中継通信時の最終送信宛先のことです。
	最終受信ファクス	LAN 中継ファクスで､最後に原稿を受信する端末のファクスのことです。
	サブアドレス	受信文書のルーティング、転送、または中継をするための ITU-T 勧告です。
	サブアドレスパスワード	サブアドレスに対応する追加機密保護のための ITU-T 勧告です。
	サブネットマスク	ネットワーク ID で定義されたネットワークのサブセグメントを管理するためのマスクビット列です。
	サムネール	ページまたはイメージの縮小表示のことです。サムネールにより、多数のページ / イメージのレイアウトを一目で見ることができます。
	自局	機能設定で登録しておく、本機の名前のことです。自局登録をしておくと、通信のときに相手機に自局の情報を表示できます。自局の情報には、発信元名、文字 ID、数字 ID があります。
	自動原稿送り装置	「ADF (自動原稿送り装置)」(p.97) を参照してください。
	自動受信	着信すると、自動的にファクス受信を開始する受信方式のことです。
	手動受信	着信すると、呼び出し音が鳴り続け、受信の操作をしてからファクス受信を開始する受信方式のことです。
	受信側パスワード	パスワード送受信を設定している場合に、受信前に照合される 4 桁のパスワードのことです。
	数字 ID	本機に登録しておく、ファクス番号のことです。通信時に、相手のディスプレイやレポートに表示されます。
	済スタンプ	送信が完了した、またはメモリーへ読み取ったことを確認するために、押すスタンプのことです。済スタンプの「あり」、「なし」は必要に応じて切り替えできます。
	スリープモード	節電機能のひとつです。本機の節電機能には、節電モード、スリープモードがありますが、スリープモードは節電モードより、さらに電力を下げ、約 25W 程度にするモードです。タッチパネルディスプレイが消灯し、節電キーが点灯します。**<節電>**を押すと、スリープモードを解除できます。

	用語	意味
	節電機能	機械を使用しないときに機械内部の消費電力を抑える機能（節電モード、スリープモード）のことです。 お買い上げ時の設定では、本機を 15 分間使用しないと節電モードに移行し、22 分間使用しないとスリープモードに移行するように設定されています。節電モード、スリープモードどちらのモードに移行している場合も、プリントデータの受信、ファクス受信、POP 受信ができます。
	節電モード	節電機能のひとつです。本機の節電機能には、節電モード、スリープモードがありますが、節電モードは操作パネルや定着部の電力を 65W 程度に下げるモードです。タッチパネルディスプレイはバックライトだけの点灯となり、**<節電>**が点滅します。**<節電>**を押すと、節電モードを解除できます。
	セレクト受信	アドレス帳に登録されているファクス番号の下 4 桁と、送信側の数字 ID の下 4 桁を照合し、一致した場合にだけ受信する機能のことです。
	セレクト送信	アドレス帳に登録されているファクス番号の下 4 桁と、受信側の数字 ID の下 4 桁を照合し、一致した場合にだけ送信する機能のことです。
	送信側パスワード	送信時に照合される 4 桁のパスワードのことです。
	送信予約	本機が別の機能を実行しているときに、次の送信を予約しておくことです。
	送達通知	送信側のインターネット FAX から受信側のインターネット FAX へ送られるメッセージで送達通知 (MDN) 要求のことです。受信側のインターネット FAX は、メッセージ（メール）を読むと送達確認メッセージを返送します。
	ソフトウェア	コンピューターが理解できる方法で表現された処理手順のことで、コンピューターに何らかの作業を指示するための命令の集まりです。 Windows などのオペレーティングシステム（OS) はシステムソフトウェアと呼びます。 文書作成や表計算などのソフトウェアをアプリケーションソフトウェアと呼びます。
た	タイマーポーリング	ポーリングする時刻を指定する機能のことです。
	タイマー送信	送信する時刻を指定する機能のことです。
	ダイレクト SMTP	メールサーバー（SMTP 送信サーバー）を経由せず、ファイアーウォール（イントラネット）内でインターネット FAX が互いに直接通信をする機能のことです。
	蓄積原稿	送信するために読み取り、メモリーに蓄積されている原稿のことです。
	中継アドレス	LAN 中継通信をするために登録している、3 桁のアドレス帳番号です。
	中継ネットワーク	中継局経由で通信する機器のネットワークのことです。
	中継同報	中継ファクスとなるファクスを中心にして、同報を行う機能のことです。 中継発信ファクスから中継局に原稿を送信すると、中継局では、最終受信ファクスへ原稿を同報送信します。
	中継発信ファクス	中継ファクスに対して、原稿を送信するファクスのことです。中継発信ファクスから LAN 中継ファクスへ原稿を送信すると、LAN 中継局では、その原稿を最終受信側端末ファクスへ同報送信します。

	用語	意味
	直接ダイヤル	電話番号またはEメールアドレスを、テンキーや文字ボタンで入力することです。
	通信管理レポート	最新の通信結果が記載されたレポートのことです。通信管理レポートは、印刷したり、ディスプレイ上で確認したりできます。
	デフォルトルーターIPアドレス	ルーターのアドレスです。インターネットFAXとの通信時にほかのネットワークがどのルートをとったらよいか判断するときに使用します。
	テンキー	操作パネルの数値キーを指します。また、ファクス機能で電話番号を入力するときは、タッチパネルディスプレイ上にテンキー画面が表示されます。
	同報送信	複数の宛先に同じ原稿を送信する機能のことです。
	トナー	コピー機、レーザープリンターが使用する特殊インクのことで、乾燥粉末になっています。電荷を帯びるとドラム、プレート、紙の上の反対極性の潜像に吸着します。
	ドメイン名	インターネットに接続された個々のコンピューターを識別するための名前のことです。ドメイン名はDNSサーバーによってIPアドレスから翻訳されます。これは、IPアドレスが変更された場合でも、ユーザーに親しみやすい（記憶されやすい）名称を保持することが目的です。
	ドラム	コピーやプリンターに使われる部品で、光の信号を紙の上の画像に変換する役目を果たします。ドラムにレーザービームで画像の電荷パターンが生成され、現像ローラーのブラシが接触するとトナー粒子がこの電荷パターンに吸着し、印刷されます。(別名OPCドラム)
な	ネットワーク	2台以上のコンピューターを相互に接続し、データなどを共有すると、コンピューターネットワークになります。さらに2つ以上のコンピューターネットワークをつなぐと、インターネットが形成されます。
	濃度	原稿を読み取るときの感度を明暗の程度で表したものです。コピーやファクス送信する原稿に合わせ、読み取りの濃度を設定できます。
は	ハードディスク	磁性体を塗った金属の円盤にデータを読み書きする記録装置です。ハードな(通常は固い金属で)ディスクが収蔵されているためこのように呼ばれています。フロッピーディスクなどの記録メディアに比べ、大容量で高速アクセスが可能です。 本機には、オプションのハードディスクユニット（DA-HD32）が用意されており、コピーの合成機能に使用したり、スキャナーで読み取ったデータをハードディスク上のボックスに保存したりできます。
	ハーフトーン	黒と白の中間色（グレー）のことです。ハーフトーンの色は、階調で表現します（例：256階調)。
	ハンドシェーキング	送信側と受信側が通信するために、双方の通信方法、条件、プロトコルなどを、実際にデータを転送する前にやりとりしておく手順のことです。
	パナソニックスーパースムージング	画質をさらに向上するために開発された、パナソニック独自の画像処理技術のことです。
	ビューモードー通信管理	通信管理レポートを印刷せずに、通信管理の簡単な内容をディスプレイに表示する機能のことです。
	ビューモードー通信予約ファイル	通信予約レポートを印刷せずに、通信予約ファイルの簡単な内容をディスプレイに表示する機能のことです。

	用語	意味
	ファイル	メモリーを使った送受信を行なったときに作成されるメモリー内の文書と通信の指示のことです。
	ファクス通信ボード	ファクス通信をするためのオプションです。DP-C322/C262 では、このオプションを装着すると、電話回線を経由して、ファクス送受信できます。
	ファクスパラメーターリスト	ファンクション設定の設定値を確認できるリストのことです。
	ファンクションキー	コピー、スキャナー、ファクスの各機能を使うときに押すキーのことです。
	符号化方式	データを圧縮する方式のことです。本機では、Modified Huffman (MH)、Modified Read (MR)、Modified Modified Read (MMR) 符号化方式を採用しています。
	プログラム	複雑な機能の操作をプログラムボタンとして登録したり、複数の宛先を登録してグループボタンとして使う機能のことです。
	プロトコル	複数のコンピューターなどが通信をするための決め事や、言語のことです。 プロトコル業界には多くの種類のプロトコルが存在し、IC やコンピューターを内蔵している製品は、どれもある種のプロトコルを利用しています。インターネットでは、100 を越える標準が共同して TCP/IP プロトコルを構成し、インターネット通信を滑らかで信頼できるものにしています。
	部門コード	部門管理を設定している場合に、コピーやファクス送信など、本機を操作する前に入力するコードのことです。入力した部門コードの部門名は、送信ページのヘッダー部分、通信記録などに表示されます。
	分割記録	縮小できないくらい大きな原稿は、約 10 mm 重ね合わせて 2 つのページに分割して自動的に出力されます。
	ヘッダー	送信側ファクスが送信する、また受信側ファクスが各ページの先頭に印刷する部分のことです。ヘッダーには、送信側ファクスの発信元情報（日時など）が印刷されます。
	ホームページ	ブラウザー起動時に最初に表示されるページ、あるいは会社、組織などの主要な Web ページのことです。
	ポーリング	別のファクスにある原稿を、受信側から送信依頼を出して取り出す機能のことです。
	ポーリングパスワード	ポーリングが行なわれている原稿に対し、パスワード（4 桁）で機密保護をする機能のことです。
	ホスト	ネットワーク上のほかのコンピューターを集中管理するコンピューターのことです。ホストはドメイン内で唯一のホスト名を持ちます。ホストは全ドメイン名（FQDN）の最初（左端）の部分となります。例：本機のメールアドレスが Fax@fax01.panasonic.com であるとすると、「fax01」はホストに、「panasonic.com」はドメインに相当します。
ま	メーリングリスト	あるアドレスにメールを送信すると、自動的にメーリングリストに登録されている複数の人に E メールのコピーを送信するための E メールアドレスのことです。
	メールアドレス	メールでデータを送受信するためのアドレスのことです。メールアドレスは、ユーザー名、サブドメイン名、ドメイン名で構成されています。

	用語	意味
	メールゲートウェイ IP アドレス	メールサーバーのアドレスのことです。
	メールボックス	特定の人と送受信をしたい場合などに、メモリー内のボックスを使って通信する機能のことです。
	メモリー	チップ形式のデータ記憶装置のことです。複合機やコンピューター本体の中に組み込まれ、情報を記憶しておく場所となります。本機には、画像蓄積用のメモリーがあります。
	メモリー送信	原稿をメモリーに読み取ってから送信する機能のことです。
	メモリー代行受信	用紙またはトナーがなくなったときに受信した原稿をメモリーに蓄積する機能のことです。
	メモリー転送	すべての受信文書を設定しておいた宛先へ転送する機能のことです。
	文字 ID	機能設定で登録しておく本機の名前（カタカナ）のことです。相手のディスプレイやレポートに表示されます。会社名などの情報を登録します。
	モデム	本機から出された信号を電話回線で送れる形の信号に変えたり、送られて来た信号を本機が読み取れる形の信号に戻したりする装置のことです。
ら	ルーター (ゲートウェイ)	複数の LAN 間の通信を可能にするネットワーク装置のことです。インターネットでは、それぞれの LAN のルーターが、インターネットを経由して転送するデータの経路を管理しています。

索引

数字

A

C

D

E

G

J

L

N

P

S

U

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

り

れ

ろ

わ

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT、Windows Server、PowerPoint、Outlook は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Itanium、Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

USB-IF のロゴは Universal Serial Bus Implementers Forum, Inc の商標です。

TrueType は、米国 Apple Computer, Inc の登録商標です。

Novell, NetWare, intraNetWare, NDS は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

PEERLESSPage ™は PEERLESS Systems Corporation の商標です。

PEERLESSPrint® と Memory Reduction Technology® は PEERLESS Systems Corporation の登録商標です。

PCL は、米国ヒューレット・パッカード社およびその子会社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript3、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Universal Font Scaling Technology (UFST) および、そのすべての書体は Agfa Monotype 社よりライセンスを受けています。

ColorTune® は米国の特許商標局で登録されている Agfa-Gevaert N.V. の登録商標であり、そして他の管轄区域で登録されている場合があります。

Agfa Monotype Corporation からライセンスしている ColorTune® の技術により、生成および編集したカラープロファイルを使用しています。

その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

本機には GNU General Public License に基づきライセンスされるプログラム、GNU Lesser General Public License に基づきライセンスされるプログラムおよびその他のオープンソフトウェアが含まれています。その詳細及びライセンス条件については、添付の取扱説明書 CD-ROM を参照してください。